

焼津市
介護保険事業計画に関するアンケート調査
調査結果報告書

令和5年3月

焼津市

目次

I	調査の概要	1
1	調査の目的	1
2	調査対象	1
3	調査期間	1
4	調査方法	1
5	回収状況	1
6	調査結果の表示方法	1
II	調査結果	3
1	ニーズ調査	3
	(1) 家族や生活状況について	3
	(2) からだを動かすことについて	7
	(3) 食べることについて	19
	(4) 毎日の生活について	24
	(5) 地域での活動について	29
	(6) あなたとまわりの人の「たすけあい」について	36
	(7) 健康について	40
	(8) 認知症にかかる相談窓口の把握について	47
	(9) 介護サービスについて	49
	(10) その他について	50
2	生活機能評価等に関する分析	59
	(1) 機能別リスク該当者割合の分析	59
	(2) 日常生活	69
3	在宅介護実態調査	71
	(1) 本人について	71
	(2) 主な介護者の方について	79

I 調査の概要

1 調査の目的

今後の介護保険制度のより円滑な運営に役立てるための基礎資料として、調査を実施するものです。

2 調査対象

焼津市在住の方の中から無作為抽出

3 調査期間

令和5年1月19日から令和5年2月3日

4 調査方法

郵送による配布・回収

5 回収状況

	配布数	有効回答数	有効回答率
一般高齢者	700通	497通	71.0%
事業対象者	49通	38通	77.6%
要支援認定者	700通	496通	70.9%
在宅要介護認定者	700通	422通	60.3%

6 調査結果の表示方法

- ・回答は各質問の回答者数（n）を基数とした百分率（％）で示してあります。また、小数点以下第2位を四捨五入しているため、内訳の合計が100.0%にならない場合があります。
- ・複数回答が可能な設問の場合、回答者が全体に対してどのくらいの比率であるかという見方になるため、回答比率の合計が100.0%を超える場合があります。
- ・クロス集計の場合、無回答を排除しているため、クロス集計の有効回答数の合計と単純集計（全体）の有効回答数が合致しないことがあります。なお、クロス集計とは、複数項目の組み合わせで分類した集計のことで、複数の質問項目を交差して並べ、表やグラフを作成することにより、その相互の関係を明らかにするための集計方法です。
- ・調査結果を図表にて表示していますが、グラフ以外の表は、最も高い割合のものを網かけしています（無回答を除く）。

II 調査結果

1 ニーズ調査

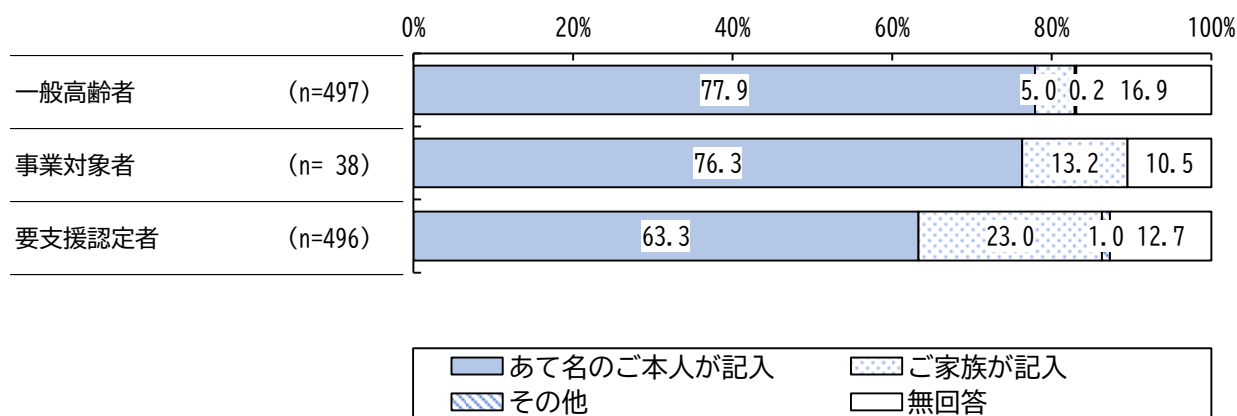
(1) 家族や生活状況について

問 調査票を記入されたのはどなたですか。数字に○をつけてください。

一般高齢者では、「あて名のご本人が記入」の割合が77.9%、「ご家族が記入」の割合が5.0%となっています。

事業対象者では、「あて名のご本人が記入」の割合が76.3%、「ご家族が記入」の割合が13.2%となっています。

要支援認定者では、「あて名のご本人が記入」の割合が63.3%、「ご家族が記入」の割合が23.0%となっています。



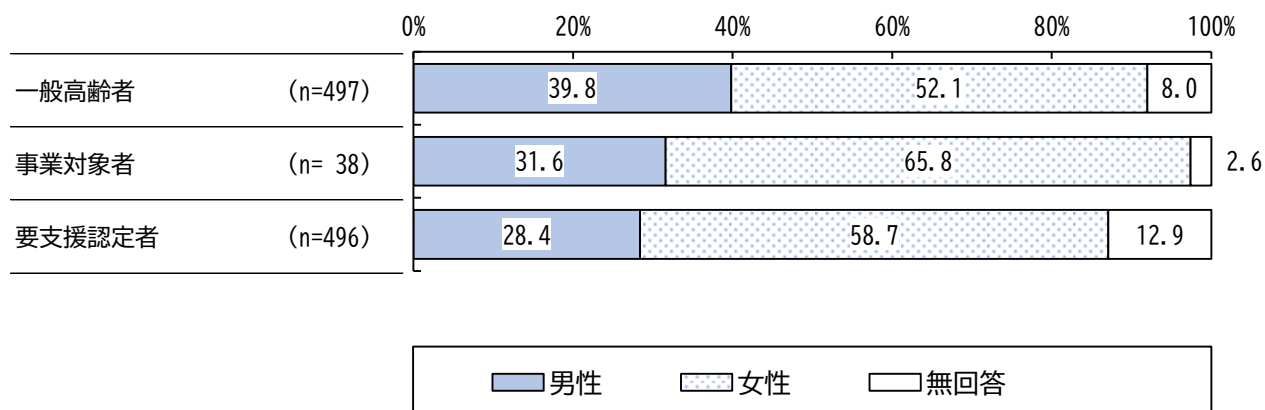
問 あなたの性別について教えてください

【一般高齢者：問1（1）、事業対象者：問1（1）、要支援認定者：問1（1）】

一般高齢者では、「男性」の割合が39.8%、「女性」の割合が52.1%となっています。

事業対象者では、「男性」の割合が31.6%、「女性」の割合が65.8%となっています。

要支援認定者では、「男性」の割合が28.4%、「女性」の割合が58.7%となっています。



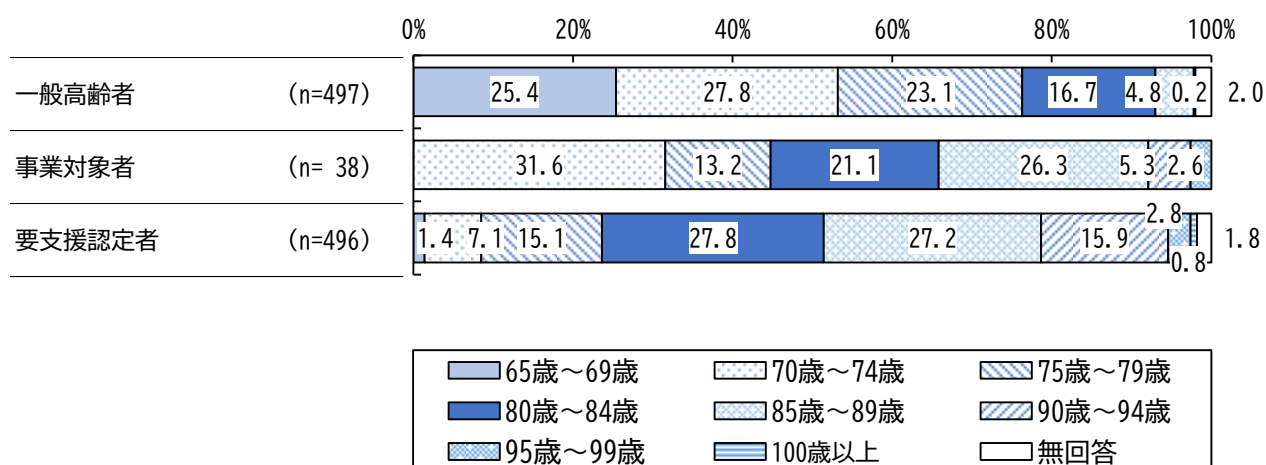
問 あなたの年齢について教えてください

【一般高齢者：問1（1）、事業対象者：問1（1）、要支援認定者：問1（1）】

一般高齢者では、「70歳～74歳」の割合が27.8%と最も高く、次いで「65歳～69歳」の割合が25.4%、「75歳～79歳」の割合が23.1%となっています。

事業対象者では、「70歳～74歳」の割合が31.6%と最も高く、次いで「85歳～89歳」の割合が26.3%、「80歳～84歳」の割合が21.1%となっています。

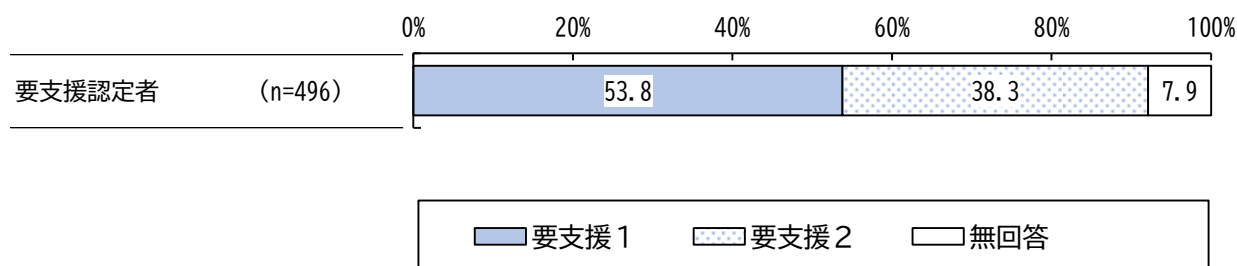
要支援認定者では、「80歳～84歳」の割合が27.8%と最も高く、次いで「85歳～89歳」の割合が27.2%、「90歳～94歳」の割合が15.9%となっています。



問 現在の要支援認定の状況（要支援度）について教えてください（1つに○）

【要支援認定者：問1（2）】

要支援認定者では、「要支援1」の割合が53.8%、「要支援2」の割合が38.3%となっています。



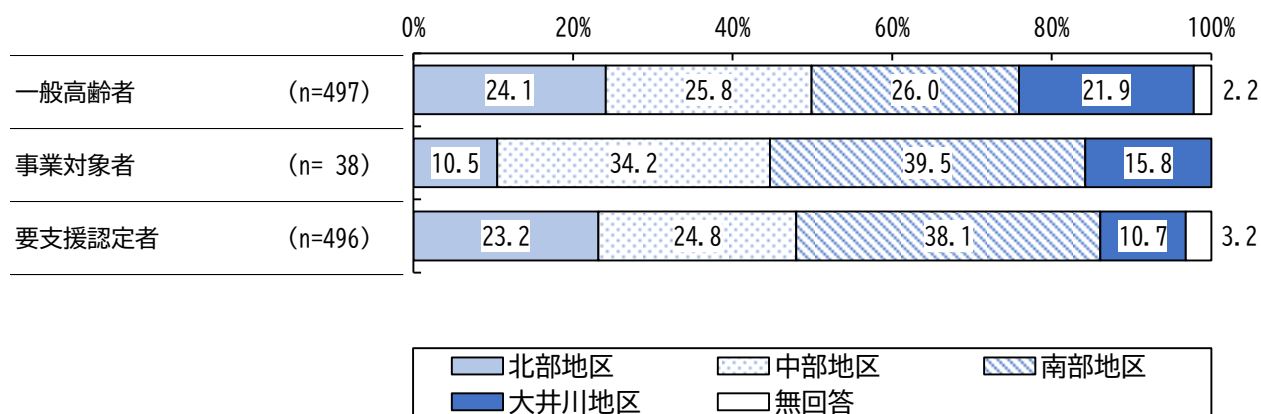
問 あなたの居住されている地区は、どちらですか（1つに○）

【一般高齢者：問1（2）、事業対象者：問1（2）、要支援認定者：問1（3）】

一般高齢者では、「南部地区」の割合が26.0%と最も高く、次いで「中部地区」の割合が25.8%、「北部地区」の割合が24.1%となっています。

事業対象者では、「南部地区」の割合が39.5%と最も高く、次いで「中部地区」の割合が34.2%、「大井川地区」の割合が15.8%となっています。

要支援認定者では、「南部地区」の割合が38.1%と最も高く、次いで「中部地区」の割合が24.8%、「北部地区」の割合が23.2%となっています。



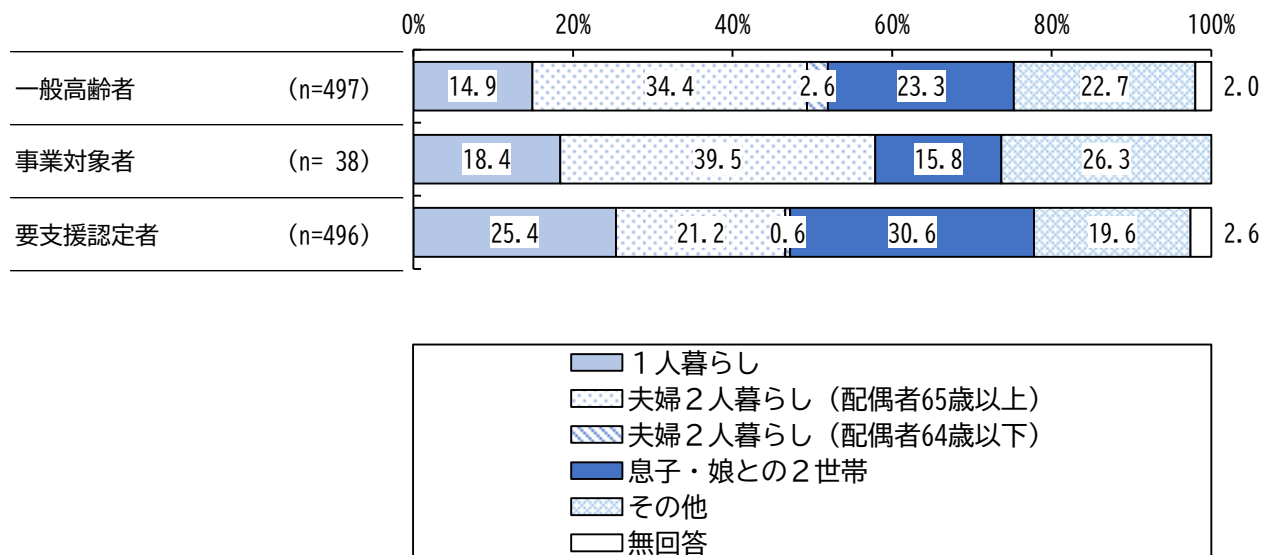
問 家族構成を教えてください（1つに○）

【一般高齢者：問1（3）、事業対象者：問1（3）、要支援認定者：問1（4）】

一般高齢者では、「夫婦2人暮らし（配偶者65歳以上）」の割合が34.4%と最も高く、次いで「息子・娘との2世帯」の割合が23.3%、「1人暮らし」の割合が14.9%となっています。

事業対象者では、「夫婦2人暮らし（配偶者65歳以上）」の割合が39.5%と最も高く、次いで「1人暮らし」の割合が18.4%、「息子・娘との2世帯」の割合が15.8%となっています。

要支援認定者では、「息子・娘との2世帯」の割合が30.6%と最も高く、次いで「1人暮らし」の割合が25.4%、「夫婦2人暮らし（配偶者65歳以上）」の割合が21.2%となっています。



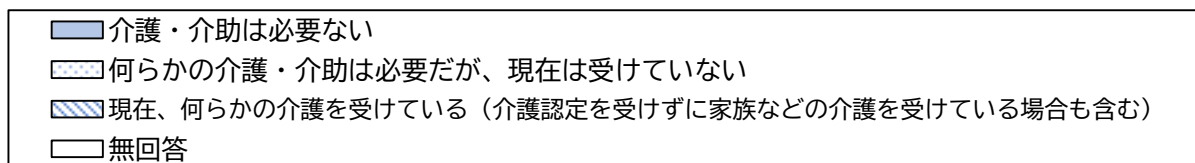
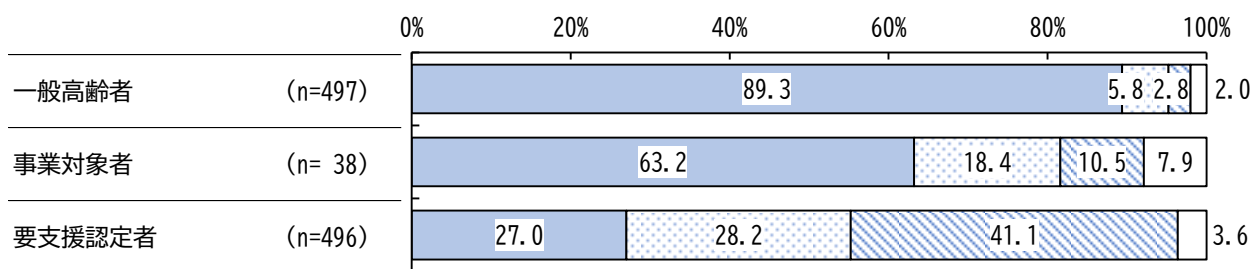
問 あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか（1つに○）

【一般高齢者：問1（4）、事業対象者：問1（4）、要支援認定者：問1（5）】

一般高齢者では、「介護・介助は必要ない」の割合が89.3%と最も高くなっています。

事業対象者では、「介護・介助は必要ない」の割合が63.2%と最も高く、次いで「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」の割合が18.4%、「現在、何らかの介護を受けている（介護認定を受けずに家族などの介護を受けている場合も含む）」の割合が10.5%となっています。

要支援認定者では、「現在、何らかの介護を受けている（介護認定を受けずに家族などの介護を受けている場合も含む）」の割合が41.1%と最も高く、次いで「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」の割合が28.2%、「介護・介助は必要ない」の割合が27.0%となっています。



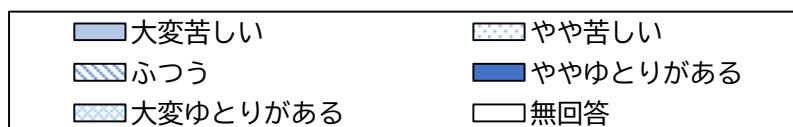
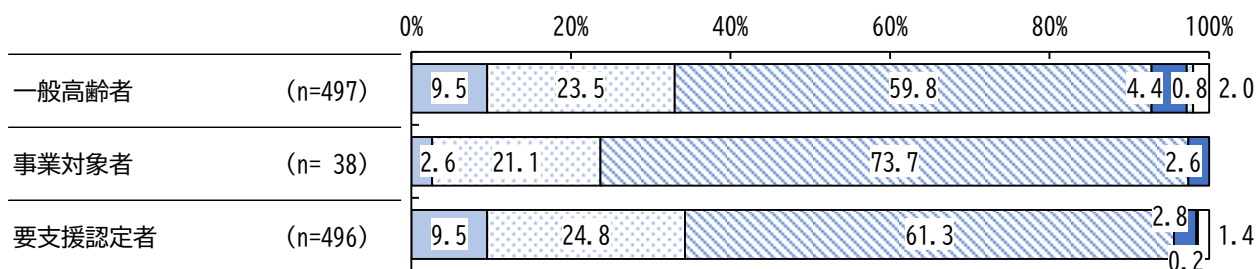
問 現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか（1つに○）

【一般高齢者：問1（5）、事業対象者：問1（5）、要支援認定者：問1（6）】

一般高齢者では、「ふつう」の割合が59.8%と最も高く、次いで「やや苦しい」の割合が23.5%となっています。

事業対象者では、「ふつう」の割合が73.7%と最も高く、次いで「やや苦しい」の割合が21.1%となっています。

要支援認定者では、「ふつう」の割合が61.3%と最も高く、次いで「やや苦しい」の割合が24.8%となっています。



(2) からだを動かすことについて

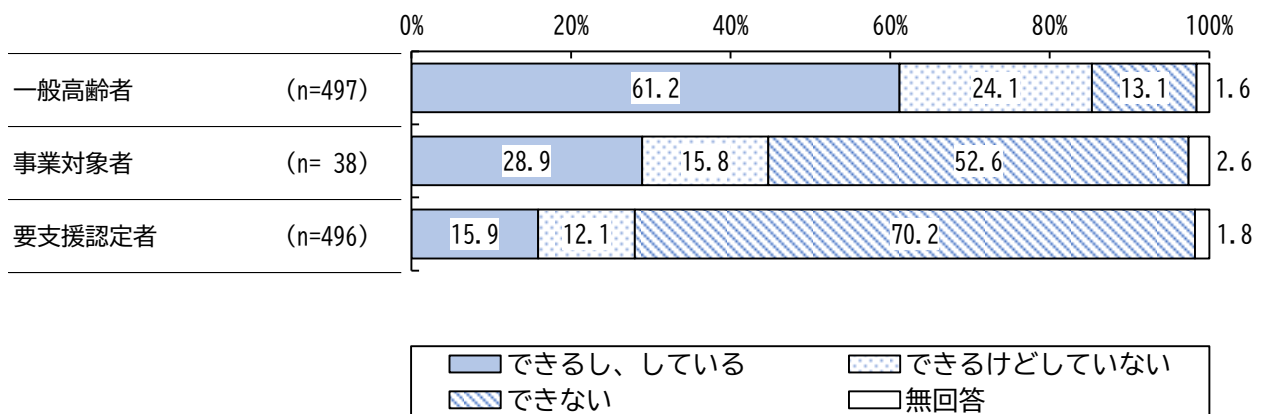
問 階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか（1つに○）

【一般高齢者：問2（1）、事業対象者：問2（1）、要支援認定者：問2（1）】

一般高齢者では、「できるし、している」の割合が61.2%と最も高く、次いで「できるけどしていない」の割合が24.1%、「できない」の割合が13.1%となっています。

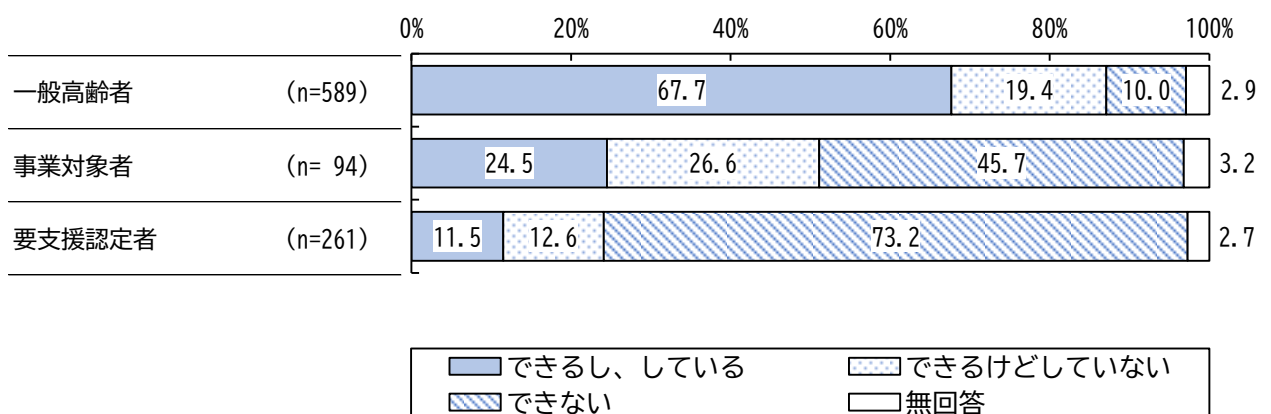
事業対象者では、「できない」の割合が52.6%と最も高く、次いで「できるし、している」の割合が28.9%、「できるけどしていない」の割合が15.8%となっています。

要支援認定者では、「できない」の割合が70.2%と最も高く、次いで「できるし、している」の割合が15.9%、「できるけどしていない」の割合が12.1%となっています。



【令和元年度調査】

令和元年度調査と比較すると、一般高齢者では「できるし、している」の割合が減少しています。事業対象者では「できるけどしていない」の割合が減少しています。要支援認定者では大きな変化はみられません。



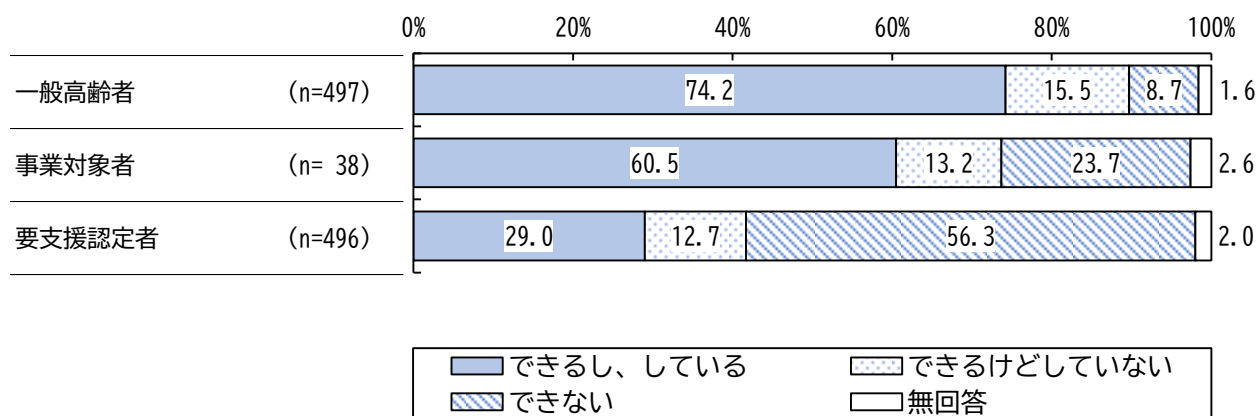
問 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか（1つに○）

【一般高齢者：問2（2）、事業対象者：問2（2）、要支援認定者：問2（2）】

一般高齢者では、「できるし、している」の割合が74.2%と最も高く、次いで「できるけどしていない」の割合が15.5%となっています。

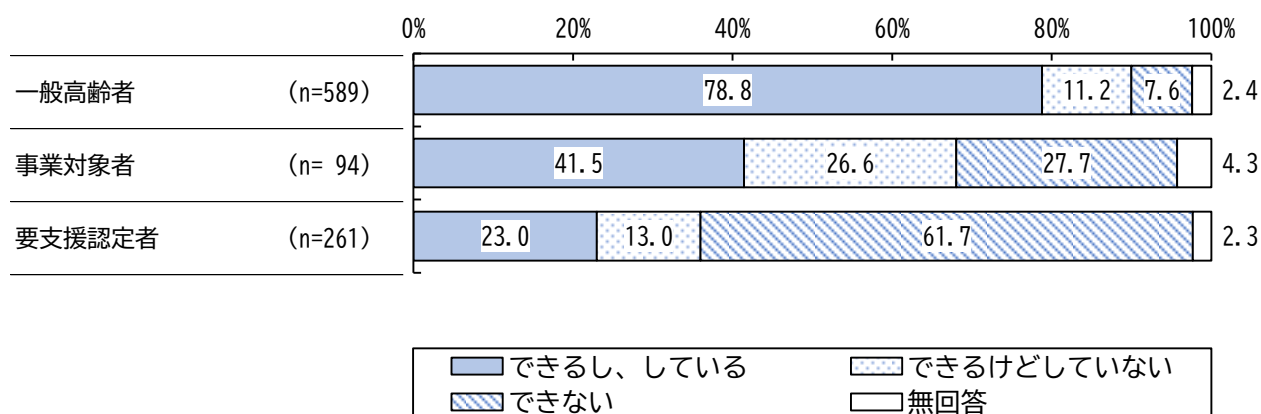
事業対象者では、「できるし、している」の割合が60.5%と最も高く、次いで「できない」の割合が23.7%、「できるけどしていない」の割合が13.2%となっています。

要支援認定者では、「できない」の割合が56.3%と最も高く、次いで「できるし、している」の割合が29.0%、「できるけどしていない」の割合が12.7%となっています。



【令和元年度調査】

令和元年度調査と比較すると、一般高齢者では大きな変化はみられません。事業対象者では「できるし、している」の割合が増加しています。要支援認定者では「できるし、している」の割合が増加しています。



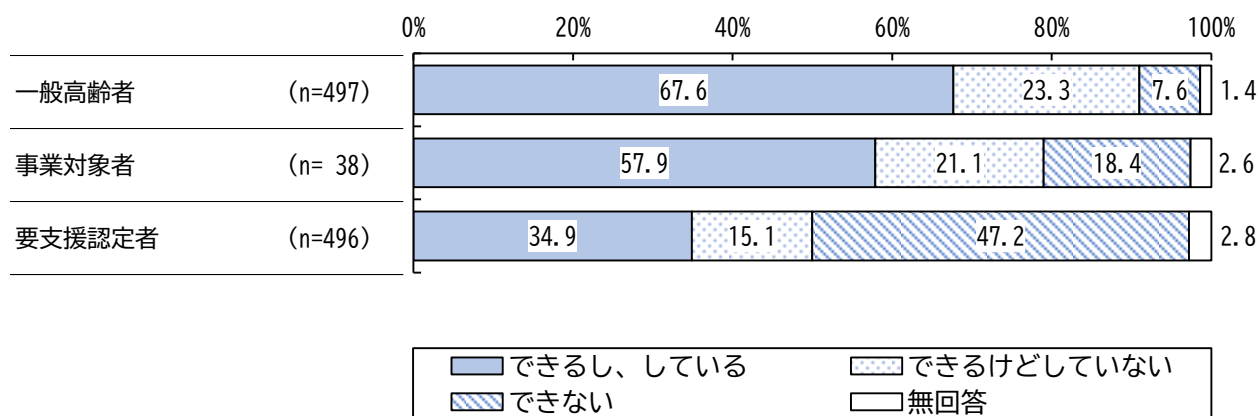
問 15分位続けて歩いていますか（1つに○）

【一般高齢者：問2（3）、事業対象者：問2（3）、要支援認定者：問2（3）】

一般高齢者では、「できるし、している」の割合が67.6%と最も高く、次いで「できるけどしていない」の割合が23.3%となっています。

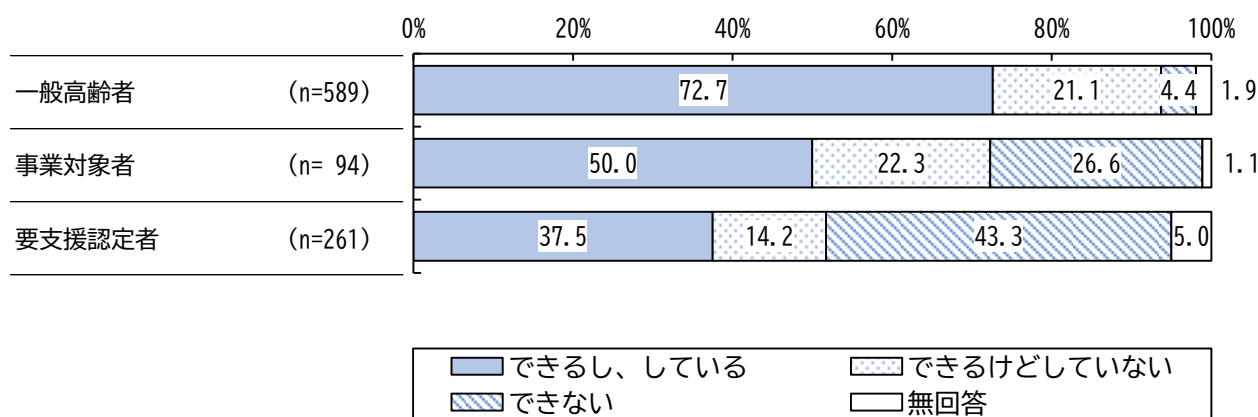
事業対象者では、「できるし、している」の割合が57.9%と最も高く、次いで「できるけどしていない」の割合が21.1%、「できない」の割合が18.4%となっています。

要支援認定者では、「できない」の割合が47.2%と最も高く、次いで「できるし、している」の割合が34.9%、「できるけどしていない」の割合が15.1%となっています。



【令和元年度調査】

令和元年度調査と比較すると、一般高齢者では「できるし、している」の割合が減少しています。事業対象者では「できない」の割合が減少しています。要支援認定者では大きな変化はみられません。



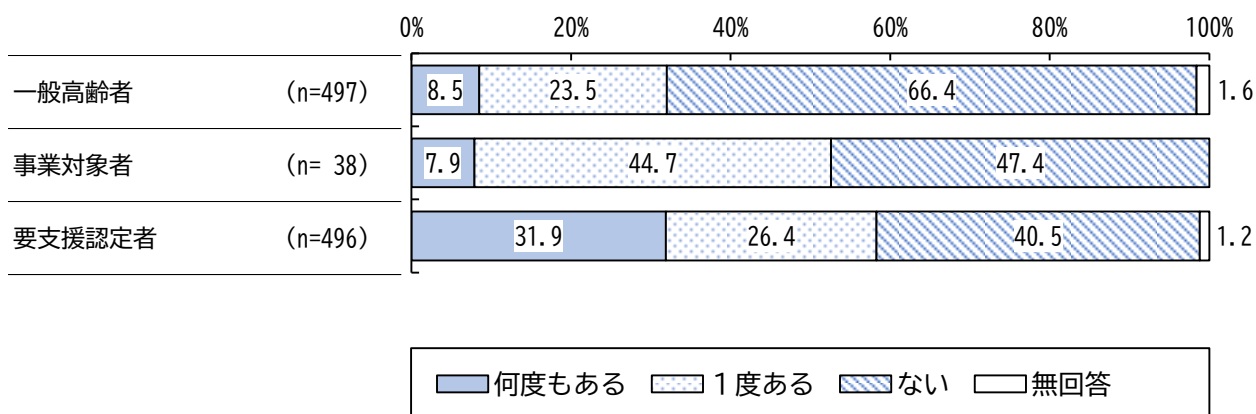
問 過去1年間に転んだ経験がありますか（1つに○）

【一般高齢者：問2（4）、事業対象者：問2（4）、要支援認定者：問2（4）】

一般高齢者では、「ない」の割合が66.4%と最も高く、次いで「1度ある」の割合が23.5%となっています。

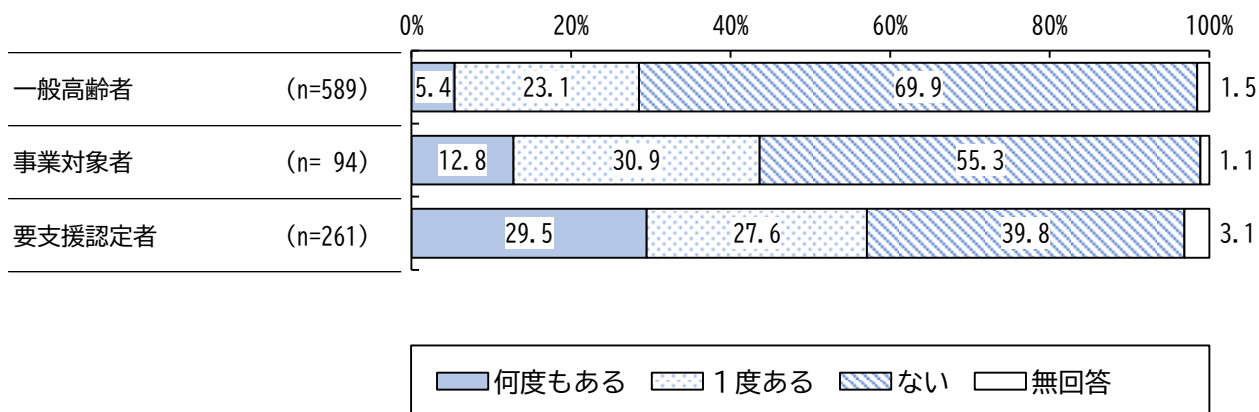
事業対象者では、「ない」の割合が47.4%と最も高く、次いで「1度ある」の割合が44.7%となっています。

要支援認定者では、「ない」の割合が40.5%と最も高く、次いで「何度もある」の割合が31.9%、「1度ある」の割合が26.4%となっています。



【令和元年度調査】

令和元年度調査と比較すると、一般高齢者では大きな変化はみられません。事業対象者では「1度ある」の割合が増加しています。要支援認定者では大きな変化はみられません。



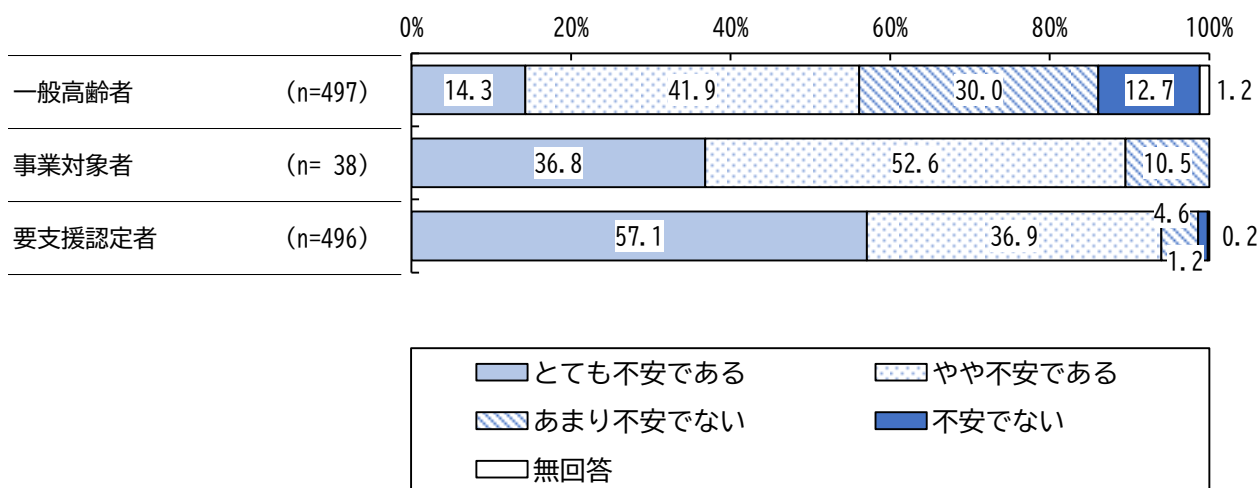
問 転倒に対する不安は大きいですか（1つに○）

【一般高齢者：問2（5）、事業対象者：問2（5）、要支援認定者：問2（5）】

一般高齢者では、「やや不安である」の割合が41.9%と最も高く、次いで「あまり不安でない」の割合が30.0%、「とても不安である」の割合が14.3%となっています。

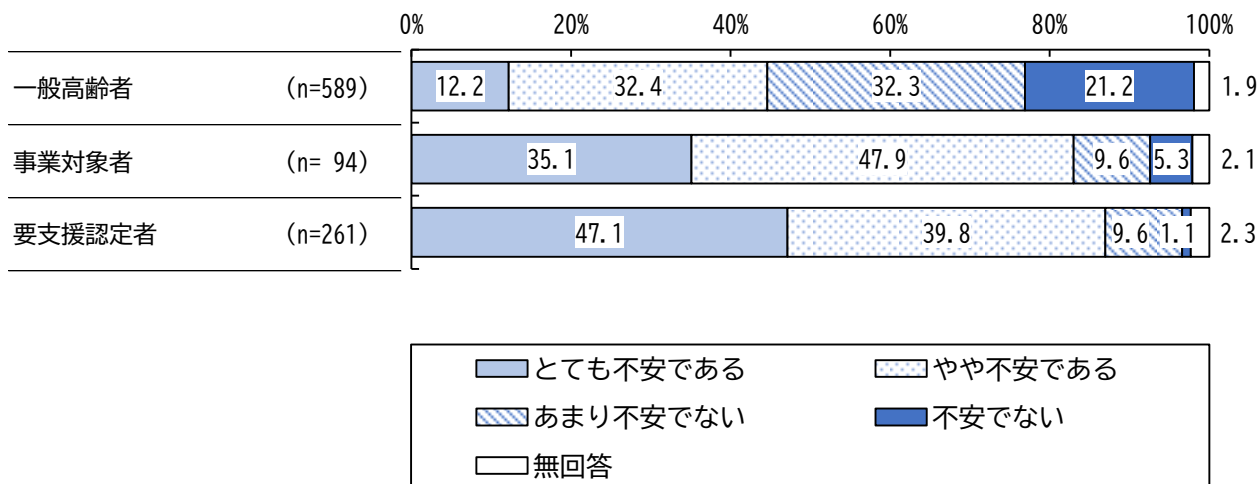
事業対象者では、「やや不安である」の割合が52.6%と最も高く、次いで「とても不安である」の割合が36.8%、「あまり不安でない」の割合が10.5%となっています。

要支援認定者では、「とても不安である」の割合が57.1%と最も高く、次いで「やや不安である」の割合が36.9%となっています。



【令和元年度調査】

令和元年度調査と比較すると、一般高齢者では「やや不安である」の割合が増加しています。事業対象者では「不安でない」の割合が減少しています。要支援認定者では「とても不安である」の割合が増加しています。



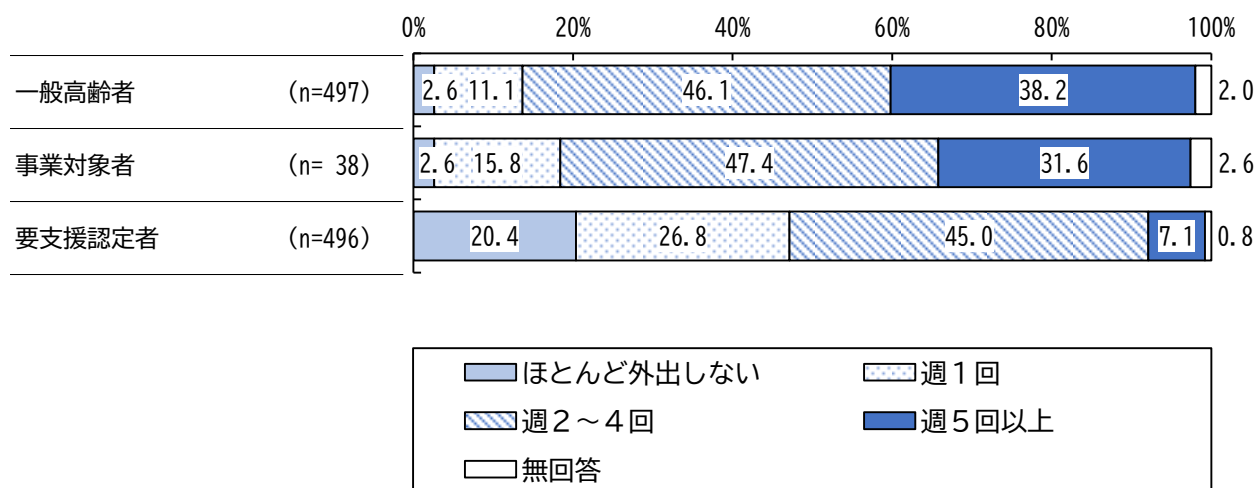
問 週に1回以上は外出していますか（1つに○）

【一般高齢者：問2（6）、事業対象者：問2（6）、要支援認定者：問2（6）】

一般高齢者では、「週2～4回」の割合が46.1%と最も高く、次いで「週5回以上」の割合が38.2%、「週1回」の割合が11.1%となっています。

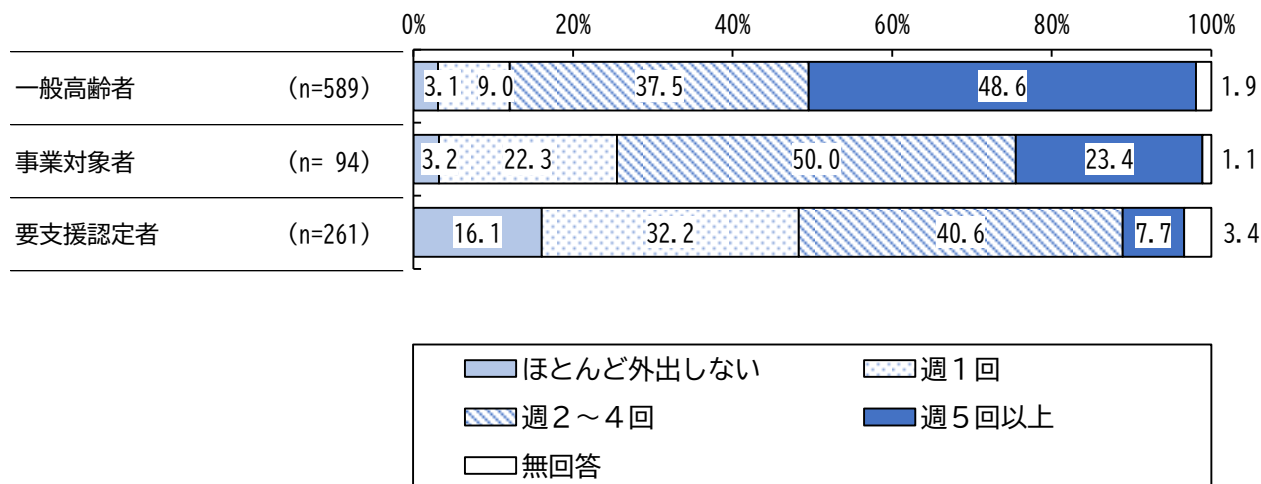
事業対象者では、「週2～4回」の割合が47.4%と最も高く、次いで「週5回以上」の割合が31.6%、「週1回」の割合が15.8%となっています。

要支援認定者では、「週2～4回」の割合が45.0%と最も高く、次いで「週1回」の割合が26.8%、「ほとんど外出しない」の割合が20.4%となっています。



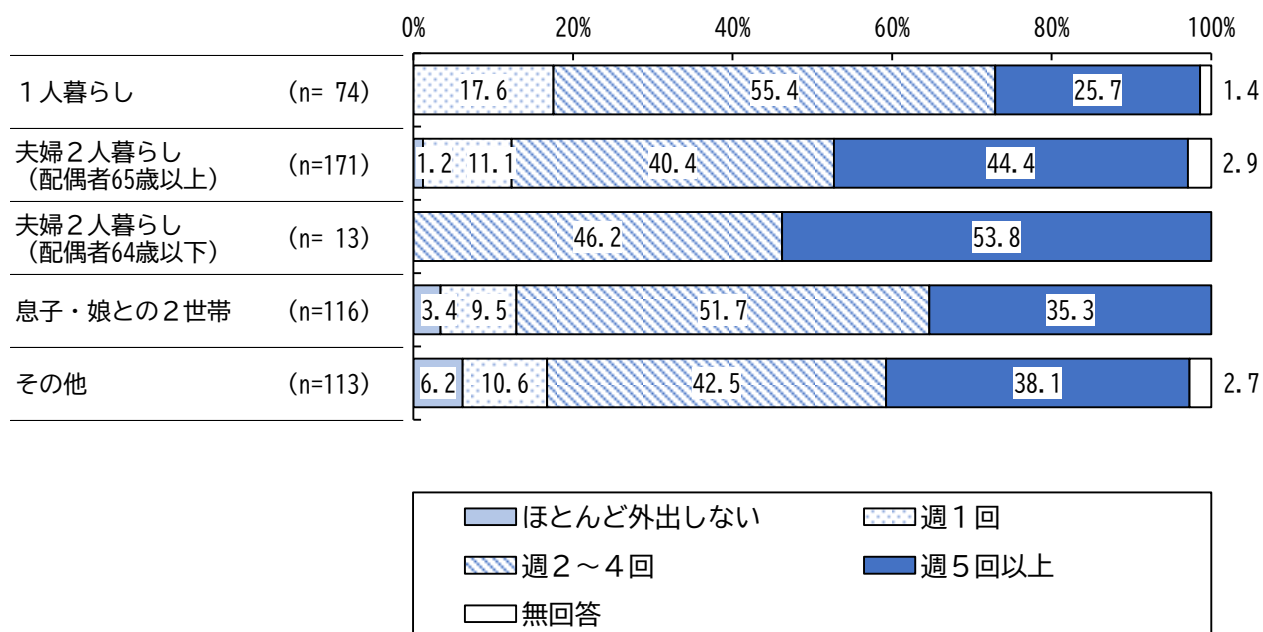
【令和元年度調査】

令和元年度調査と比較すると、一般高齢者では「週5回以上」の割合が減少しています。事業対象者では「週5回以上」の割合が増加しています。要支援認定者では「週1回」の割合が減少しています。



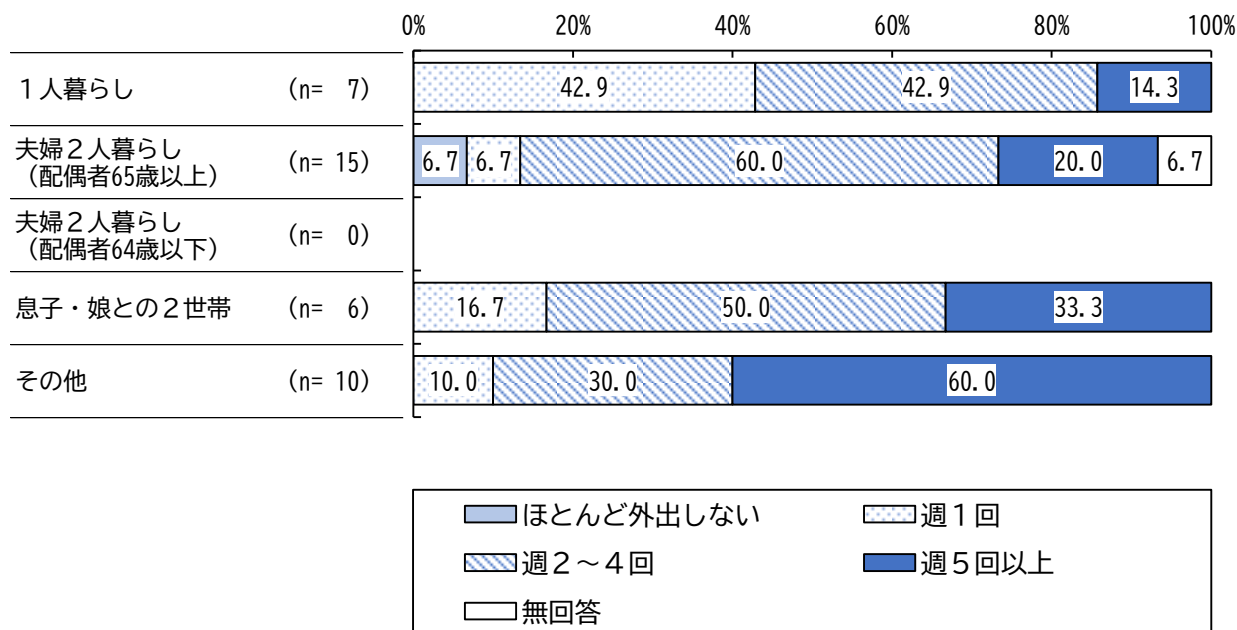
【一般高齢者・家族構成別】

家族構成別でみると、夫婦2人暮らし（配偶者65歳以上）と夫婦2人暮らし（配偶者64歳以下）で「週5回以上」の割合が最も高くなっています。



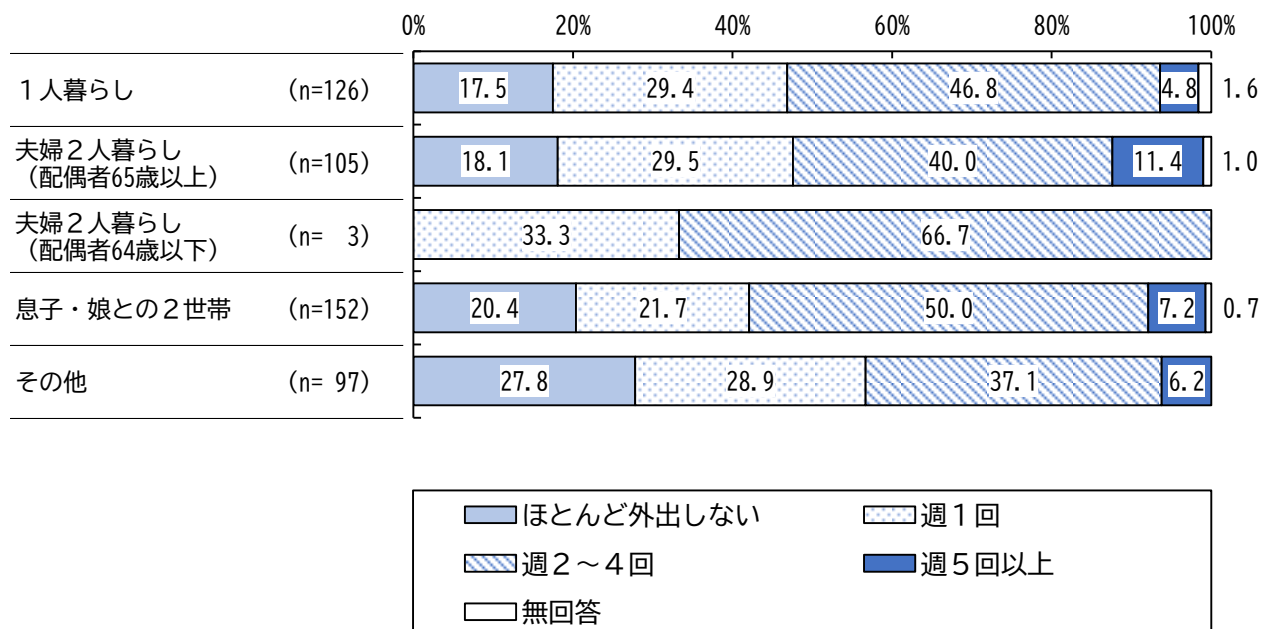
【事業対象者・家族構成別】

家族構成別でみると、1人暮らしで「週1回」の割合が高くなっています。



【要支援認定者・家族構成別】

家族構成別で見ると、夫婦2人暮らし（配偶者64歳以下）で「週2～4回」の割合が高くなっています。



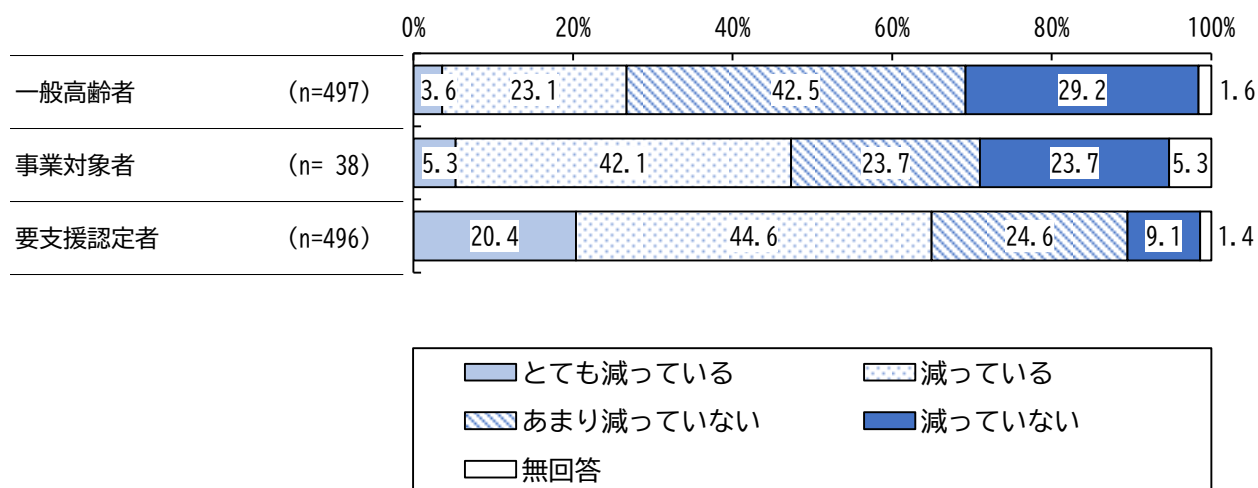
問 昨年と比べて外出の回数が減っていますか（1つに○）

【一般高齢者：問2（7）、事業対象者：問2（7）、要支援認定者：問2（7）】

一般高齢者では、「あまり減っていない」の割合が42.5%と最も高く、次いで「減っていない」の割合が29.2%、「減っている」の割合が23.1%となっています。

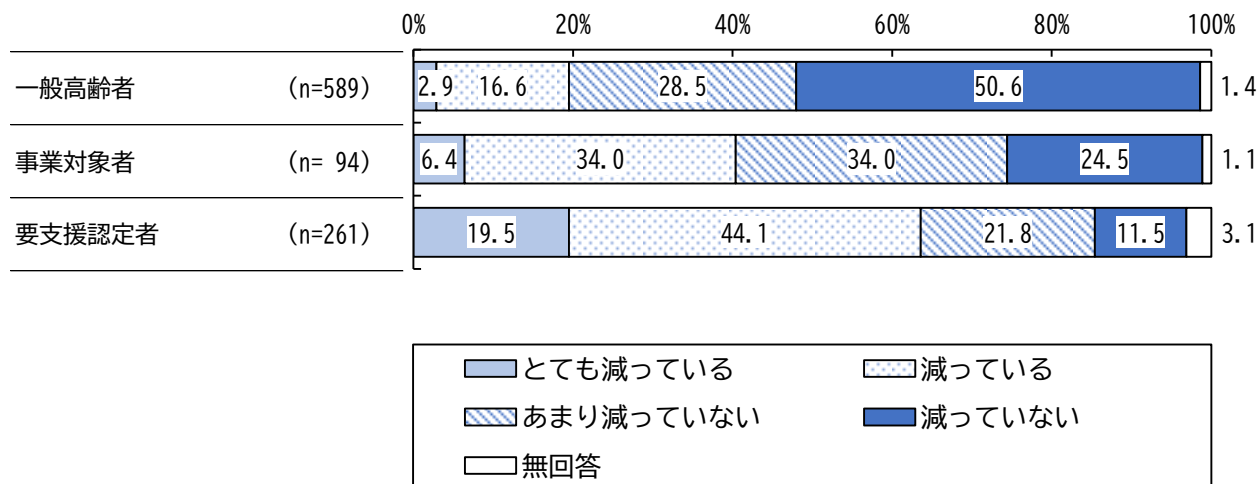
事業対象者では、「減っている」の割合が42.1%と最も高く、次いで「あまり減っていない」と「減っていない」の割合が23.7%となっています。

要支援認定者では、「減っている」の割合が44.6%と最も高く、次いで「あまり減っていない」の割合が24.6%、「とても減っている」の割合が20.4%となっています。



【令和元年度調査】

令和元年度調査と比較すると、一般高齢者では「減っていない」の割合が減少しています。事業対象者では「あまり減っていない」の割合が減少しています。要支援認定者では大きな変化はみられません。



問 日頃、外出する際の主な移動手段は何ですか（1つに○）

【一般高齢者：問2（8）、事業対象者：問2（8）、要支援認定者：問2（8）】

一般高齢者では、「自動車（自分で運転）」の割合が63.2%と最も高く、次いで「自転車」の割合が12.5%、「自動車（人に乗せてもらう）」の割合が10.5%となっています。

事業対象者では、「自動車（自分で運転）」の割合が42.1%と最も高く、次いで「徒歩」、「自転車」、「自動車（人に乗せてもらう）」の割合が15.8%となっています。

要支援認定者では、「自動車（人に乗せてもらう）」の割合が36.7%と最も高く、次いで「タクシー」の割合が15.5%、「自動車（自分で運転）」の割合が12.1%となっています。

単位：%

	全体 (件数)	徒歩	自転車	バイク	自動車 (自分で運転)	自動車 (人に乗せてもらう)	タクシー	路線バス ・自主運行バス	病院や施設 のバス・送迎車	車いす	電動シニアカー	歩行器・ シルバーカー	その他	無回答
一般高齢者	497	8.2	12.5	2.8	63.2	10.5	0.8	0.6	0.2	-	-	-	0.2	1.0
事業対象者	38	15.8	15.8	2.6	42.1	15.8	5.3	-	-	-	-	2.6	-	-
要支援認定者	496	10.5	6.9	0.6	12.1	36.7	15.5	2.4	4.0	0.8	1.2	8.5	0.6	0.2

【令和元年度調査】

令和元年度調査は複数回答可能な質問であったため、参考にとどめます。

単位：%

	全体 (件数)	徒歩	自転車	バイク	自動車 (自分で運転)	自動車 (人に乗せてもらう)	タクシー	路線バス	病院や施設 のバス	車いす	電動車いす (カート)	歩行器・ シルバーカー	その他	無回答
一般高齢者	589	52.0	37.0	5.8	56.5	29.0	12.4	14.1	0.3	0.3	-	1.4	1.7	3.9
事業対象者	94	44.7	31.9	4.3	37.2	36.2	35.1	26.6	5.3	1.1	-	5.3	3.2	1.1
要支援認定者	261	33.7	10.3	1.1	8.0	61.7	50.2	14.9	10.3	2.7	3.4	21.8	1.9	2.7

【一般高齢者・外出の頻度別】

外出の頻度別で見ると、いずれも「自動車（自分で運転）」の割合が最も高く、ほとんど外出しないと週1回では「自動車（人に乗せてもらう）」の割合も高くなっています。

単位：％

	全体 (件数)	徒歩	自転車	バイク	自動車 (自分で運転)	自動車 (人に乗せてもらう)	タクシー	路線バス・自主運行バス	病院や施設のバス・送迎車	車いす	電動シニアカー	歩行器・シルバーカー	その他	無回答
ほとんど外出しない	13	7.7	7.7	7.7	38.5	38.5	-	-	-	-	-	-	-	-
週1回	55	10.9	16.4	3.6	30.9	30.9	5.5	-	1.8	-	-	-	-	-
週2～4回	229	8.3	13.5	3.1	63.3	10.5	0.4	0.9	-	-	-	-	-	-
週5回以上	190	7.9	10.5	2.1	76.3	2.6	-	0.5	-	-	-	-	-	-

【事業対象者・外出の頻度別】

外出の頻度別で見ると、ほとんど外出しないを除く頻度で「自動車（自分で運転）」の割合が最も高くなっています。

単位：％

	全体 (件数)	徒歩	自転車	バイク	自動車 (自分で運転)	自動車 (人に乗せてもらう)	タクシー	路線バス・自主運行バス	病院や施設のバス・送迎車	車いす	電動シニアカー	歩行器・シルバーカー	その他	無回答
ほとんど外出しない	1	-	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
週1回	6	33.3	-	-	33.3	16.7	16.7	-	-	-	-	-	-	-
週2～4回	18	5.6	16.7	5.6	33.3	27.8	5.6	-	-	-	-	5.6	-	-
週5回以上	12	25.0	8.3	-	66.7	-	-	-	-	-	-	-	-	-

【要支援認定者・外出の頻度別】

外出の頻度別で見ると、週5回以上では「徒歩」の割合が最も高くなっています。

単位：%

	全体 (件数)	徒歩	自転車	バイク	自動車 (自分で運転)	自動車 (人に乗せてもらう)	タクシー	路線バス・自主運行バス	病院や施設のバス・送迎車	車いす	電動シニアカー	歩行器・シルバーカー	その他	無回答
ほとんど外出しない	101	4.0	4.0	-	3.0	52.5	19.8	2.0	3.0	2.0	1.0	8.9	-	-
週1回	133	12.0	3.8	-	7.5	37.6	18.8	2.3	3.0	0.8	2.3	10.5	1.5	-
週2～4回	223	9.9	8.5	0.9	17.5	32.7	13.0	2.7	5.8	0.4	0.9	7.2	0.4	-
週5回以上	35	25.7	17.1	2.9	22.9	14.3	8.6	2.9	-	-	-	5.7	-	-

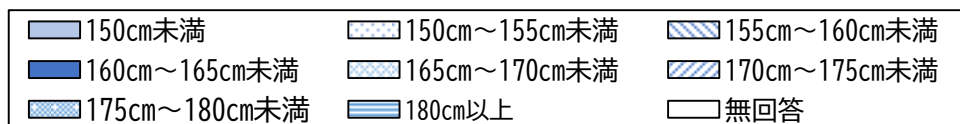
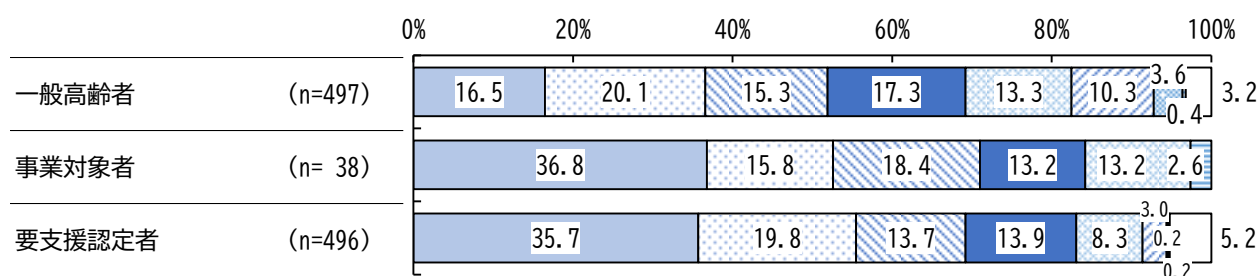
(3) 食べることについて

問 身長 【一般高齢者：問3（1）、事業対象者：問3（1）、要支援認定者：問3（1）】

一般高齢者では、「150cm～155cm未満」の割合が20.1%と最も高く、次いで「160cm～165cm未満」の割合が17.3%、「150cm未満」の割合が16.5%となっています。

事業対象者では、「150cm未満」の割合が36.8%と最も高く、次いで「155cm～160cm未満」の割合が18.4%、「150cm～155cm未満」の割合が15.8%となっています。

要支援認定者では、「150cm未満」の割合が35.7%と最も高く、次いで「150cm～155cm未満」の割合が19.8%、「160cm～165cm未満」の割合が13.9%となっています。

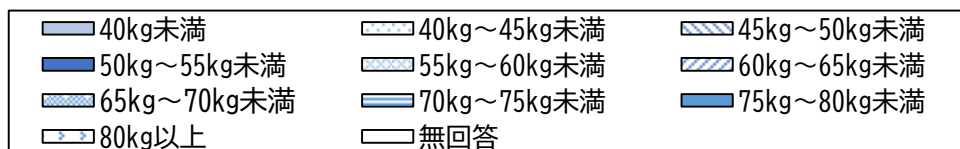
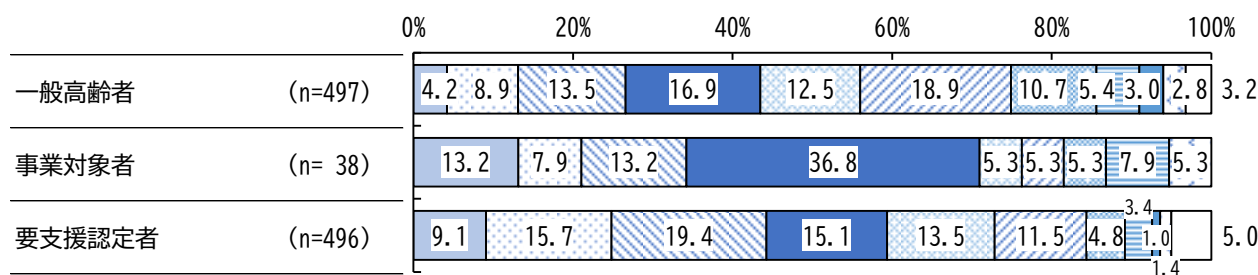


問 体重 【一般高齢者：問3（1）、事業対象者：問3（1）、要支援認定者：問3（1）】

一般高齢者では、「60kg～65kg未満」の割合が18.9%と最も高く、次いで「50kg～55kg未満」の割合が16.9%、「45kg～50kg未満」の割合が13.5%となっています。

事業対象者では、「50kg～55kg未満」の割合が36.8%と最も高く、次いで「40kg未満」と「45kg～50kg未満」の割合が13.2%となっています。

要支援認定者では、「45kg～50kg未満」の割合が19.4%と最も高く、次いで「40kg～45kg未満」の割合が15.7%、「50kg～55kg未満」の割合が15.1%となっています。

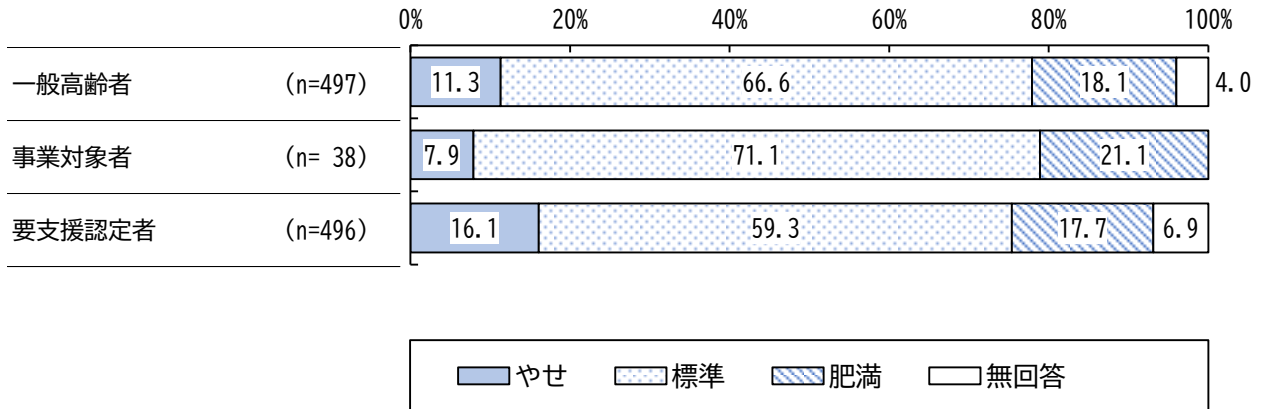


BMI

一般高齢者では、「標準」の割合が66.6%と最も高く、次いで「肥満」の割合が18.1%、「やせ」の割合が11.3%となっています。

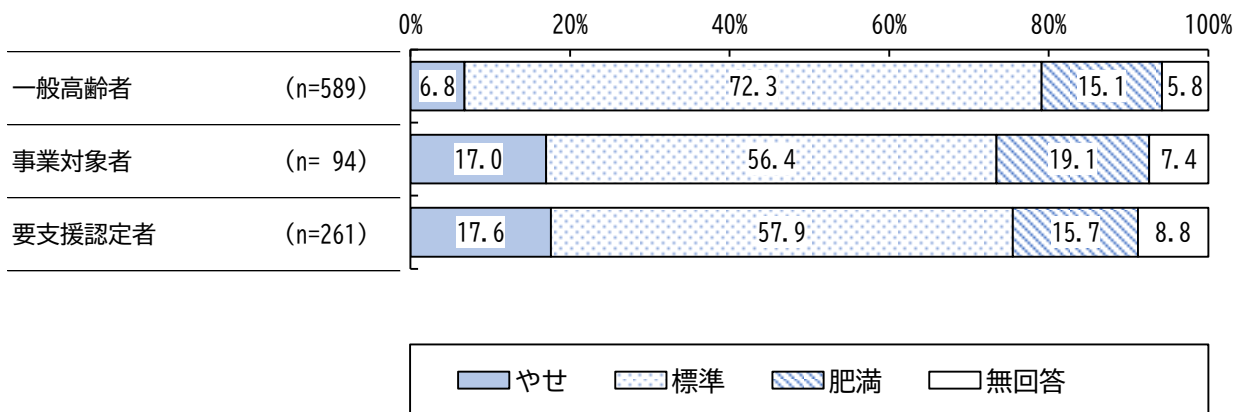
事業対象者では、「標準」の割合が71.1%と最も高く、次いで「肥満」の割合が21.1%となっています。

要支援認定者では、「標準」の割合が59.3%と最も高く、次いで「肥満」の割合が17.7%、「やせ」の割合が16.1%となっています。



【令和元年度調査】

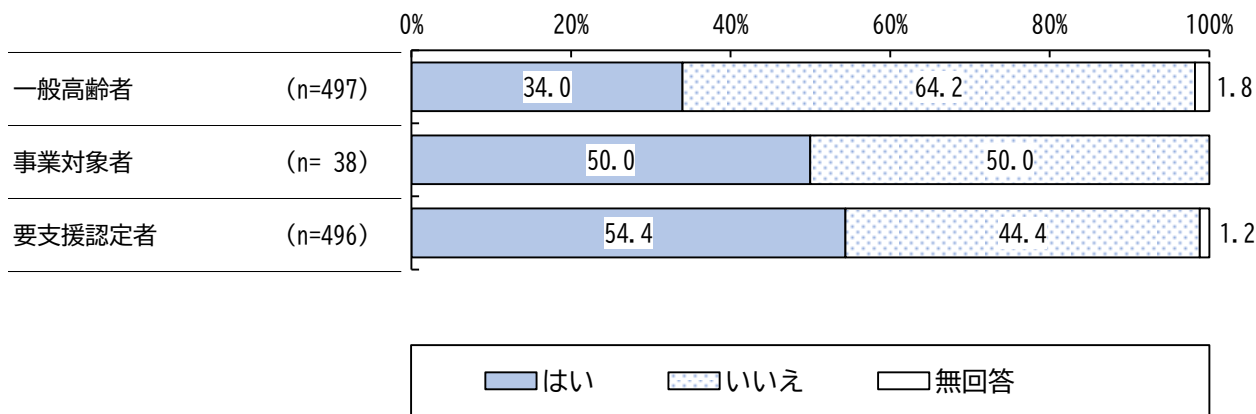
令和元年度調査と比較すると、一般高齢者では「標準」の割合が減少しています。事業対象者では「標準」の割合が増加しています。要支援認定者では大きな変化はみられません。



問 半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか（1つに○）

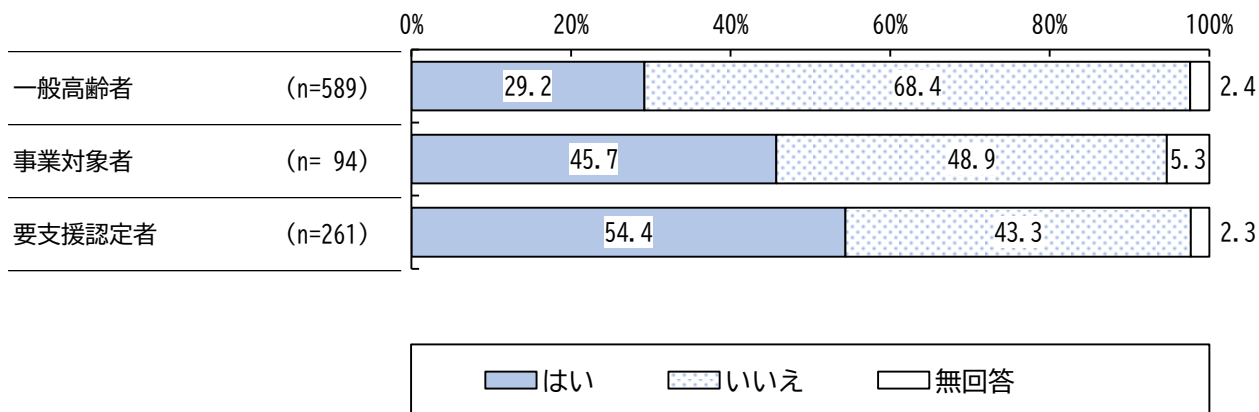
【一般高齢者：問3（2）、事業対象者：問3（2）、要支援認定者：問3（2）】

一般高齢者では、「はい」の割合が34.0%、「いいえ」の割合が64.2%となっています。
 事業対象者では、「はい」の割合が50.0%、「いいえ」の割合が50.0%となっています。
 要支援認定者では、「はい」の割合が54.4%、「いいえ」の割合が44.4%となっています。



【令和元年度調査】

令和元年度調査と比較すると、一般高齢者では大きな変化はみられません。事業対象者では大きな変化はみられません。要支援認定者では大きな変化はみられません。



問 歯の数と入れ歯の利用状況を教えてください（1つに○）

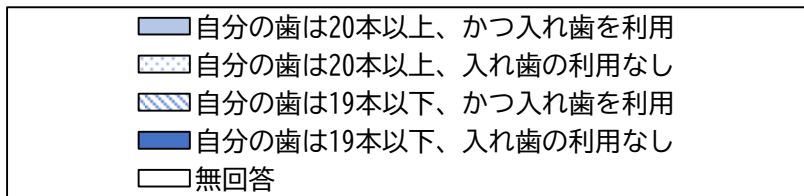
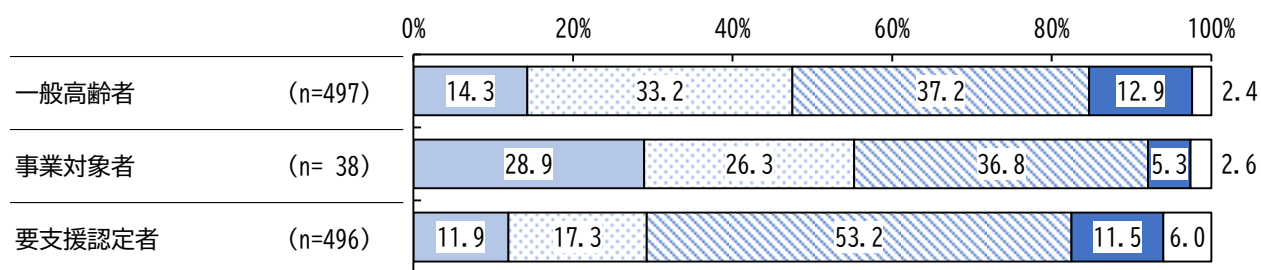
（成人の歯の総本数は、親知らずを含めて32本です）

【一般高齢者：問3（3）、事業対象者：問3（3）、要支援認定者：問3（3）】

一般高齢者では、「自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用」の割合が37.2%と最も高く、次いで「自分の歯は20本以上、入れ歯の利用なし」の割合が33.2%、「自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用」の割合が14.3%となっています。

事業対象者では、「自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用」の割合が36.8%と最も高く、次いで「自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用」の割合が28.9%、「自分の歯は20本以上、入れ歯の利用なし」の割合が26.3%となっています。

要支援認定者では、「自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用」の割合が53.2%と最も高く、次いで「自分の歯は20本以上、入れ歯の利用なし」の割合が17.3%、「自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用」の割合が11.9%となっています。



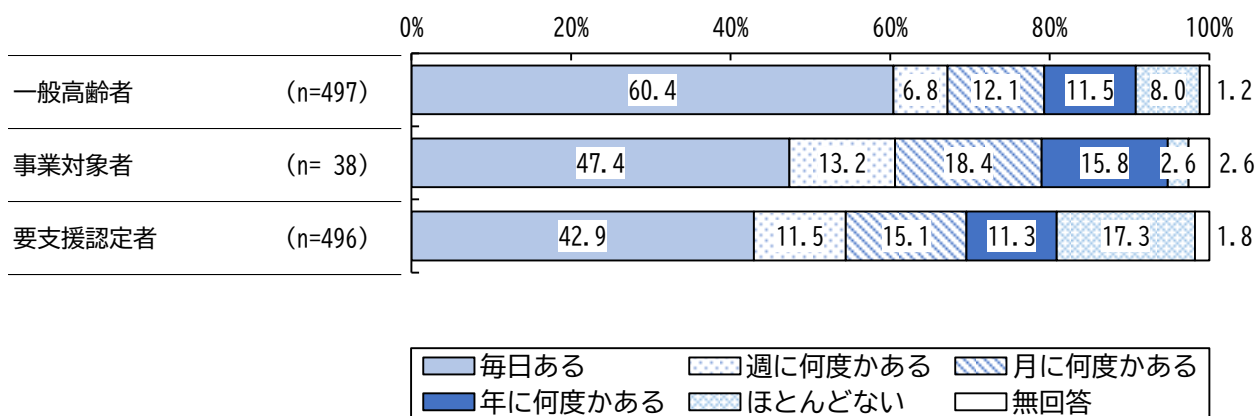
問 どなたかと食事をとる機会がありますか（1つに○）

【一般高齢者：問3（4）、事業対象者：問3（4）、要支援認定者：問3（4）】

一般高齢者では、「毎日ある」の割合が60.4%と最も高く、次いで「月に何度かある」の割合が12.1%、「年に何度かある」の割合が11.5%となっています。

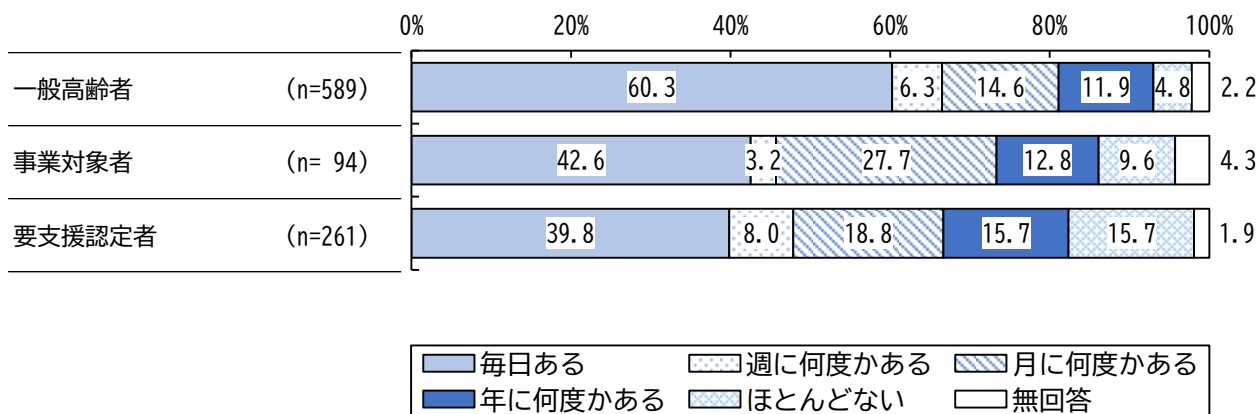
事業対象者では、「毎日ある」の割合が47.4%と最も高く、次いで「月に何度かある」の割合が18.4%、「年に何度かある」の割合が15.8%となっています。

要支援認定者では、「毎日ある」の割合が42.9%と最も高く、次いで「ほとんどない」の割合が17.3%、「月に何度かある」の割合が15.1%となっています。



【令和元年度調査】

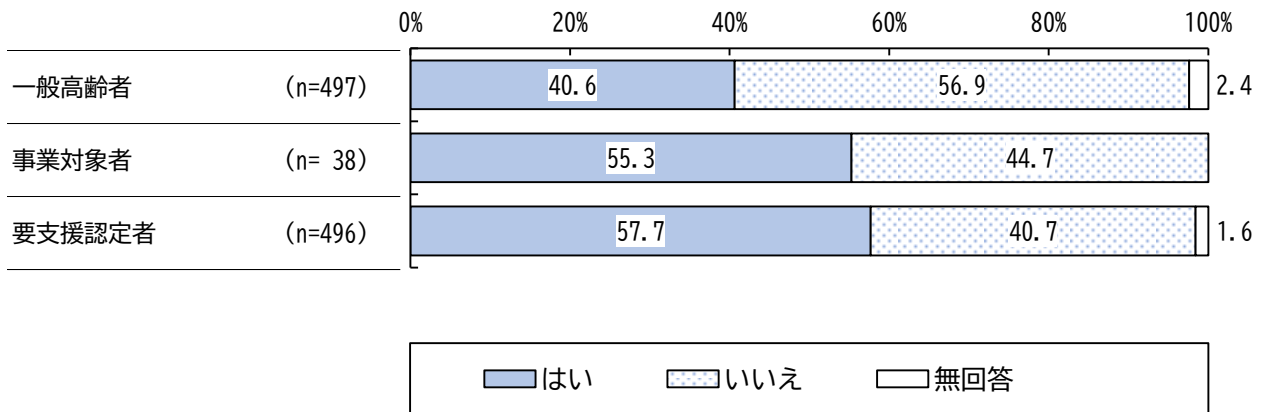
令和元年度調査と比較すると、一般高齢者では大きな変化はみられません。事業対象者では「週に何度かある」の割合が増加しています。要支援認定者では大きな変化はみられません。



(4) 毎日の生活について

問 物忘れが多いと感じますか（1つに○）
 【一般高齢者：問4（1）、事業対象者：問4（1）、要支援認定者：問4（1）】

一般高齢者では、「はい」の割合が40.6%、「いいえ」の割合が56.9%となっています。
 事業対象者では、「はい」の割合が55.3%、「いいえ」の割合が44.7%となっています。
 要支援認定者では、「はい」の割合が57.7%、「いいえ」の割合が40.7%となっています。

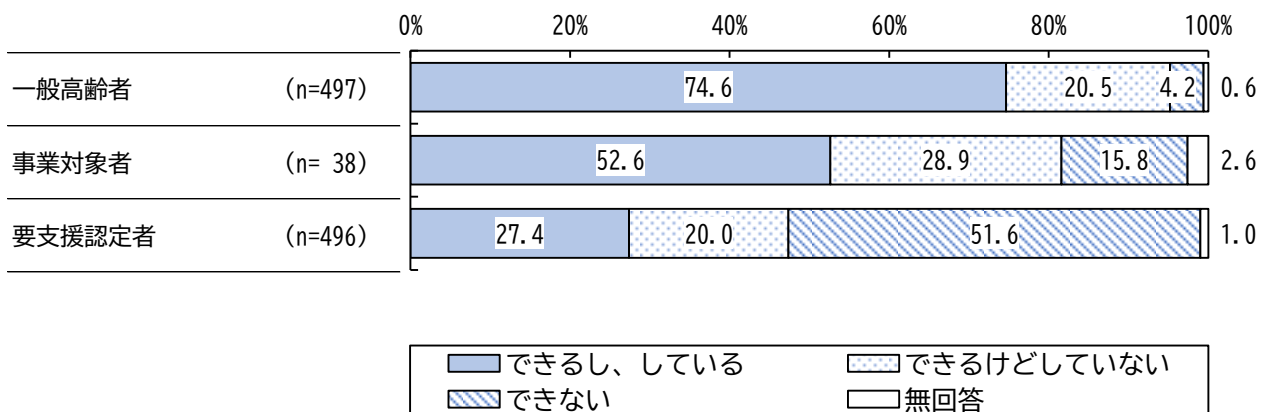


問 バスや電車を使って1人で外出していますか（自家用車でも可）（1つに○）
 【一般高齢者：問4（2）、事業対象者：問4（2）、要支援認定者：問4（2）】

一般高齢者では、「できるし、している」の割合が74.6%と最も高く、次いで「できるけどしていない」の割合が20.5%となっています。

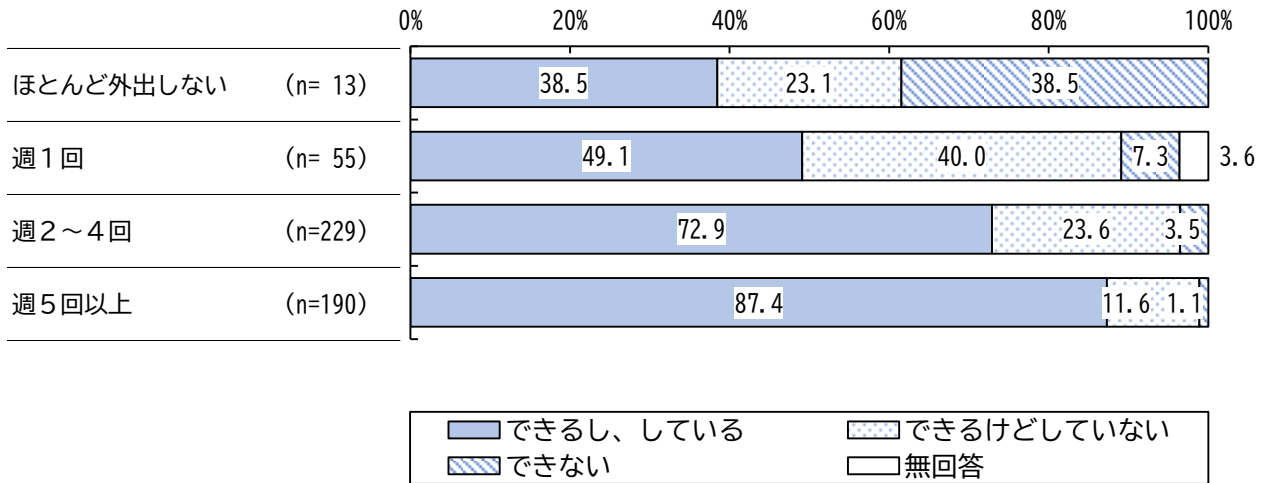
事業対象者では、「できるし、している」の割合が52.6%と最も高く、次いで「できるけどしていない」の割合が28.9%、「できない」の割合が15.8%となっています。

要支援認定者では、「できない」の割合が51.6%と最も高く、次いで「できるし、している」の割合が27.4%、「できるけどしていない」の割合が20.0%となっています。



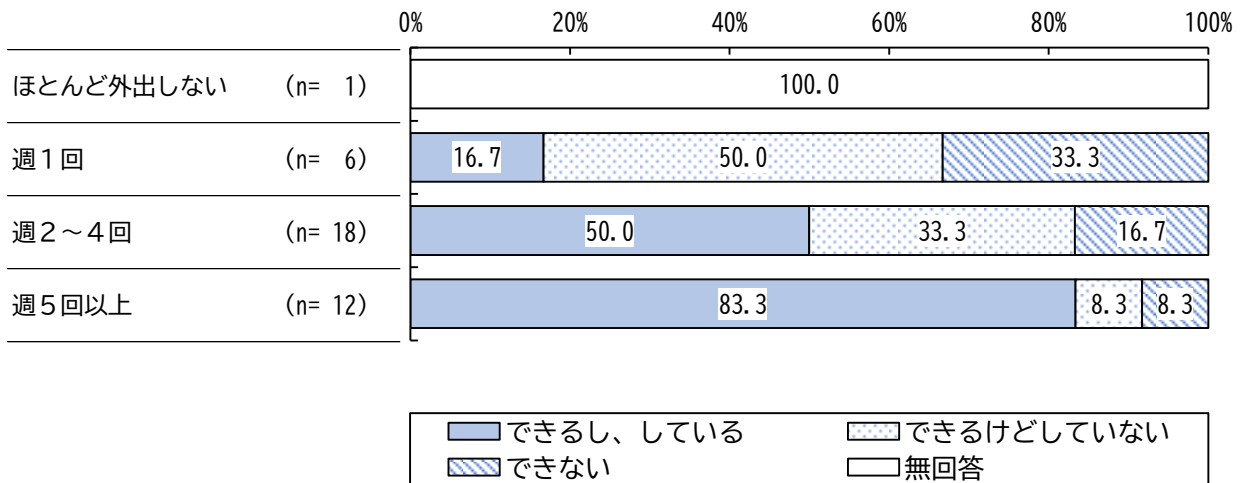
【一般高齢者・外出の頻度別】

外出の頻度別で見ると、週5回以上で「できるし、している」の割合が高くなっています。また、週1回で「できるけどしていない」の割合が、ほとんど外出しないで「できない」の割合が高くなっています。



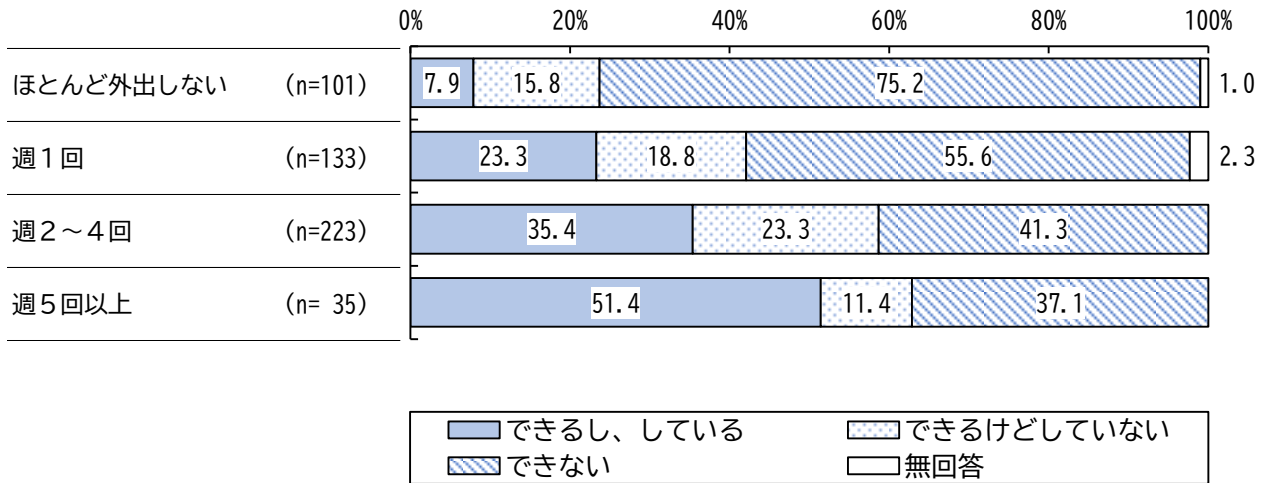
【事業対象者・外出の頻度別】

外出の頻度別で見ると、週5回以上で「できるし、している」の割合が、週1回で「できるけどしていない」の割合が高くなっています。



【要支援認定者・外出の頻度別】

外出の頻度別で見ると、週5回以上で「できるし、している」の割合が高くなっています。また、ほとんど外出しないで「できない」の割合が高くなっています。

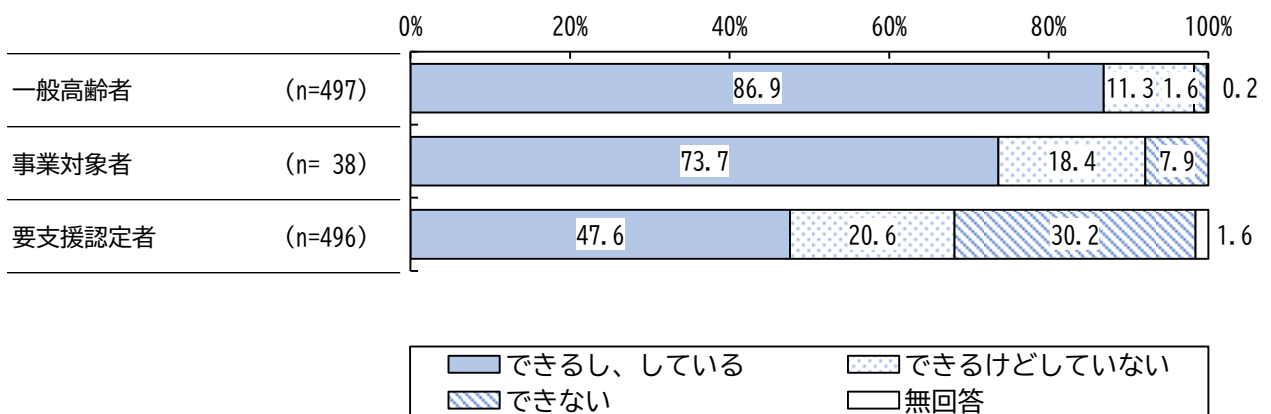


問 自分で食品・日用品の買物をしていますか (1つに○)
 【一般高齢者：問4 (3)、事業対象者：問4 (3)、要支援認定者：問4 (3)】

一般高齢者では、「できるし、している」の割合が86.9%と最も高く、次いで「できるけどしていない」の割合が11.3%となっています。

事業対象者では、「できるし、している」の割合が73.7%と最も高く、次いで「できるけどしていない」の割合が18.4%となっています。

要支援認定者では、「できるし、している」の割合が47.6%と最も高く、次いで「できない」の割合が30.2%、「できるけどしていない」の割合が20.6%となっています。



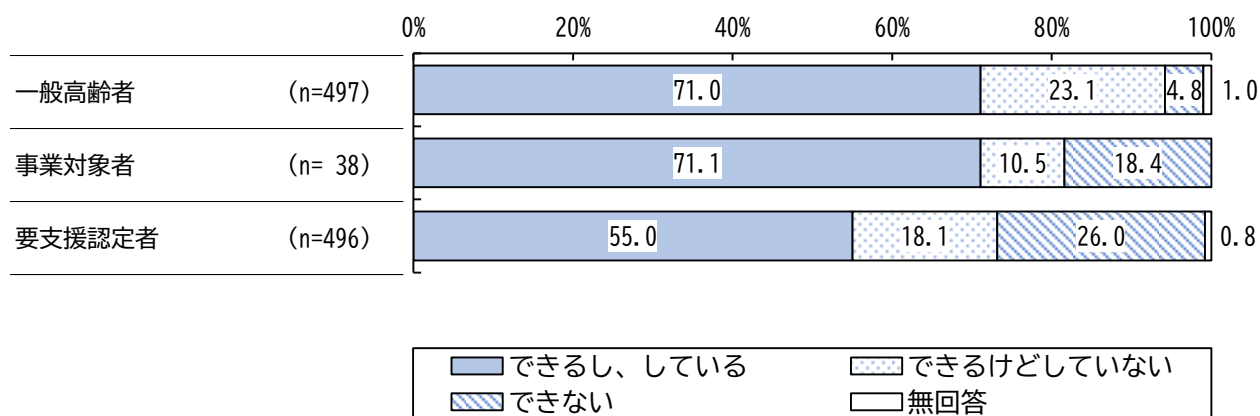
問 自分で食事の用意をしていますか（1つに○）

【一般高齢者：問4（4）、事業対象者：問4（4）、要支援認定者：問4（4）】

一般高齢者では、「できるし、している」の割合が71.0%と最も高く、次いで「できるけどしていない」の割合が23.1%となっています。

事業対象者では、「できるし、している」の割合が71.1%と最も高く、次いで「できない」の割合が18.4%、次いで「できるけどしていない」の割合が10.5%となっています。

要支援認定者では、「できるし、している」の割合が55.0%と最も高く、次いで「できない」の割合が26.0%、「できるけどしていない」の割合が18.1%となっています。



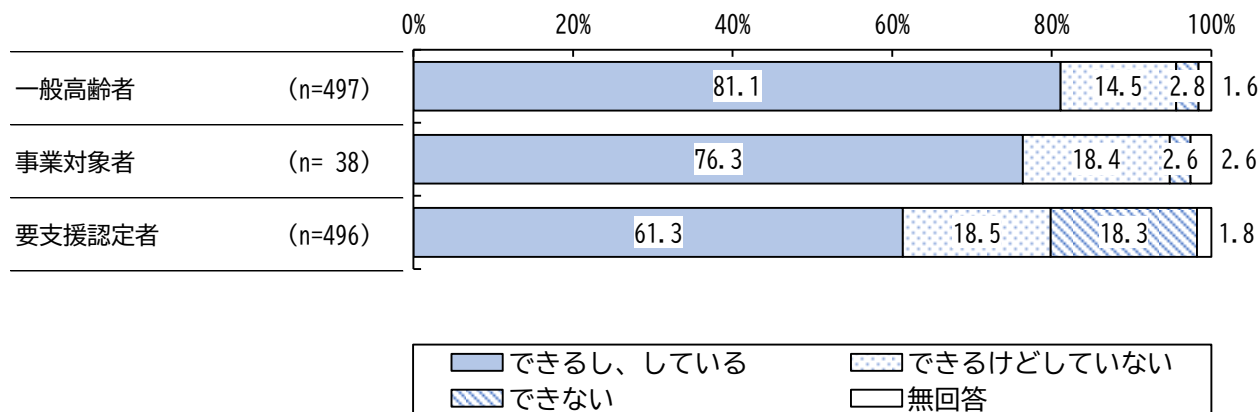
問 自分で請求書の支払いをしていますか（1つに○）

【一般高齢者：問4（5）、事業対象者：問4（5）、要支援認定者：問4（5）】

一般高齢者では、「できるし、している」の割合が81.1%と最も高く、次いで「できるけどしていない」の割合が14.5%となっています。

事業対象者では、「できるし、している」の割合が76.3%と最も高く、次いで「できるけどしていない」の割合が18.4%となっています。

要支援認定者では、「できるし、している」の割合が61.3%と最も高く、次いで「できるけどしていない」の割合が18.5%、「できない」の割合が18.3%となっています。



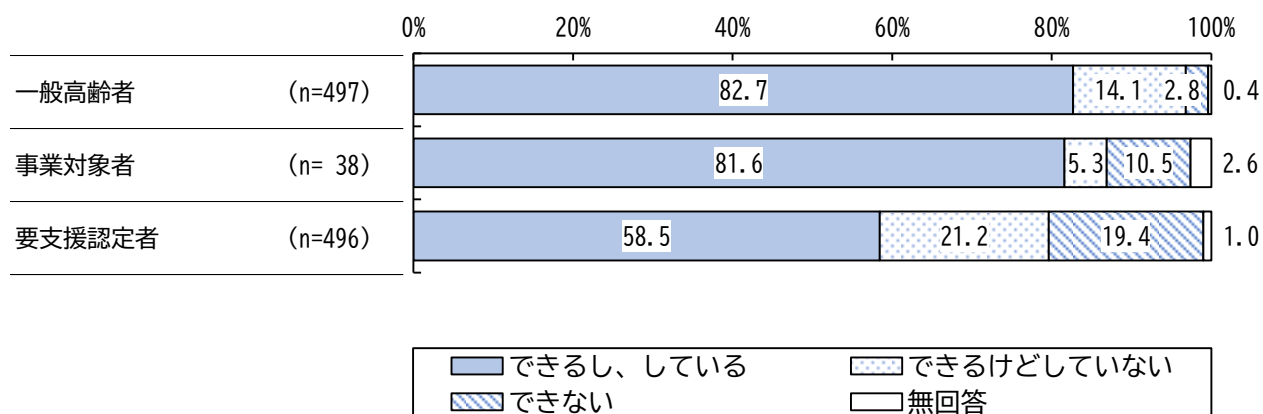
問 自分で預貯金の出し入れをしていますか（1つに○）

【一般高齢者：問4（6）、事業対象者：問4（6）、要支援認定者：問4（6）】

一般高齢者では、「できるし、している」の割合が82.7%と最も高く、次いで「できるけどしていない」の割合が14.1%となっています。

事業対象者では、「できるし、している」の割合が81.6%と最も高く、次いで「できない」の割合が10.5%となっています。

要支援認定者では、「できるし、している」の割合が58.5%と最も高く、次いで「できるけどしていない」の割合が21.2%、「できない」の割合が19.4%となっています。



(5) 地域での活動について

問 以下のような会・グループ等にどのくらいの頻度で参加していますか

※① - ⑧それぞれに回答してください（それぞれ1つに○）

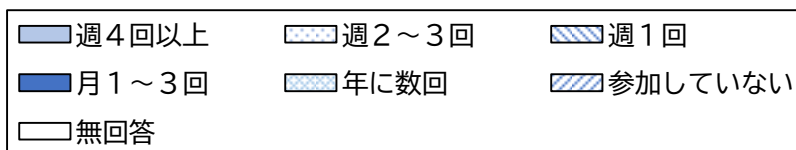
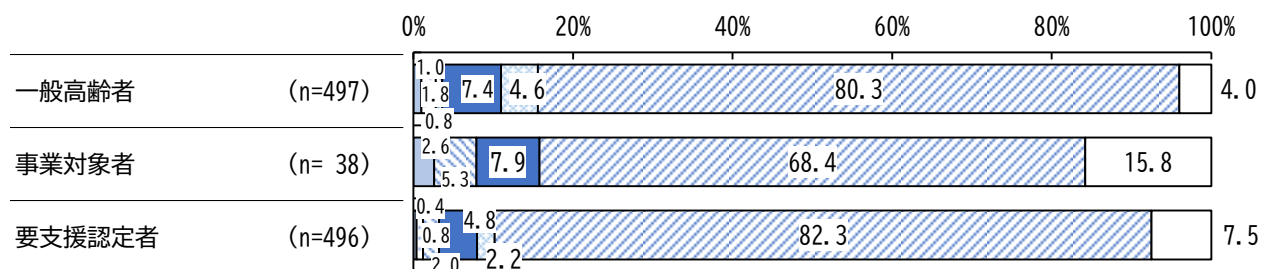
【一般高齢者：問5（1）、事業対象者：問5（1）、要支援認定者：問5（1）】

① ボランティアのグループ

一般高齢者では、「参加していない」の割合が80.3%と最も高くなっています。

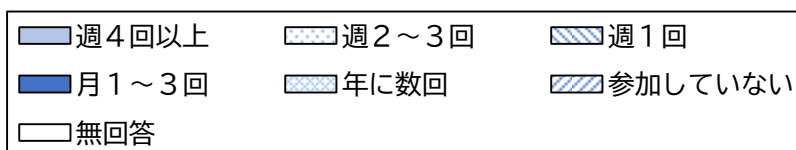
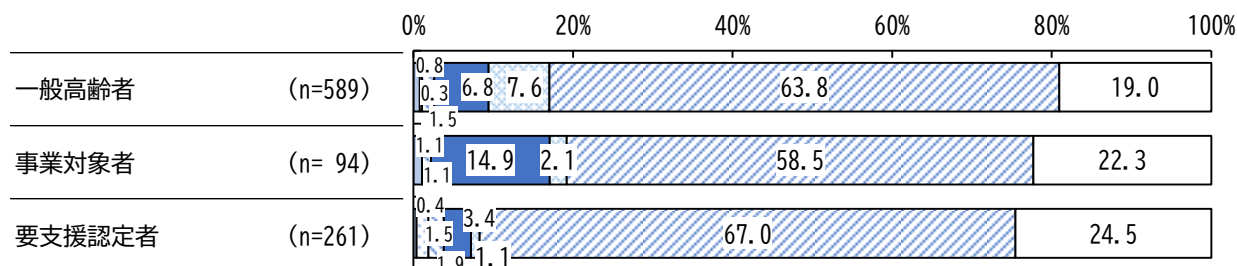
事業対象者では、「参加していない」の割合が68.4%と最も高くなっています。

要支援認定者では、「参加していない」の割合が82.3%と最も高くなっています。



【令和元年度調査】

令和元年度調査と比較すると、一般高齢者では「参加していない」の割合が増加しています。事業対象者では「参加していない」の割合が増加しています。要支援認定者では「参加していない」の割合が増加しています。

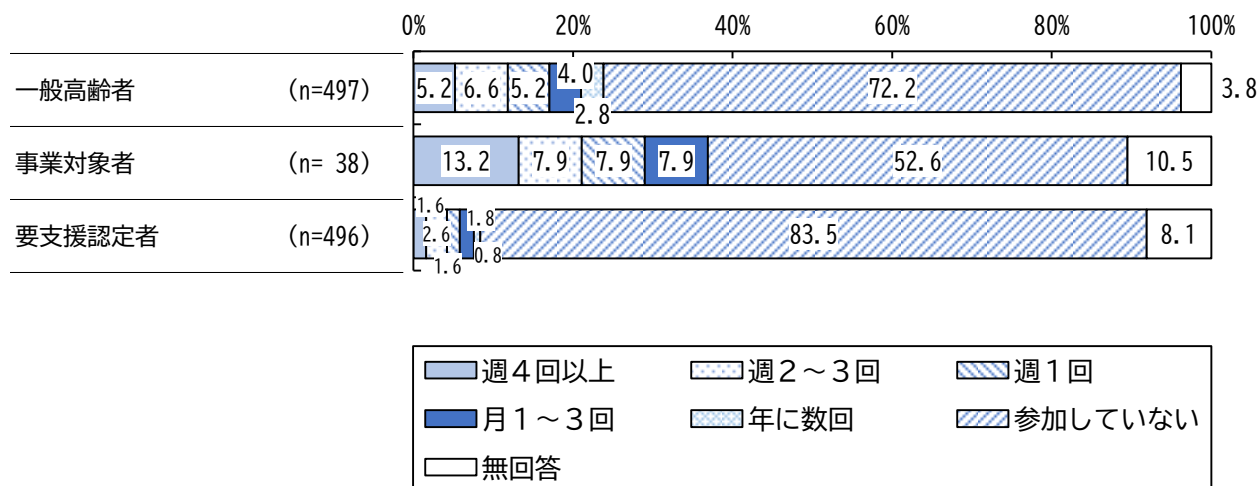


② スポーツ関係のグループやクラブ

一般高齢者では、「参加していない」の割合が72.2%と最も高くなっています。

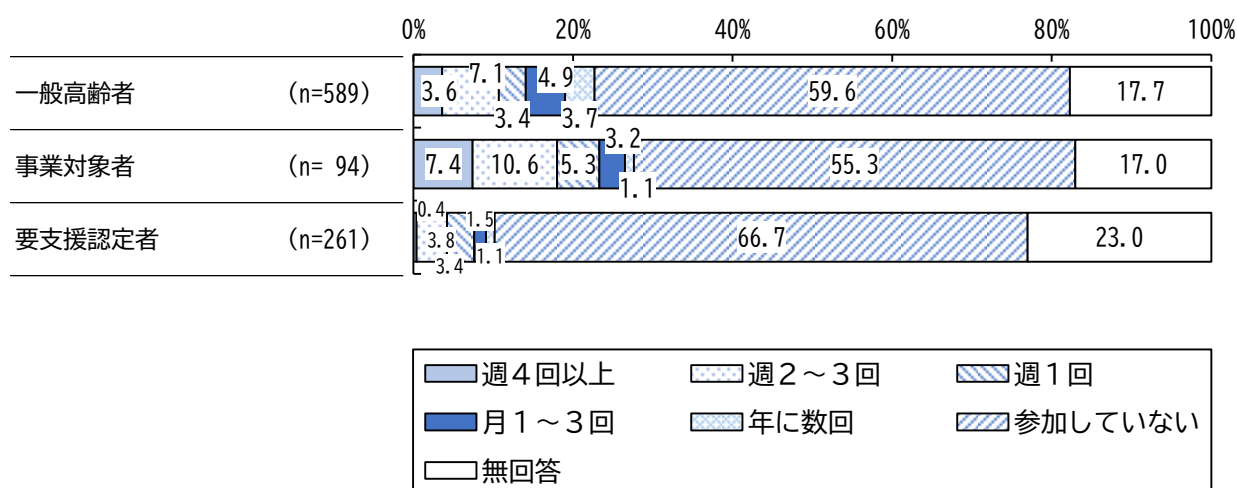
事業対象者では、「参加していない」の割合が52.6%と最も高く、次いで「週4回以上」の割合が13.2%となっています。

要支援認定者では、「参加していない」の割合が83.5%と最も高くなっています。



【令和元年度調査】

令和元年度調査と比較すると、一般高齢者では「参加していない」の割合が増加しています。事業対象者では「週4回以上」の割合が増加しています。要支援認定者では「参加していない」の割合が増加しています。

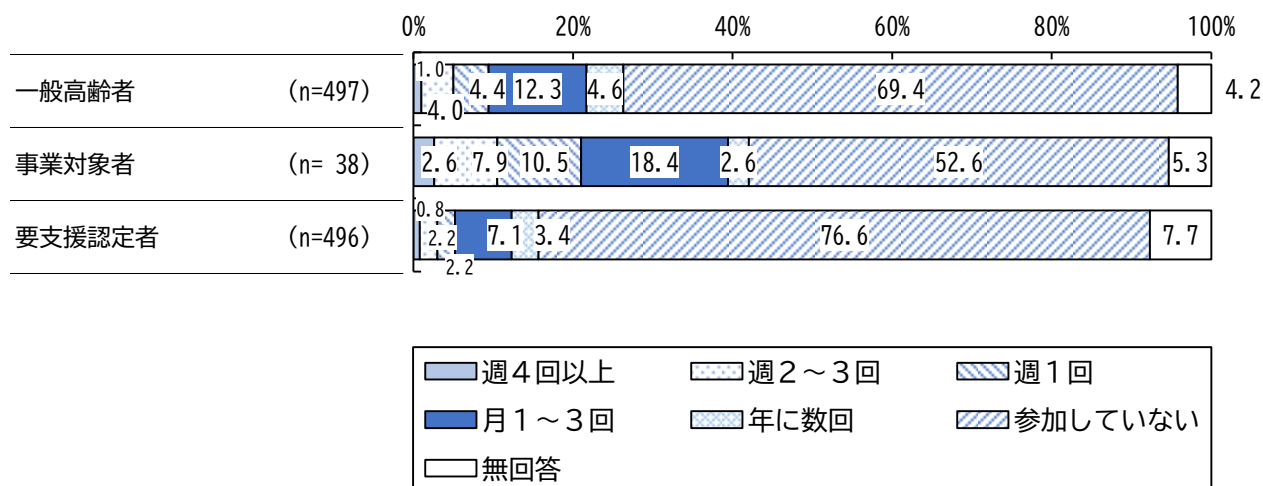


③ 趣味関係のグループ

一般高齢者では、「参加していない」の割合が69.4%と最も高く、次いで「月1～3回」の割合が12.3%となっています。

事業対象者では、「参加していない」の割合が52.6%と最も高く、次いで「月1～3回」の割合が18.4%、「週1回」の割合が10.5%となっています。

要支援認定者では、「参加していない」の割合が76.6%と最も高くなっています。

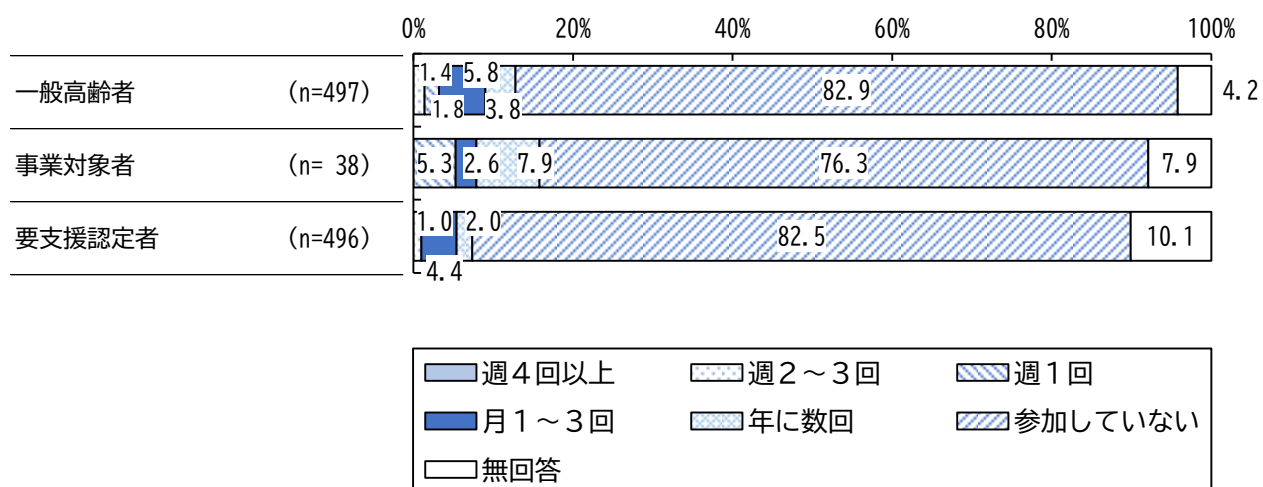


④ 学習・教養サークル

一般高齢者では、「参加していない」の割合が82.9%と最も高くなっています。

事業対象者では、「参加していない」の割合が76.3%と最も高くなっています。

要支援認定者では、「参加していない」の割合が82.5%と最も高くなっています。

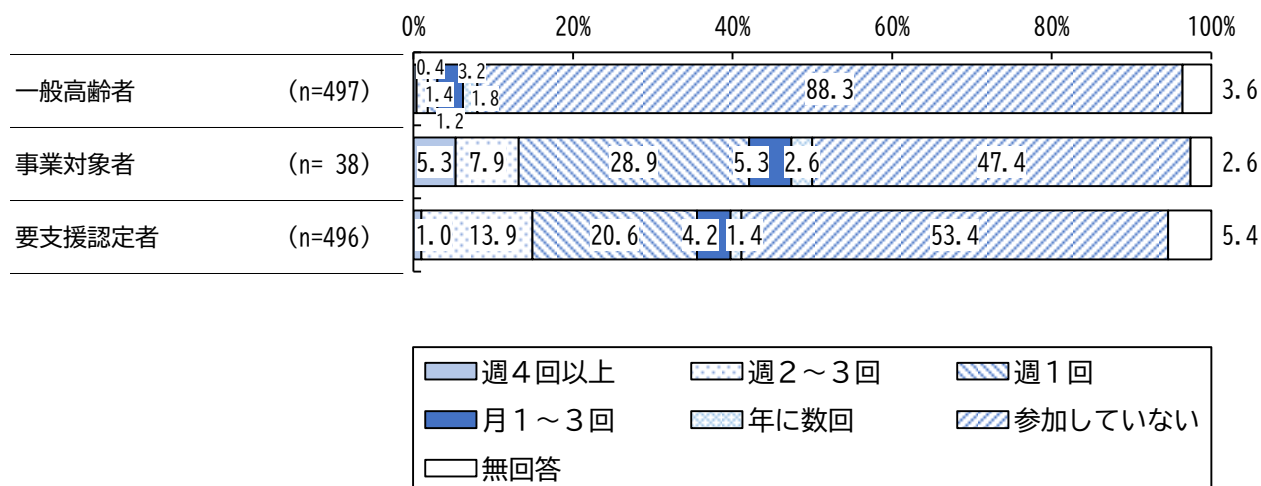


⑤ 介護予防のための通いの場（居場所・ミニデイ・サロン・体操会場など）

一般高齢者では、「参加していない」の割合が88.3%と最も高くなっています。

事業対象者では、「参加していない」の割合が47.4%と最も高く、次いで「週1回」の割合が28.9%となっています。

要支援認定者では、「参加していない」の割合が53.4%と最も高く、次いで「週1回」の割合が20.6%、「週2～3回」の割合が13.9%となっています。

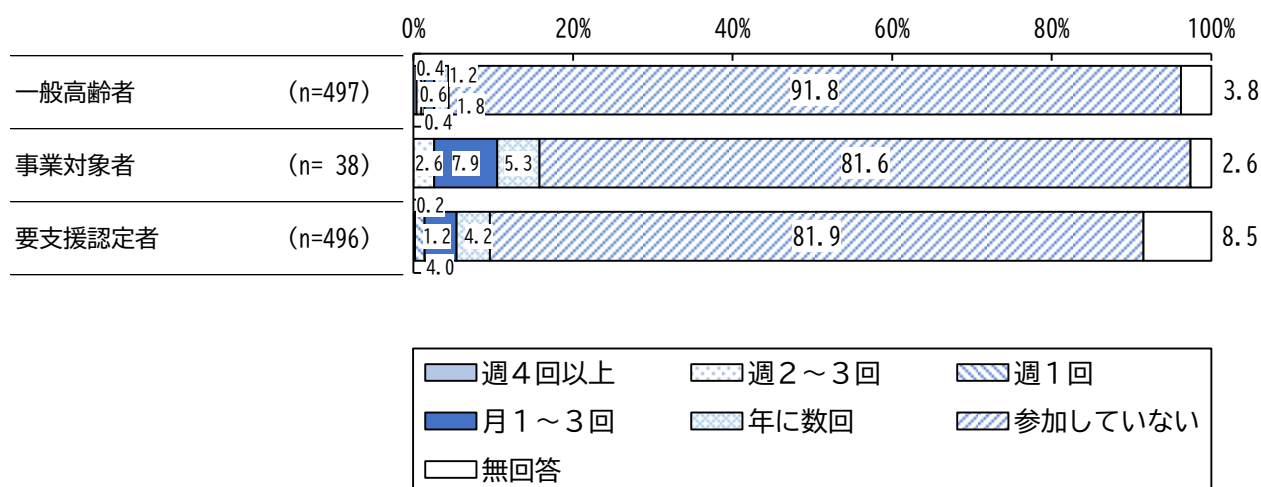


⑥ シニアクラブ・老人クラブ

一般高齢者では、「参加していない」の割合が91.8%と最も高くなっています。

事業対象者では、「参加していない」の割合が81.6%と最も高くなっています。

要支援認定者では、「参加していない」の割合が81.9%と最も高くなっています。

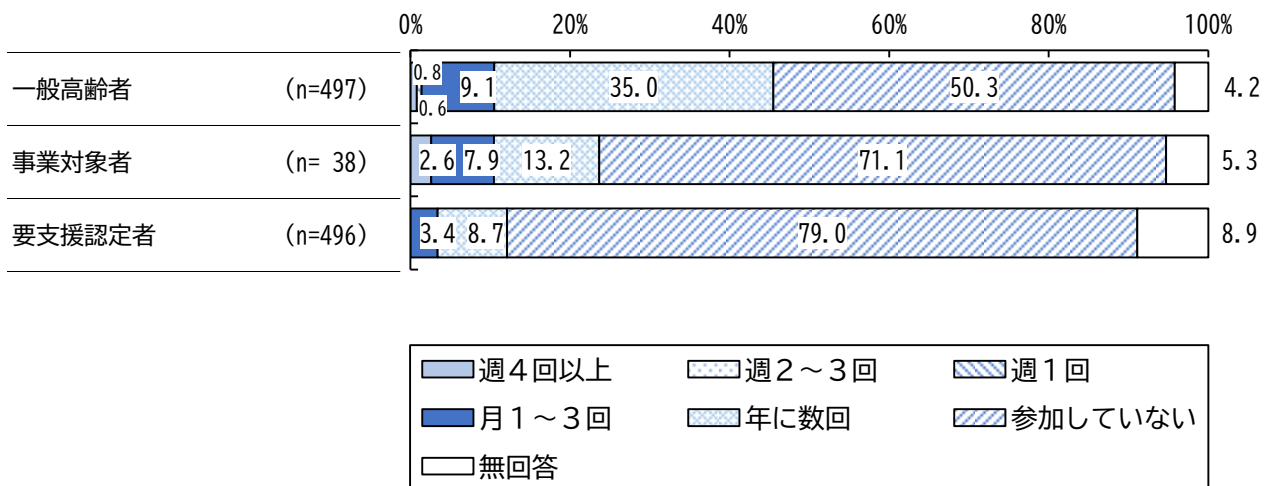


⑦ 町内会・自治会

一般高齢者では、「参加していない」の割合が50.3%と最も高く、次いで「年に数回」の割合が35.0%となっています。

事業対象者では、「参加していない」の割合が71.1%と最も高く、次いで「年に数回」の割合が13.2%となっています。

要支援認定者では、「参加していない」の割合が79.0%と最も高くなっています。

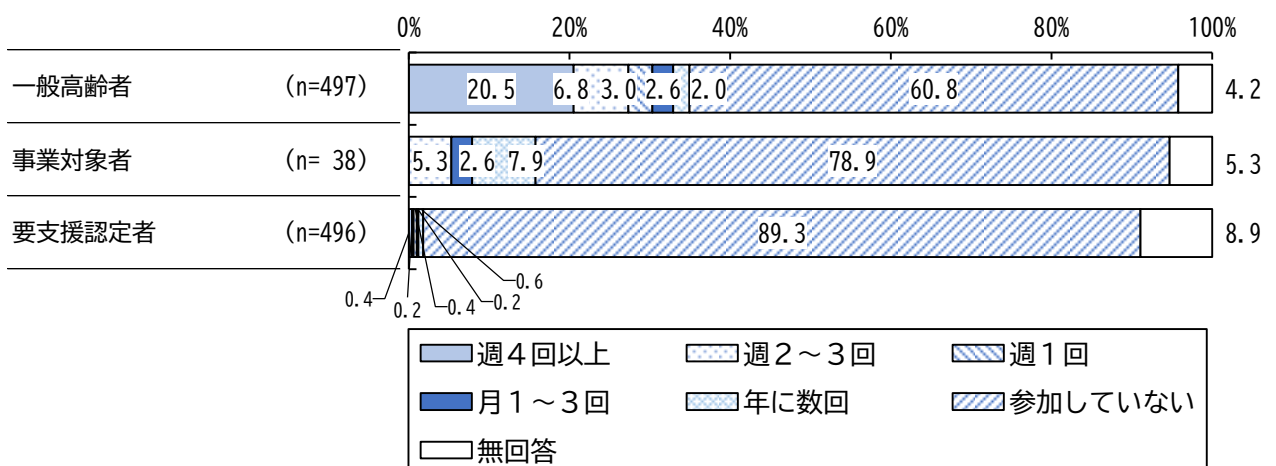


⑧ 収入のある仕事

一般高齢者では、「参加していない」の割合が60.8%と最も高く、次いで「週4回以上」の割合が20.5%となっています。

事業対象者では、「参加していない」の割合が78.9%と最も高くなっています。

要支援認定者では、「参加していない」の割合が89.3%と最も高くなっています。



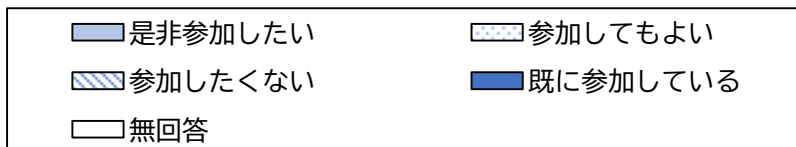
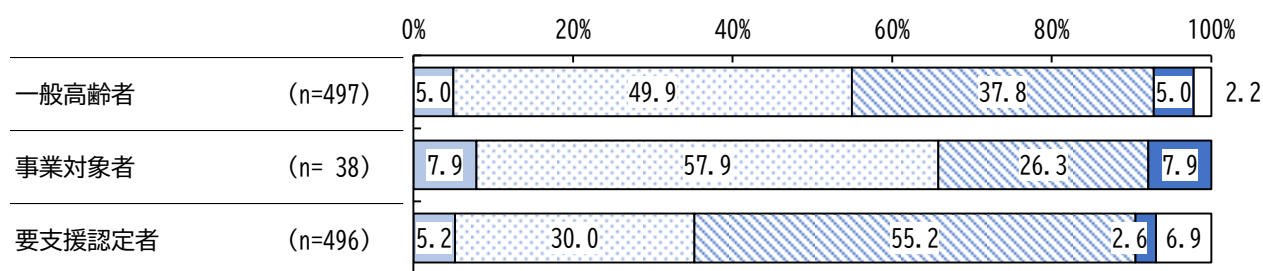
問 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思いますか（1つに○）

【一般高齢者：問5（2）、事業対象者：問5（2）、要支援認定者：問5（2）】

一般高齢者では、「参加してもよい」の割合が49.9%と最も高く、次いで「参加したくない」の割合が37.8%となっています。

事業対象者では、「参加してもよい」の割合が57.9%と最も高く、次いで「参加したくない」の割合が26.3%となっています。

要支援認定者では、「参加したくない」の割合が55.2%と最も高く、次いで「参加してもよい」の割合が30.0%となっています。



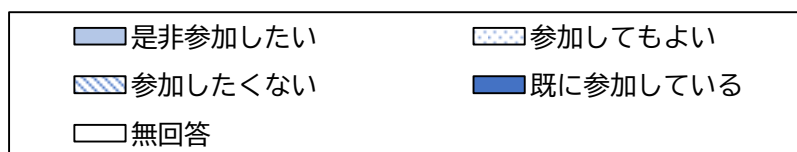
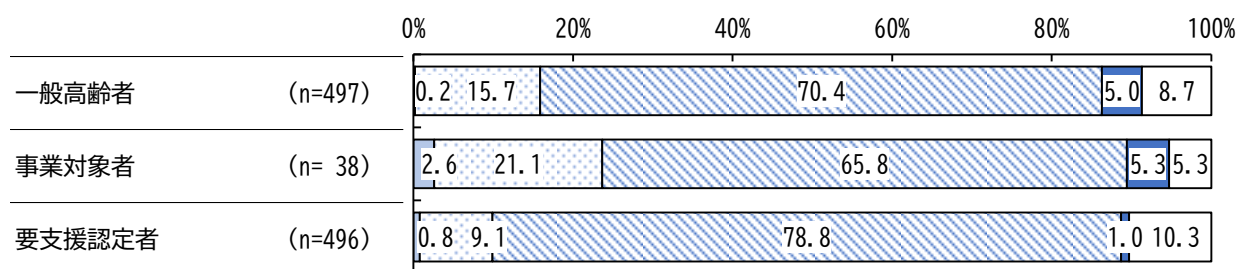
問 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に企画・運営（お世話役）として参加してみたいと思いますか（1つに○）

【一般高齢者：問5（3）、事業対象者：問5（3）、要支援認定者：問5（3）】

一般高齢者では、「参加したくない」の割合が70.4%と最も高く、次いで「参加してもよい」の割合が15.7%となっています。

事業対象者では、「参加したくない」の割合が65.8%と最も高く、次いで「参加してもよい」の割合が21.1%となっています。

要支援認定者では、「参加したくない」の割合が78.8%と最も高くなっています。



(6) あなたとまわりの人の「たすけあい」について

問 あなたの心配事や愚痴（ぐち）を聞いてくれる人（いくつでも○）
 【一般高齢者：問6（1）、事業対象者：問6（1）、要支援認定者：問6（1）】

一般高齢者では、「配偶者」の割合が56.7%と最も高く、次いで「友人」の割合が52.5%、「別居の子ども」の割合が41.2%となっています。

事業対象者では、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」の割合が50.0%と最も高く、次いで「友人」の割合が42.1%、「配偶者」の割合が34.2%となっています。

要支援認定者では、「別居の子ども」の割合が42.5%と最も高く、次いで「配偶者」の割合が31.5%、「同居の子ども」の割合が31.0%となっています。

単位：%

	全体 (件数)	配偶者	同居の子ども	別居の子ども	兄弟姉妹・親戚・親・孫	近隣	友人	その他	そのような人はいない	無回答
一般高齢者	497	56.7	24.5	41.2	38.2	18.7	52.5	4.6	4.2	1.0
事業対象者	38	34.2	28.9	28.9	50.0	15.8	42.1	-	-	2.6
要支援認定者	496	31.5	31.0	42.5	30.6	14.3	30.0	2.8	5.0	3.8

【令和元年度調査】

令和元年度調査と比較すると、一般高齢者では「別居の子ども」の割合が増加しています。事業対象者では「別居の子ども」の割合が減少しています。要支援認定者では大きな変化はみられません。

単位：%

	全体 (件数)	配偶者	同居の子ども	別居の子ども	兄弟姉妹・親戚・親・孫	近隣	友人	その他	そのような人はいない	無回答
一般高齢者	589	55.5	27.5	35.3	39.2	20.4	52.8	3.1	1.0	1.0
事業対象者	94	42.6	24.5	44.7	40.4	18.1	45.7	4.3	1.1	2.1
要支援認定者	261	30.7	30.7	37.9	32.6	17.2	32.6	4.6	6.5	1.9

問 反対に、あなたが心配事や愚痴（ぐち）を聞いてあげる人（いくつでも○）

【一般高齢者：問6（2）、事業対象者：問6（2）、要支援認定者：問6（2）】

一般高齢者では、「配偶者」の割合が52.9%と最も高く、次いで「友人」の割合が48.7%、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」の割合が40.2%となっています。

事業対象者では、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」の割合が44.7%と最も高く、次いで「友人」の割合が39.5%、「配偶者」の割合が26.3%となっています。

要支援認定者では、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」の割合が29.8%と最も高く、次いで「友人」の割合が28.2%、「別居の子ども」の割合が27.2%となっています。

単位：%

	全体 (件数)	配偶者	同居の子ども	別居の子ども	兄弟姉妹・親戚・親・孫	近隣	友人	その他	そのような人はいない	無回答
一般高齢者	497	52.9	19.3	37.4	40.2	20.9	48.7	2.8	6.0	2.8
事業対象者	38	26.3	7.9	23.7	44.7	23.7	39.5	-	5.3	5.3
要支援認定者	496	26.6	20.2	27.2	29.8	14.3	28.2	1.4	13.3	7.5

【令和元年度調査】

令和元年度調査と比較すると、一般高齢者では大きな変化はみられません。事業対象者では「配偶者」の割合が減少しています。要支援認定者では「別居の子ども」の割合が増加しています。

単位：%

	全体 (件数)	配偶者	同居の子ども	別居の子ども	兄弟姉妹・親戚・親・孫	近隣	友人	その他	そのような人はいない	無回答
一般高齢者	589	53.8	23.9	35.0	41.4	23.9	52.6	2.7	2.5	2.2
事業対象者	94	39.4	19.1	35.1	38.3	26.6	46.8	1.1	8.5	2.1
要支援認定者	261	27.6	19.9	21.5	28.7	18.4	31.8	2.7	13.0	7.3

問 あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人（いくつでも○）

【一般高齢者：問6（3）、事業対象者：問6（3）、要支援認定者：問6（3）】

一般高齢者では、「配偶者」の割合が63.4%と最も高く、次いで「別居の子ども」の割合が36.6%、「同居の子ども」の割合が29.6%となっています。

事業対象者では、「配偶者」の割合が36.8%と最も高く、次いで「別居の子ども」の割合が34.2%、「同居の子ども」の割合が31.6%となっています。

要支援認定者では、「同居の子ども」の割合が39.7%と最も高く、次いで「別居の子ども」の割合が35.3%、「配偶者」の割合が33.3%となっています。

単位：%

	全体 (件数)	配偶者	同居の子ども	別居の子ども	兄弟姉妹・親戚・親・孫	近隣	友人	その他	そのような人はいない	無回答
一般高齢者	497	63.4	29.6	36.6	20.3	1.8	5.0	1.8	5.4	2.4
事業対象者	38	36.8	31.6	34.2	7.9	-	2.6	2.6	7.9	5.3
要支援認定者	496	33.3	39.7	35.3	14.3	3.4	4.6	1.8	11.3	3.2

【令和元年度調査】

令和元年度調査と比較すると、一般高齢者では「同居の子ども」の割合が減少しています。事業対象者では「別居の子ども」の割合が減少しています。要支援認定者では大きな変化はみられません。

単位：%

	全体 (件数)	配偶者	同居の子ども	別居の子ども	兄弟姉妹・親戚・親・孫	近隣	友人	その他	そのような人はいない	無回答
一般高齢者	589	61.3	35.5	35.7	20.0	2.0	4.8	1.0	3.7	1.7
事業対象者	94	46.8	34.0	44.7	16.0	6.4	9.6	1.1	5.3	2.1
要支援認定者	261	32.6	39.5	33.7	18.4	2.7	4.6	5.0	8.8	4.2

問 反対に、看病や世話をしあける人（いくつでも○）

【一般高齢者：問6（4）、事業対象者：問6（4）、要支援認定者：問6（4）】

一般高齢者では、「配偶者」の割合が63.0%と最も高く、次いで「別居の子ども」の割合が27.4%、「同居の子ども」の割合が26.2%となっています。

事業対象者では、「配偶者」の割合が39.5%と最も高く、次いで「別居の子ども」と「そのような人はいない」の割合が26.3%、「同居の子ども」と「兄弟姉妹・親戚・親・孫」の割合が15.8%となっています。

要支援認定者では、「そのような人はいない」の割合が37.9%と最も高く、次いで「配偶者」の割合が28.8%、「同居の子ども」の割合が16.3%となっています。

単位：%

	全体 (件数)	配偶者	同居の子ども	別居の子ども	兄弟姉妹・親戚・親・孫	近隣	友人	その他	そのような人はいない	無回答
一般高齢者	497	63.0	26.2	27.4	31.0	2.8	5.4	1.4	12.3	3.6
事業対象者	38	39.5	15.8	26.3	15.8	7.9	5.3	-	26.3	13.2
要支援認定者	496	28.8	16.3	11.1	10.5	2.4	3.2	1.2	37.9	11.5

【令和元年度調査】

令和元年度調査と比較すると、一般高齢者では大きな変化はみられません。事業対象者では「そのような人はいない」の割合が増加しています。要支援認定者では「そのような人はいない」の割合が増加しています。

単位：%

	全体 (件数)	配偶者	同居の子ども	別居の子ども	兄弟姉妹・親戚・親・孫	近隣	友人	その他	そのような人はいない	無回答
一般高齢者	589	62.8	30.9	28.4	28.9	3.4	9.2	1.5	8.7	3.7
事業対象者	94	48.9	22.3	22.3	23.4	9.6	8.5	2.1	13.8	6.4
要支援認定者	261	33.7	17.6	11.5	13.4	3.4	3.4	5.7	28.0	13.0

(7) 健康について

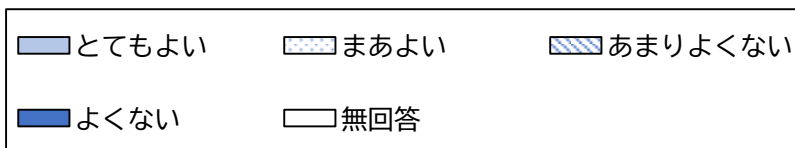
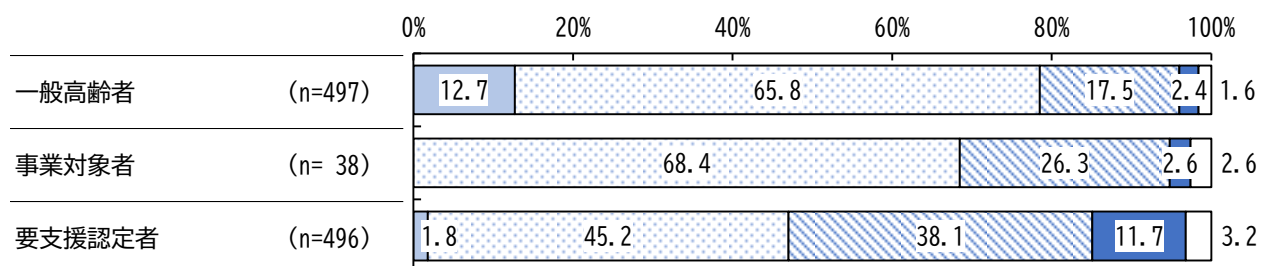
問 現在のあなたの健康状態はいかがですか（1つに○）

【一般高齢者：問7（1）、事業対象者：問7（1）、要支援認定者：問7（1）】

一般高齢者では、「まあよい」の割合が65.8%と最も高く、次いで「あまりよくない」の割合が17.5%、「とてもよい」の割合が12.7%となっています。

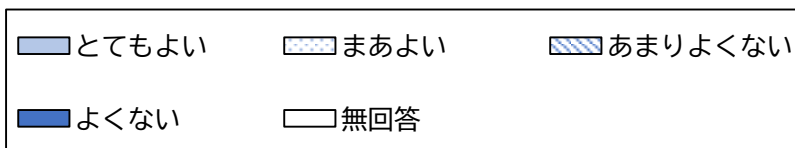
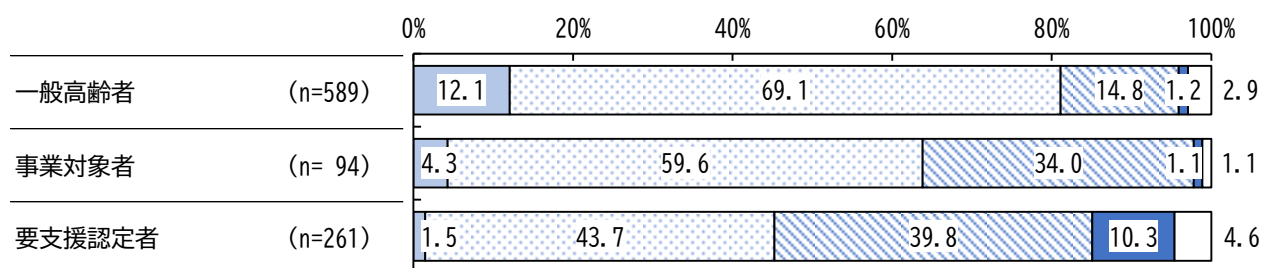
事業対象者では、「まあよい」の割合が68.4%と最も高く、次いで「あまりよくない」の割合が26.3%となっています。

要支援認定者では、「まあよい」の割合が45.2%と最も高く、次いで「あまりよくない」の割合が38.1%、「よくない」の割合が11.7%となっています。



【令和元年度調査】

令和元年度調査と比較すると、一般高齢者では大きな変化はみられません。事業対象者では「まあよい」の割合が増加しています。要支援認定者では大きな変化はみられません。



問 あなたは、現在どの程度幸せですか（1つに○）

（「とても不幸」を0点、「とても幸せ」を10点としてご記入ください）

【一般高齢者：問7（2）、事業対象者：問7（2）、要支援認定者：問7（2）】

一般高齢者では、「8点」の割合が23.3%と最も高く、次いで「5点」の割合が17.1%、「10点」の割合が13.3%となっています。

事業対象者では、「7点」の割合が21.1%と最も高く、次いで「5点」の割合が18.4%、「6点」の割合が15.8%となっています。

要支援認定者では、「5点」の割合が25.2%と最も高く、次いで「8点」の割合が15.9%、「7点」の割合が14.3%となっています。

単位：%

	全体 (件数)	0 点	1 点	2 点	3 点	4 点	5 点	6 点	7 点	8 点	9 点	10 点	無 回 答
一般高齢者	497	1.2	0.2	1.2	2.0	3.2	17.1	9.5	16.7	23.3	7.4	13.3	4.8
事業対象者	38	-	-	2.6	5.3	2.6	18.4	15.8	21.1	13.2	10.5	7.9	2.6
要支援認定者	496	0.6	1.4	2.0	5.2	2.6	25.2	9.5	14.3	15.9	4.6	11.5	7.1

【令和元年度調査】

令和元年度調査と比較すると、一般高齢者では「10点」の割合が減少しています。事業対象者では「7点」の割合が増加しています。要支援認定者では大きな変化はみられません。

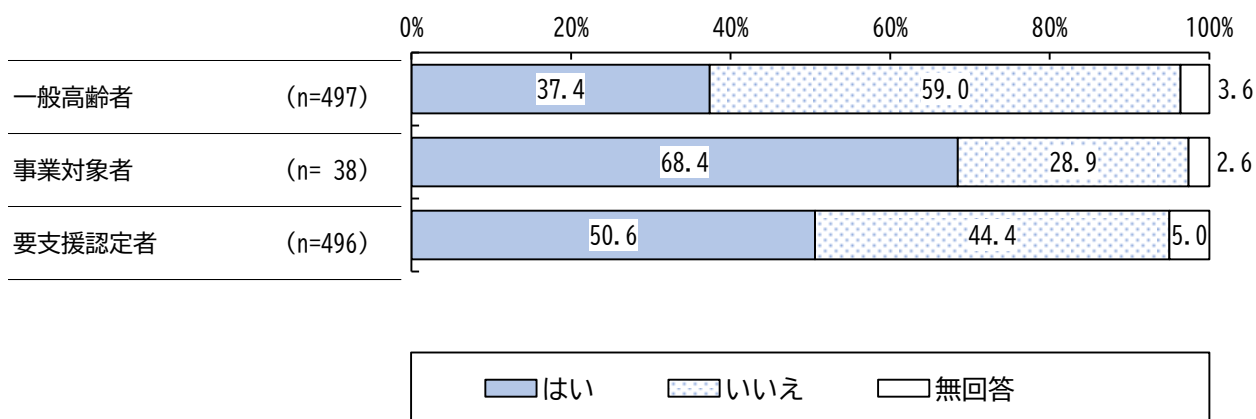
単位：%

	全体 (件数)	0 点	1 点	2 点	3 点	4 点	5 点	6 点	7 点	8 点	9 点	10 点	無 回 答
一般高齢者	589	0.3	0.7	0.7	1.2	1.9	17.3	9.7	13.1	21.6	8.3	18.5	6.8
事業対象者	94	-	-	-	5.3	3.2	23.4	10.6	12.8	21.3	10.6	10.6	2.1
要支援認定者	261	0.8	0.4	1.9	3.4	5.0	23.0	10.7	11.9	12.3	6.9	13.0	10.7

問 この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか
(1つに○)

【一般高齢者：問7(3)、事業対象者：問7(3)、要支援認定者：問7(3)】

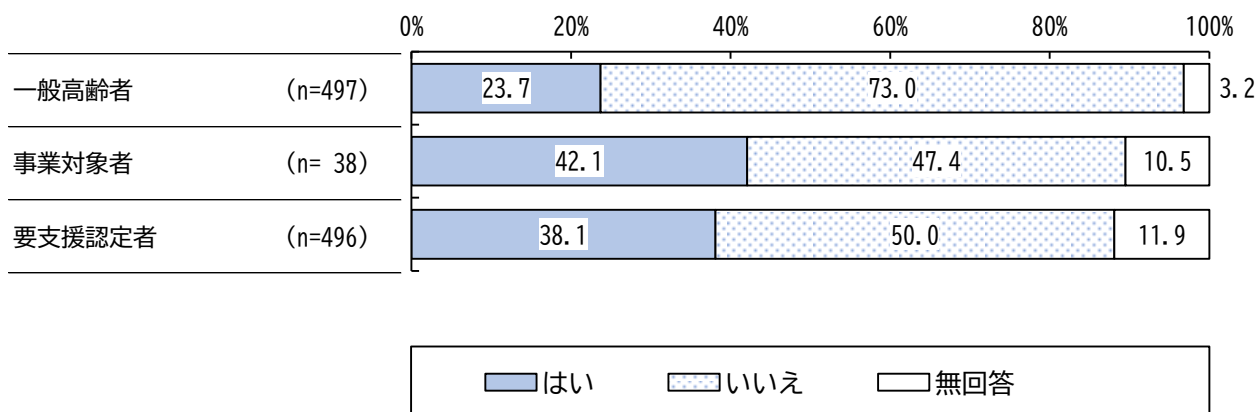
一般高齢者では、「はい」の割合が37.4%、「いいえ」の割合が59.0%となっています。
事業対象者では、「はい」の割合が68.4%、「いいえ」の割合が28.9%となっています。
要支援認定者では、「はい」の割合が50.6%、「いいえ」の割合が44.4%となっています。



問 この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか(1つに○)

【一般高齢者：問7(4)、事業対象者：問7(4)、要支援認定者：問7(4)】

一般高齢者では、「はい」の割合が23.7%、「いいえ」の割合が73.0%となっています。
事業対象者では、「はい」の割合が42.1%、「いいえ」の割合が47.4%となっています。
要支援認定者では、「はい」の割合が38.1%、「いいえ」の割合が50.0%となっています。



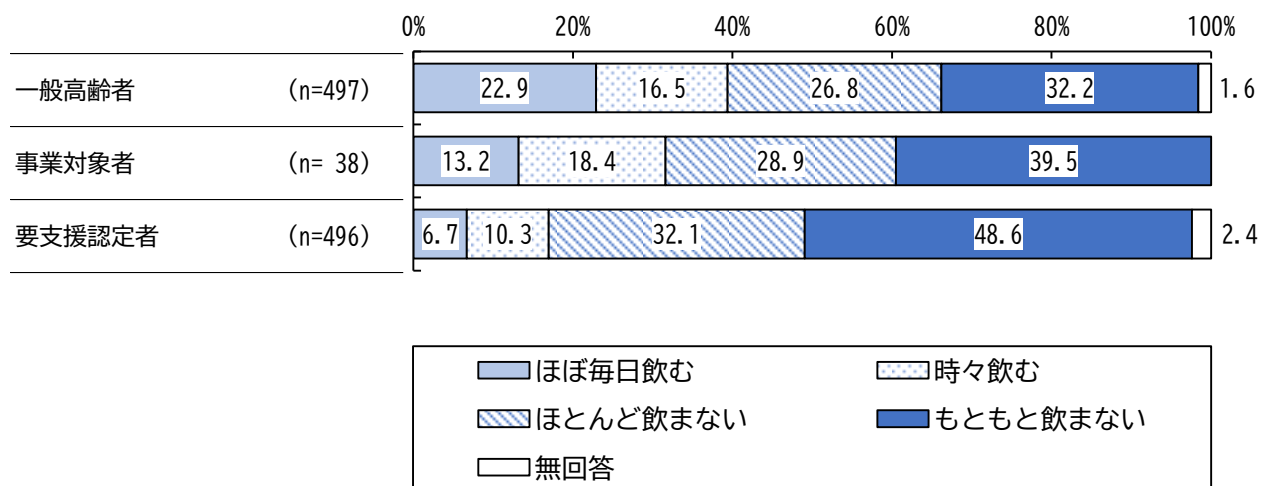
問 お酒は飲みますか（1つに○）

【一般高齢者：問7（5）、事業対象者：問7（5）、要支援認定者：問7（5）】

一般高齢者では、「もともと飲まない」の割合が32.2%と最も高く、次いで「ほとんど飲まない」の割合が26.8%、「ほぼ毎日飲む」の割合が22.9%となっています。

事業対象者では、「もともと飲まない」の割合が39.5%と最も高く、次いで「ほとんど飲まない」の割合が28.9%、「時々飲む」の割合が18.4%となっています。

要支援認定者では、「もともと飲まない」の割合が48.6%と最も高く、次いで「ほとんど飲まない」の割合が32.1%、「時々飲む」の割合が10.3%となっています。



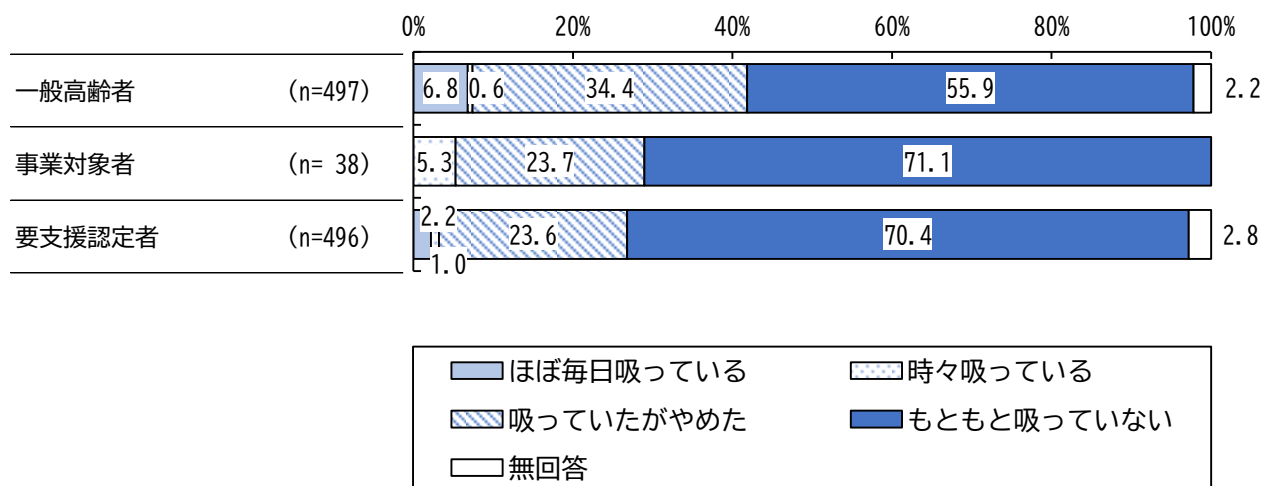
問 タバコは吸っていますか（1つに○）

【一般高齢者：問7（6）、事業対象者：問7（6）、要支援認定者：問7（6）】

一般高齢者では、「もともと吸っていない」の割合が55.9%と最も高く、次いで「吸っていたがやめた」の割合が34.4%となっています。

事業対象者では、「もともと吸っていない」の割合が71.1%と最も高く、次いで「吸っていたがやめた」の割合が23.7%となっています。

要支援認定者では、「もともと吸っていない」の割合が70.4%と最も高く、次いで「吸っていたがやめた」の割合が23.6%となっています。



問 現在治療中、または後遺症のある病気はありますか（いくつでも○）

【一般高齢者：問7（7）、事業対象者：問7（7）、要支援認定者：問7（7）】

一般高齢者では、「高血圧」の割合が41.0%と最も高く、次いで「目の病気」の割合が22.1%、「高脂血症（脂質異常）」の割合が16.7%となっています。

事業対象者では、「高血圧」の割合が57.9%と最も高く、次いで「筋骨格の病気（骨粗しょう症、関節症等）」の割合が28.9%、「高脂血症（脂質異常）」の割合が26.3%となっています。

要支援認定者では、「高血圧」の割合が50.6%と最も高く、次いで「筋骨格の病気（骨粗しょう症、関節症等）」の割合が32.3%、「目の病気」の割合が30.8%となっています。

単位：%

	全体 (件数)	ない	高血圧	脳卒中 (脳出血・脳梗塞等)	心臓病	糖尿病	高脂血症 (脂質異常)	呼吸器の病気 (肺炎や気管支炎等)	胃腸・肝臓・胆のうの病気	腎臓・前立腺の病気	筋骨格の病気 (骨粗しょう症、関節症等)	外傷 (転倒・骨折等)	がん (悪性新生物)
一般高齢者	497	13.9	41.0	2.6	9.7	14.3	16.7	5.4	5.6	8.0	16.5	4.0	4.6
事業対象者	38	2.6	57.9	2.6	5.3	7.9	26.3	5.3	2.6	13.2	28.9	7.9	-
要支援認定者	496	3.8	50.6	13.1	19.8	16.7	10.7	8.3	11.7	11.7	32.3	14.3	6.0

	血液・免疫の病気	うつ病	認知症 (アルツハイマー病等)	パーキンソン病	目の病気	耳の病気	その他	無回答
一般高齢者	2.0	0.2	0.2	0.6	22.1	4.2	4.6	4.6
事業対象者	2.6	5.3	2.6	2.6	18.4	18.4	13.2	-
要支援認定者	2.6	2.2	4.2	3.4	30.8	11.1	9.9	1.8

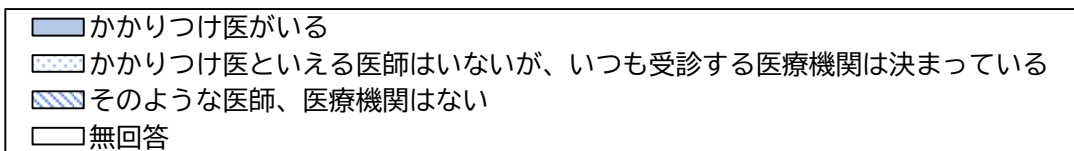
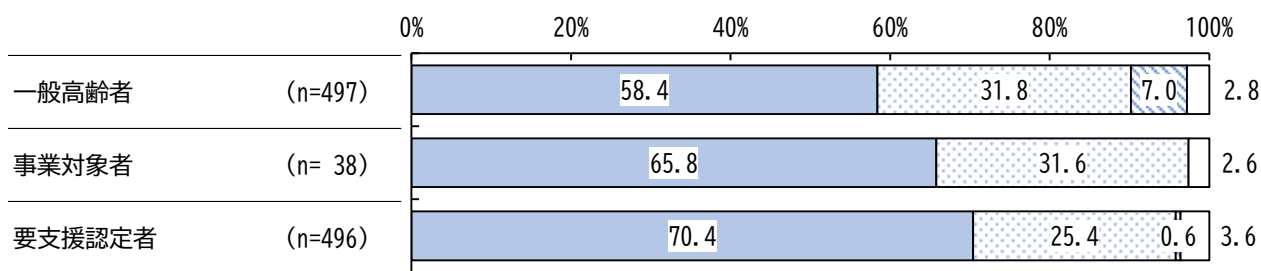
問 健康状態や病気のことを気軽に相談できる「かかりつけ医」はいますか（1つに○）

【一般高齢者：問7（8）、事業対象者：問7（8）、要支援認定者：問7（8）】

一般高齢者では、「かかりつけ医がいる」の割合が58.4%と最も高く、次いで「かかりつけ医といえる医師はいないが、いつも受診する医療機関は決まっている」の割合が31.8%となっています。

事業対象者では、「かかりつけ医がいる」の割合が65.8%と最も高く、次いで「かかりつけ医といえる医師はいないが、いつも受診する医療機関は決まっている」の割合が31.6%となっています。

要支援認定者では、「かかりつけ医がいる」の割合が70.4%と最も高く、次いで「かかりつけ医といえる医師はいないが、いつも受診する医療機関は決まっている」の割合が25.4%となっています。



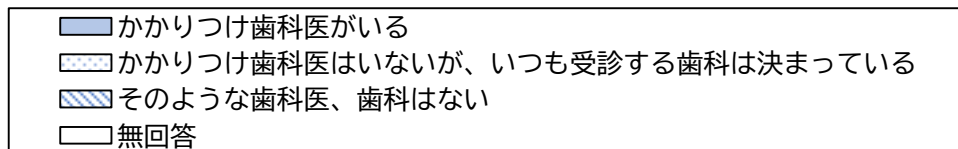
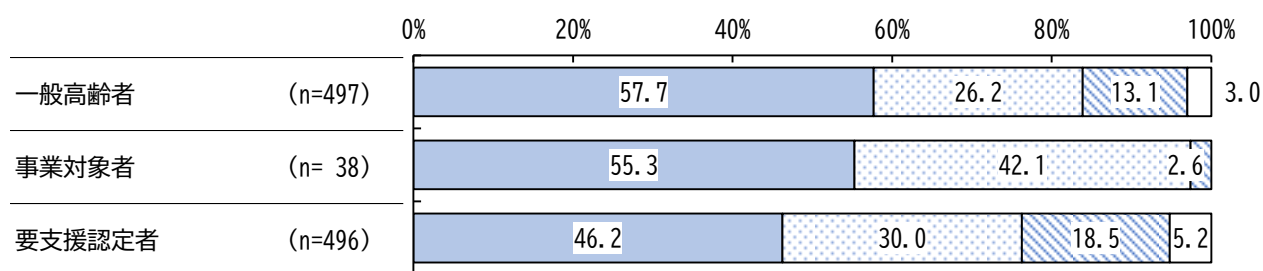
問 お口や歯の健康のことを気軽に相談できる「かかりつけ歯科医」はいますか（1つに○）

【一般高齢者：問7（9）、事業対象者：問7（9）、要支援認定者：問7（9）】

一般高齢者では、「かかりつけ歯科医がいる」の割合が57.7%と最も高く、次いで「かかりつけ歯科医はいないが、いつも受診する歯科は決まっている」の割合が26.2%、「そのような歯科医、歯科はない」の割合が13.1%となっています。

事業対象者では、「かかりつけ歯科医がいる」の割合が55.3%と最も高く、次いで「かかりつけ歯科医はいないが、いつも受診する歯科は決まっている」の割合が42.1%となっています。

要支援認定者では、「かかりつけ歯科医がいる」の割合が46.2%と最も高く、次いで「かかりつけ歯科医はいないが、いつも受診する歯科は決まっている」の割合が30.0%、「そのような歯科医、歯科はない」の割合が18.5%となっています。

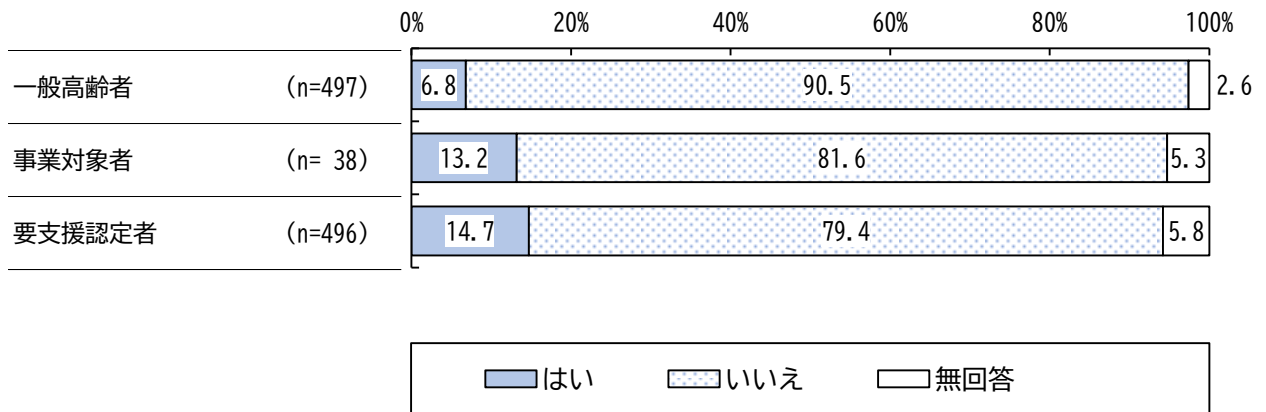


(8) 認知症にかかる相談窓口の把握について

問 認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人はいますか（1つに○）

【一般高齢者：問8（1）、事業対象者：問8（1）、要支援認定者：問8（1）】

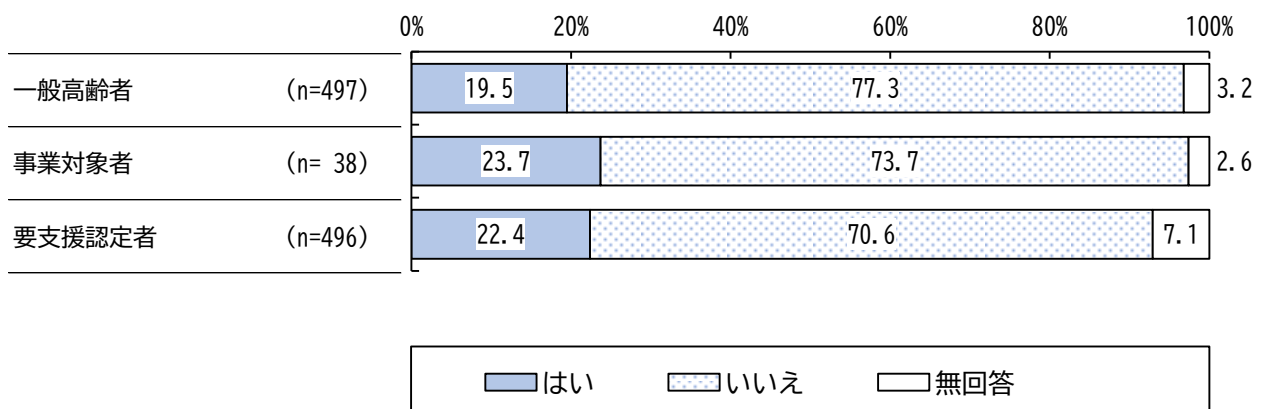
一般高齢者では、「はい」の割合が6.8%、「いいえ」の割合が90.5%となっています。
 事業対象者では、「はい」の割合が13.2%、「いいえ」の割合が81.6%となっています。
 要支援認定者では、「はい」の割合が14.7%、「いいえ」の割合が79.4%となっています。



問 認知症に関する相談窓口を知っていますか（1つに○）

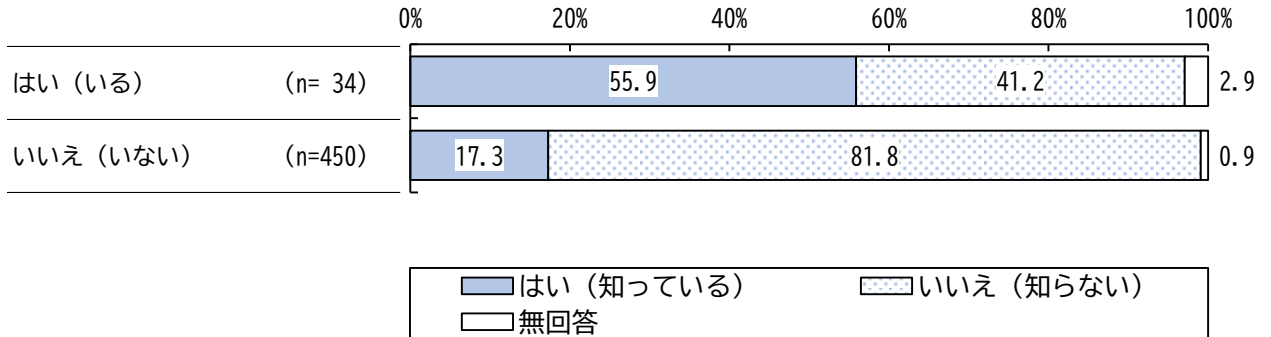
【一般高齢者：問8（2）、事業対象者：問8（2）、要支援認定者：問8（2）】

一般高齢者では、「はい」の割合が19.5%、「いいえ」の割合が77.3%となっています。
 事業対象者では、「はい」の割合が23.7%、「いいえ」の割合が73.7%となっています。
 要支援認定者では、「はい」の割合が22.4%、「いいえ」の割合が70.6%となっています。



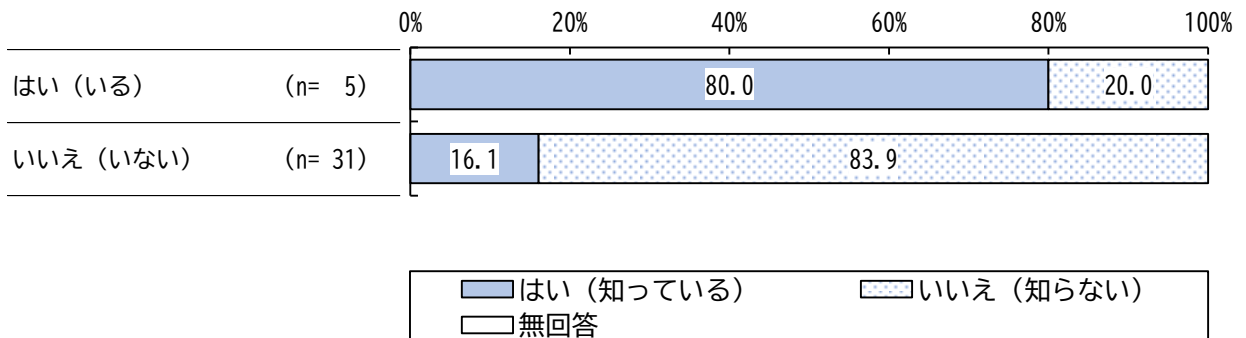
【一般高齢者・自身又は家族に認知症の症状がある人の有無別】

自身又は家族に認知症の症状がある人の有無別でみると、認知症の症状がある人がいる人で「はい（知っている）」の割合が高くなっています。



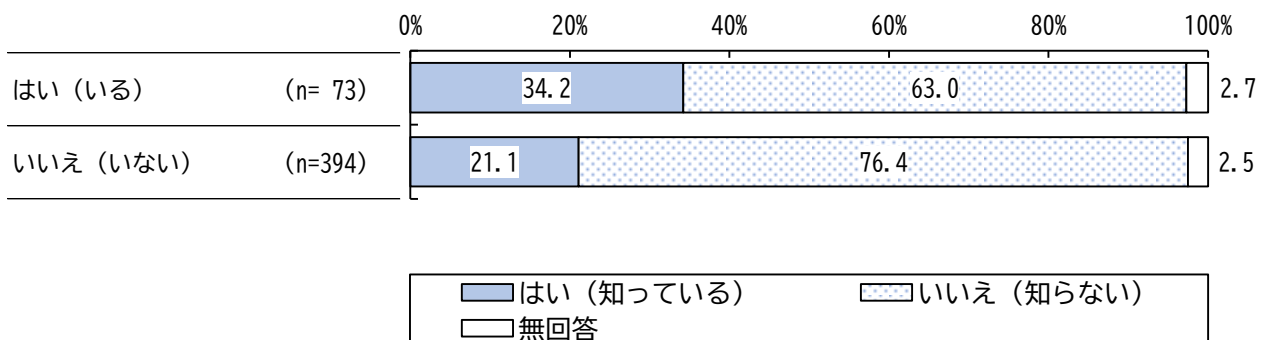
【事業対象者・自身又は家族に認知症の症状がある人の有無別】

自身又は家族に認知症の症状がある人の有無別でみると、有効回答数が少ないため、参考にとどめます。



【要支援認定者・自身又は家族に認知症の症状がある人の有無別】

自身又は家族に認知症の症状がある人の有無別でみると、認知症の症状がある人がいる人で「はい（知っている）」の割合が高くなっています。



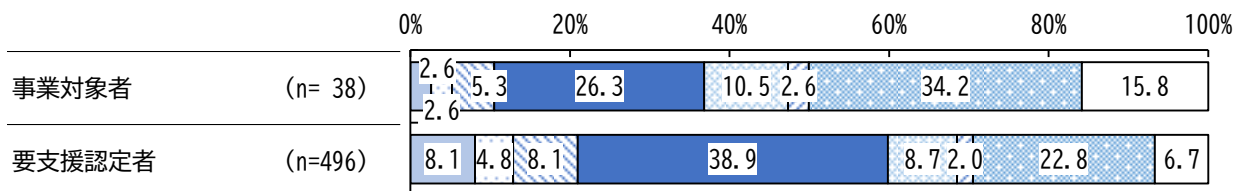
(9) 介護サービスについて

問 現在利用しているサービスは、どのようにして選択しましたか（1つに○）

【事業対象者：問9（1）、要支援認定者：問9（1）】

事業対象者では、「サービスを利用していない」の割合が34.2%と最も高く、次いで「ケアマネジャーからサービス内容の説明を受けてから選んだ」の割合が26.3%、「医師、リハビリテーション等の専門職のアドバイスを受けてから選んだ」の割合が10.5%となっています。

要支援認定者では、「ケアマネジャーからサービス内容の説明を受けてから選んだ」の割合が38.9%と最も高く、次いで「サービスを利用していない」の割合が22.8%、「医師、リハビリテーション等の専門職のアドバイスを受けてから選んだ」の割合が8.7%となっています。



- 自分の利用してみたいサービスを選んだ
- 友人・知人の利用しているサービスを選んだ
- 家族と話し合っ選んだ
- ケアマネジャーからサービス内容の説明を受けてから選んだ
- 医師、リハビリテーション等の専門職のアドバイスを受けてから選んだ
- わからない
- サービスを利用していない
- 無回答

(10) その他について

問 ご自分の健康のためにどんなことを心がけていますか（3つまで○）

【一般高齢者：問9（1）、事業対象者：問10（1）、要支援認定者：問10（1）】

一般高齢者では、「食事に気をつける（栄養バランスを意識する、体に良い食べ物をとるなど）」の割合が52.5%と最も高く、次いで「休養や睡眠を十分にとる」の割合が48.3%、「健康診断などを定期的に受ける」の割合が36.2%となっています。

事業対象者では、「食事に気をつける（栄養バランスを意識する、体に良い食べ物をとるなど）」の割合が55.3%と最も高く、次いで「休養や睡眠を十分にとる」の割合が44.7%、「健康診断などを定期的に受ける」の割合が42.1%となっています。

要支援認定者では、「身の回りのことはなるべく自分で行う」の割合が57.9%と最も高く、次いで「食事に気をつける（栄養バランスを意識する、体に良い食べ物をとるなど）」の割合が55.6%、「休養や睡眠を十分にとる」の割合が46.0%となっています。

単位：%

	全体 (件数)	休養や睡眠を十分にとる	食事に気をつける (栄養バランスを意識する、体に良い食べ物をとるなど)	歯や口の中を清潔に保つ	健康診断などを定期的に受ける	酒、タバコを控える	散歩やスポーツをする	地域の活動に参加する	教養や学習活動などの楽しみを持つ	気持ちをなるべく明るく持つ	身の回りのことはなるべく自分で行う	仕事をする	その他	特に心がけていない	無回答
一般高齢者	497	48.3	52.5	23.3	36.2	2.6	32.0	1.6	4.8	16.5	34.4	18.1	0.6	2.8	1.8
事業対象者	38	44.7	55.3	34.2	42.1	7.9	28.9	5.3	7.9	13.2	36.8	2.6	-	-	-
要支援認定者	496	46.0	55.6	27.8	23.4	1.6	14.7	0.8	4.6	19.6	57.9	1.4	0.4	4.0	4.2

問 健康についてどのようなことが知りたいですか（3つまで○）

【一般高齢者：問9（2）、事業対象者：問10（2）、要支援認定者：問10（2）】

一般高齢者では、「認知症の予防について」の割合が46.1%と最も高く、次いで「がんや生活習慣病（高血圧など）にならないための工夫について」の割合が35.2%、「望ましい食生活について」の割合が31.0%となっています。

事業対象者では、「望ましい食生活について」の割合が44.7%と最も高く、次いで「がんや生活習慣病（高血圧など）にならないための工夫について」の割合が42.1%、「認知症の予防について」の割合が39.5%となっています。

要支援認定者では、「認知症の予防について」の割合が40.7%と最も高く、次いで「寝たきりや介護の予防について」の割合が39.3%、「望ましい食生活について」の割合が29.2%となっています。

単位：%

	全体 (件数)	がんや生活習慣病 (高血圧など) にならないための工夫 について	望ましい食生活について	運動の方法について	健康診断・各種検診の 内容や受け方などについて	寝たきりや介護の予防 について	歯の健康について	認知症の予防について	うつ病の予防について	その他	無回答
一般高齢者	497	35.2	31.0	18.5	9.3	22.7	4.6	46.1	6.2	3.2	15.5
事業対象者	38	42.1	44.7	31.6	13.2	28.9	10.5	39.5	10.5	-	5.3
要支援認定者	496	26.0	29.2	21.6	9.1	39.3	8.1	40.7	6.9	4.4	15.5

問 生きがい（喜びや楽しみ）を感じるのはどのような時ですか（いくつでも○）

【一般高齢者：問9（3）、事業対象者：問10（3）、要支援認定者：問10（3）】

一般高齢者では、「友人や知人と過ごすとき」の割合が49.5%と最も高く、次いで「おいしいものを食べているとき」の割合が48.7%、「テレビを見たり、ラジオを聞いているとき」の割合が43.1%となっています。

事業対象者では、「友人や知人と過ごすとき」の割合が50.0%と最も高く、次いで「家族との団らんのとき」の割合が42.1%、「おいしいものを食べているとき」の割合が39.5%となっています。

要支援認定者では、「テレビを見たり、ラジオを聞いているとき」の割合が53.6%と最も高く、次いで「おいしいものを食べているとき」の割合が48.6%、「友人や知人と過ごすとき」の割合が39.5%となっています。

単位：%

	全体 (件数)	仕事をしているとき (農作業なども含む)	教養を身につけること (学習)をしているとき	健康づくりやスポーツをしているとき	家族との団らんのとき	友人や知人と過ごすとき	シニアクラブ・老人クラブ活動をしているとき	地域活動(町内会、自治会、ボランティア等)に参加しているとき	旅行に行っているとき	散歩や買い物をしているとき
一般高齢者	497	28.2	11.5	24.7	42.3	49.5	2.4	5.0	33.4	37.0
事業対象者	38	21.1	13.2	23.7	42.1	50.0	5.3	15.8	28.9	36.8
要支援認定者	496	12.3	11.7	9.9	35.7	39.5	6.0	3.4	10.9	27.2

	テレビを見たり、ラジオを聞いているとき	パソコン、インターネットをしているとき	他人から感謝されたとき	収入があつたとき	おいしいものを食べているとき	若い世代と交流しているとき	その他	特にない	無回答
一般高齢者	43.1	12.1	24.5	24.3	48.7	10.5	4.6	2.0	5.0
事業対象者	31.6	13.2	18.4	15.8	39.5	13.2	2.6	-	5.3
要支援認定者	53.6	4.0	18.5	10.7	48.6	13.7	3.0	4.8	7.9

問 今後やってみたいと思うものは何ですか（いくつでも○）

【一般高齢者：問9（4）、事業対象者：問10（4）、要支援認定者：問10（4）】

一般高齢者では、「趣味の活動」の割合が35.0%と最も高く、次いで「特にない」の割合が30.8%、「健康づくりやスポーツ」の割合が28.8%となっています。

事業対象者では、「特にない」の割合が39.5%と最も高く、次いで「健康づくりやスポーツ」の割合が34.2%、「趣味の活動」の割合が21.1%となっています。

要支援認定者では、「特にない」の割合が50.8%と最も高く、次いで「趣味の活動」の割合が17.1%、「健康づくりやスポーツ」の割合が15.3%となっています。

単位：%

	全体 (件数)	働くこと	学習や教養を高めるための活動	健康づくりやスポーツ	趣味の活動	シニアクラブ・老人クラブ活動	社会奉仕活動（ボランティア、高齢者の生活支援など）	町内会、自治会の活動	その他	特にない	無回答
一般高齢者	497	18.3	13.1	28.8	35.0	2.8	4.8	2.2	3.2	30.8	8.0
事業対象者	38	7.9	15.8	34.2	21.1	2.6	5.3	5.3	-	39.5	5.3
要支援認定者	496	6.3	8.7	15.3	17.1	5.8	1.4	1.2	2.4	50.8	12.3

問 日常生活の中で、以前と比べて大変になってきたことは何ですか（いくつでも○）

【一般高齢者：問9（5）、事業対象者：問10（5）、要支援認定者：問10（5）】

一般高齢者では、「高いところの作業（天袋、電球の交換等）」の割合が48.1%と最も高く、次いで「重い物の扱いや運搬（布団、灯油、米、粗大ゴミ）」の割合が46.7%、「かがむ作業（風呂掃除・雑巾がけ等）」の割合が32.6%となっています。

事業対象者では、「高いところの作業（天袋、電球の交換等）」の割合が68.4%と最も高く、次いで「重い物の扱いや運搬（布団、灯油、米、粗大ゴミ）」と「屋外作業（草刈、庭木の手入れ等）」の割合が55.3%、「かがむ作業（風呂掃除・雑巾がけ等）」、「事務手続き・申し込み手続き（役所、契約等）」、「電化製品や携帯電話等の操作」の割合が36.8%となっています。

要支援認定者では、「重い物の扱いや運搬（布団、灯油、米、粗大ゴミ）」の割合が67.5%と最も高く、次いで「高いところの作業（天袋、電球の交換等）」の割合が63.5%、「日常の外出（買い物・通院等）」の割合が58.3%となっています。

単位：%

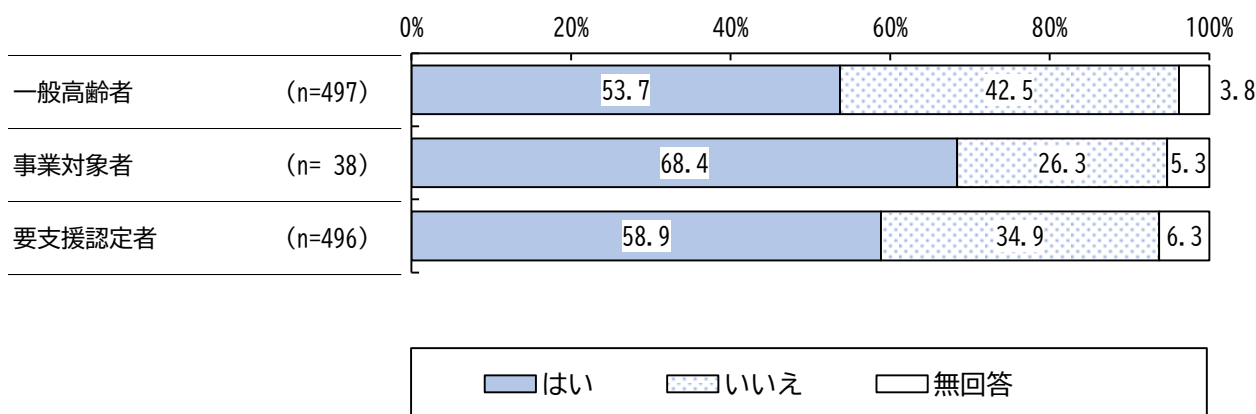
	全体 (件数)	日常の外出 (買い物・通院等)	食事のしなく 献立を考へること等	高いところの作業 (天袋、電球の交換等)	重い物の扱いや運搬 (布団、灯油、米、粗大ゴミ)	かがむ作業 (風呂掃除・雑巾がけ等)	手先や腕を使う作業 (蓋の開閉、ドアノブ等)	事務手続き・申し込み手続き (役所、契約等)	文字を読むこと (回覧板、新聞等)	金銭管理 (預金の出し入れ、支払い等)
一般高齢者	497	9.5	14.5	48.1	46.7	32.6	7.2	20.1	14.9	2.8
事業対象者	38	31.6	18.4	68.4	55.3	36.8	2.6	36.8	7.9	7.9
要支援認定者	496	58.3	33.5	63.5	67.5	54.6	24.4	38.5	19.0	15.7

	予定を立てて実行する (スケジュール管理)	ゴミの分別やゴミ出し	屋外作業 (草刈、庭木の手入れ等)	電化製品や携帯電話等の操作	家の設備や家電等の故障など トラブル対応	人づきあい (友人、隣人等とのつきあい)	内容を理解すること (説明書、店員等の説明)	その他	特になし	無回答
一般高齢者	4.0	3.4	28.6	23.9	20.7	4.8	22.5	1.8	11.3	6.0
事業対象者	10.5	18.4	55.3	36.8	26.3	5.3	21.1	-	2.6	10.5
要支援認定者	15.5	24.4	51.0	34.7	36.5	13.7	27.8	1.6	2.8	6.7

問 あなたは、ご自身の死期が迫ったときにどのような世話や治療を受けたいか、これまでに考えたことはありますか（1つに○）

【一般高齢者：問9（6）、事業対象者：問10（6）、要支援認定者：問10（6）】

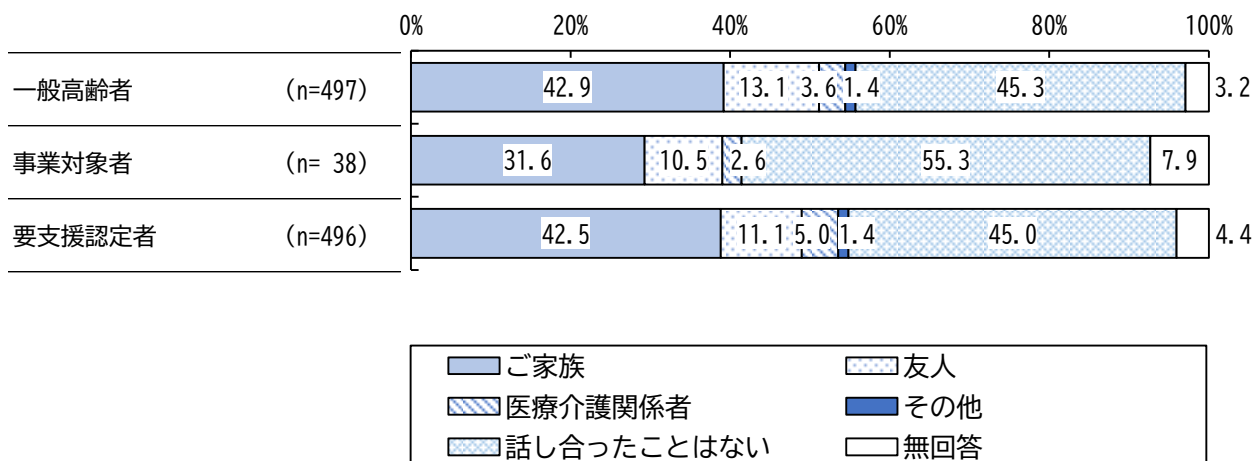
一般高齢者では、「はい」の割合が53.7%、「いいえ」の割合が42.5%となっています。
 事業対象者では、「はい」の割合が68.4%、「いいえ」の割合が26.3%となっています。
 要支援認定者では、「はい」の割合が58.9%、「いいえ」の割合が34.9%となっています。



問 あなたは、ご自身の死期が迫ったときにどのような世話や治療を受けたいか、だれかと話し合ったことがありますか（いくつでも○）

【一般高齢者：問9（7）、事業対象者：問10（7）、要支援認定者：問10（7）】

一般高齢者では、「話し合ったことはない」の割合が45.3%と最も高く、次いで「ご家族」の割合が42.9%、「友人」の割合が13.1%となっています。
 事業対象者では、「話し合ったことはない」の割合が55.3%と最も高く、次いで「ご家族」の割合が31.6%、「友人」の割合が10.5%となっています。
 要支援認定者では、「話し合ったことはない」の割合が45.0%と最も高く、次いで「ご家族」の割合が42.5%、「友人」の割合が11.1%となっています。



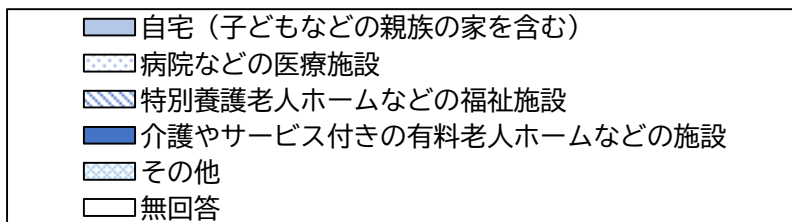
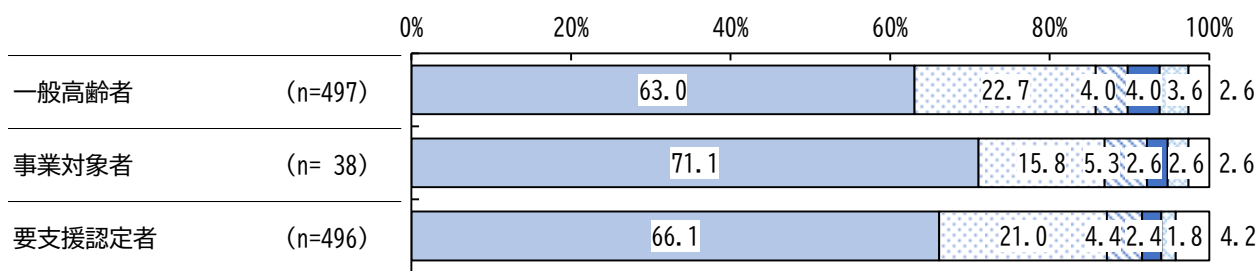
問 あなたは、人生の最期をどこで迎えたいですか（1つに○）

【一般高齢者：問9（8）、事業対象者：問10（8）、要支援認定者：問10（8）】

一般高齢者では、「自宅（子どもなどの親族の家を含む）」の割合が63.0%と最も高く、次いで「病院などの医療施設」の割合が22.7%となっています。

事業対象者では、「自宅（子どもなどの親族の家を含む）」の割合が71.1%と最も高く、次いで「病院などの医療施設」の割合が15.8%となっています。

要支援認定者では、「自宅（子どもなどの親族の家を含む）」の割合が66.1%と最も高く、次いで「病院などの医療施設」の割合が21.0%となっています。



問 【(8)で「1」と回答した方にお伺いします】

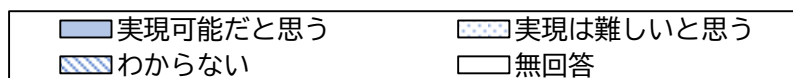
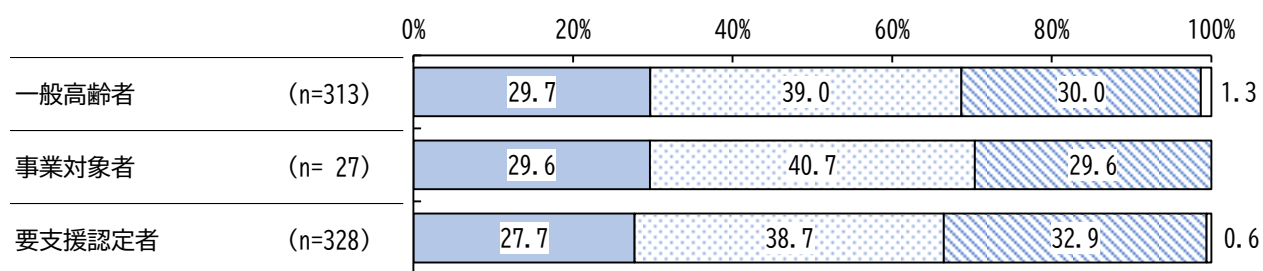
あなたは、「人生の最期を自宅で迎えたい」という思いは、実現可能だと思いますか
(1つに○)

【一般高齢者：問9(9)、事業対象者：問10(9)、要支援認定者：問10(9)】

一般高齢者では、「実現は難しいと思う」の割合が39.0%と最も高く、次いで「わからない」の割合が30.0%、「実現可能だと思う」の割合が29.7%となっています。

事業対象者では、「実現は難しいと思う」の割合が40.7%と最も高く、次いで「実現可能だと思う」と「わからない」の割合が29.6%となっています。

要支援認定者では、「実現は難しいと思う」の割合が38.7%と最も高く、次いで「わからない」の割合が32.9%、「実現可能だと思う」の割合が27.7%となっています。



問 【(9)で「2」と回答した方にお伺いします】

実現が難しいと思う理由は何ですか(3つまで○)

【一般高齢者：問9(10)、事業対象者：問10(10)、要支援認定者：問10(10)】

一般高齢者では、「家族等に負担をかけたくない」の割合が74.6%と最も高く、次いで「急に病状が変わったときの対応が不安」の割合が45.9%、「経済的な負担が大きい」の割合が27.0%となっています。

事業対象者では、「急に病状が変わったときの対応が不安」の割合が63.6%と最も高く、次いで「家族等に負担をかけたくない」と「世話をしてくれる家族等がない」の割合が45.5%、「経済的な負担が大きい」の割合が36.4%となっています。

要支援認定者では、「家族等に負担をかけたくない」の割合が63.8%と最も高く、次いで「急に病状が変わったときの対応が不安」の割合が55.9%、「往診・訪問診療をしてくれる医師がいない」の割合が27.6%となっています。

単位：%

	全体 (件数)	家族等に負担をかけたくない	世話をしてくれる家族等がない	急に病状が変わったときの対応が不安	経済的な負担が大きい	療養できる住宅環境が整っていない	往診・訪問診療をしてくれる医師がいない	医師や看護師の訪問が精神的負担になる	訪問看護や介護の体制が不十分	その他	無回答
一般高齢者	122	74.6	16.4	45.9	27.0	16.4	25.4	3.3	10.7	-	-
事業対象者	11	45.5	45.5	63.6	36.4	27.3	9.1	9.1	9.1	-	-
要支援認定者	127	63.8	26.8	55.9	18.9	16.5	27.6	1.6	9.4	2.4	-

2 生活機能評価等に関する分析

(1) 機能別リスク該当者割合の分析

① 運動器

国の手引きをもとに、調査票の以下の設問を抽出し、5項目のうち3項目以上に該当する人を運動器のリスク該当者と判定しました。

【判定設問】

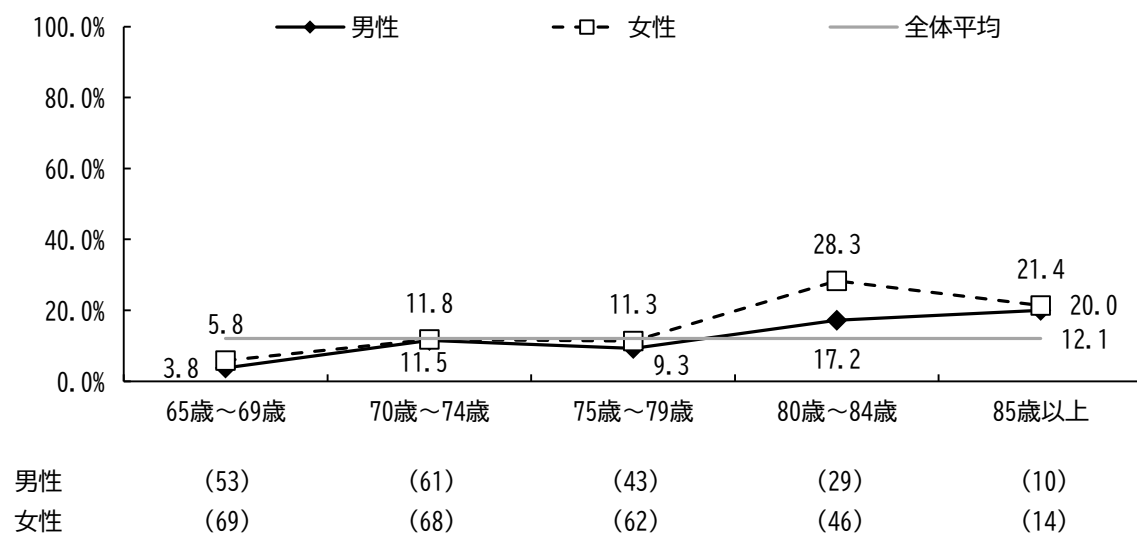
問番号	設問	該当する選択肢
問2(1)	階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか。	3. できない
問2(2)	椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか。	3. できない
問2(3)	15分位続けて歩いていますか。	3. できない
問2(4)	過去1年間に転んだ経験がありますか。	1. 何度もある 2. 1度ある
問2(5)	転倒に対する不安は大きいですか。	1. とても不安である 2. やや不安である

【リスク該当状況】

国の手引きに基づく運動器の評価結果をみると、全体平均で12.1%が運動器の機能低下該当者となっています。

性別・年齢階級別にみると、男女とも概ね年齢が高くなるにつれて該当者割合が高くなる傾向がみられます。

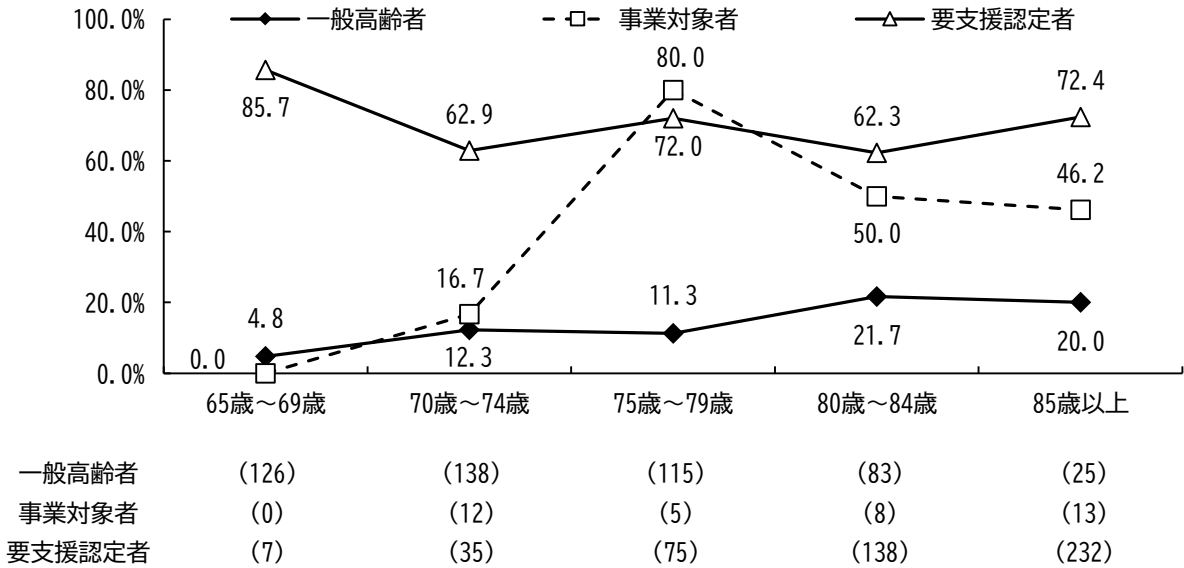
【性別・年齢階級別】



※一般高齢者のみ、()内は有効回答数

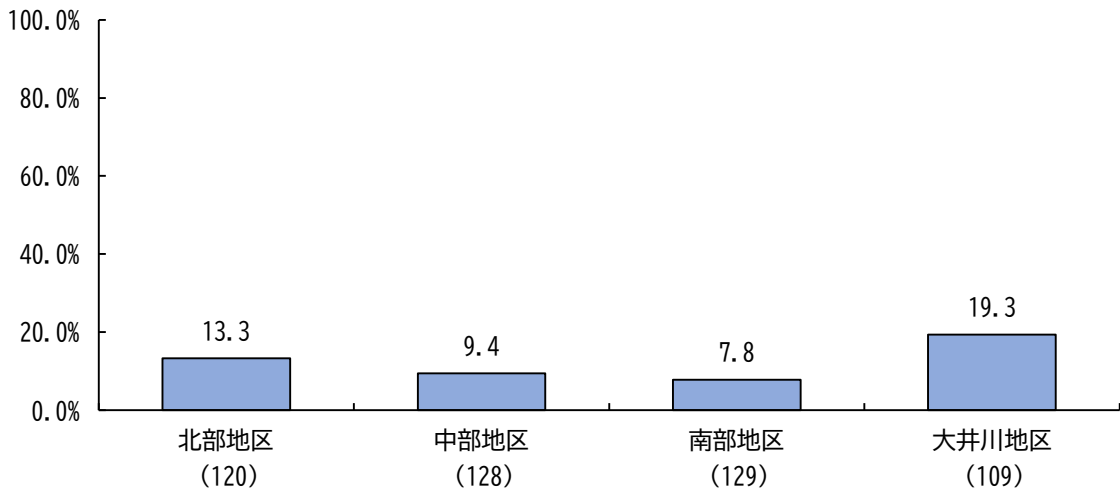
認定・該当状況別・年齢階級別にみると、一般高齢者に比べ、事業対象者、要支援認定者では割合が高くなっています。事業対象者をみると、75歳～79歳で該当者割合が80.0%と70～74歳に比べ63.3ポイント上昇しています。

[認定・該当状況別・年齢階級別]



圏域別にみると、北部地区と大井川地区で該当者割合が全体平均の12.1%を超えています。また、最も高い圏域は大井川地区で19.3%、最も低い圏域は南部地区で7.8%となっており、11.5ポイントの差となっています。

[圏域別]



② 閉じこもり

国の手引きをもとに、調査票の以下の設問を抽出し、該当する人を閉じこもりのリスク該当者と判定しました。

【判定設問】

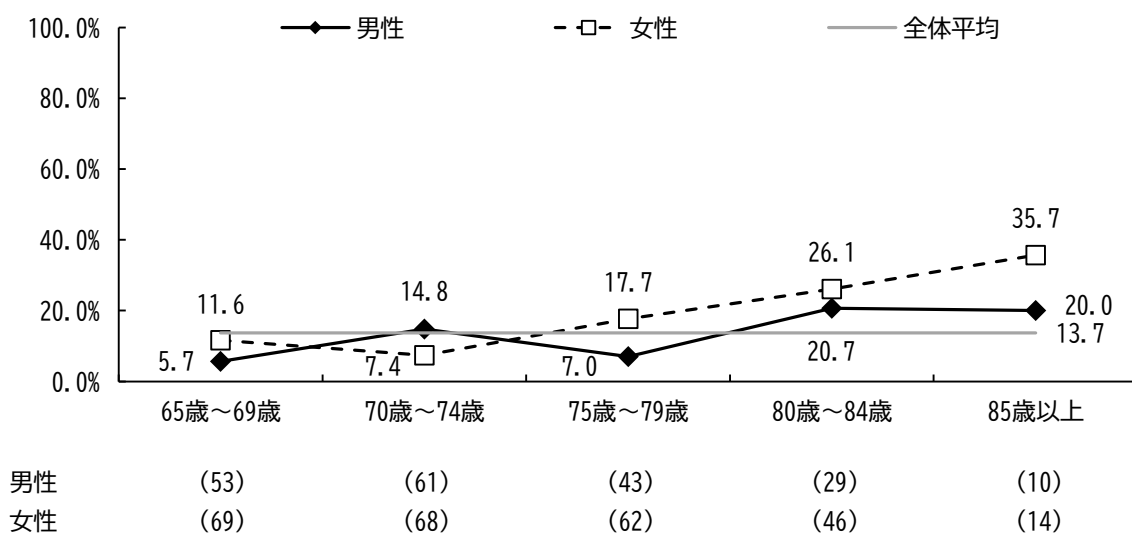
問番号	設問	該当する選択肢
問2（6）	週に1回以上は外出していますか。	1. ほとんど外出しない 2. 週1回

【リスク該当状況】

国の手引きに基づく閉じこもりの評価結果をみると、全体平均で13.7%が閉じこもりのリスク該当者となっています。

性別・年齢階級別にみると、男女とも概ね年齢が高くなるにつれて該当者割合が高くなる傾向がみられます。女性では、85歳以上で35.7%と、80～84歳に比べ9.6ポイント上昇し、男性より15.7ポイント高くなっています。

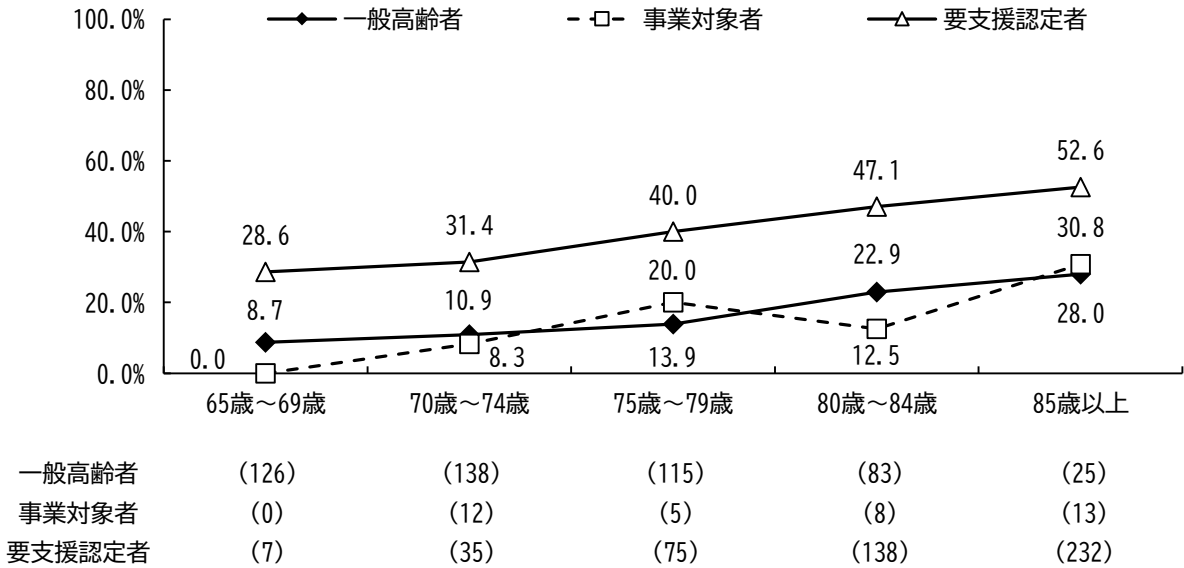
〔性別・年齢階級別〕



※一般高齢者のみ、()内は有効回答数

認定・該当状況別・年齢階級別にみると、一般高齢者、事業対象者に比べ、要支援認定者では割合が高くなっています。また、概ね年齢が高くなるにつれて該当者割合が高くなる傾向がみられます。

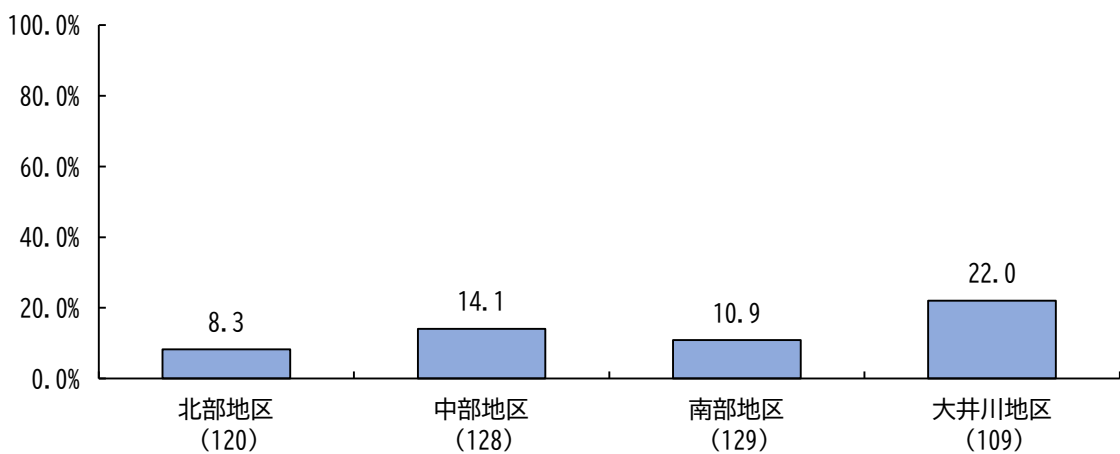
[認定・該当状況別・年齢階級別]



圏域別にみると、大井川地区で該当者割合が全体平均の13.7%を超えています。

また、最も高い圏域は大井川地区で22.0%、最も低い圏域は北部地区で8.3%となっており、13.7ポイントの差となっています。

[圏域別]



③ 転倒

国の手引きをもとに、調査票の以下の設問を抽出し、該当する人を転倒のリスク該当者と判定しました。

【判定設問】

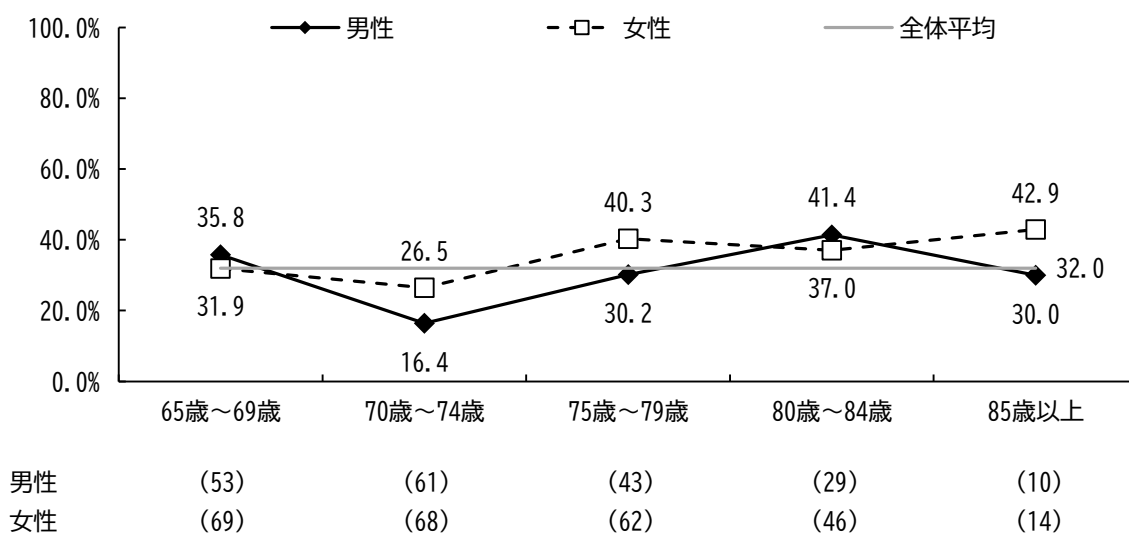
問番号	設問	該当する選択肢
問2(4)	過去1年間に転んだ経験がありますか。	1. 何度もある 2. 1度ある

【リスク該当状況】

国の手引きに基づく転倒の評価結果をみると、全体平均で32.0%が転倒リスクの該当者となっています。

性別・年齢階級別にみると、性別・年齢階級別による大きな変化はみられません。

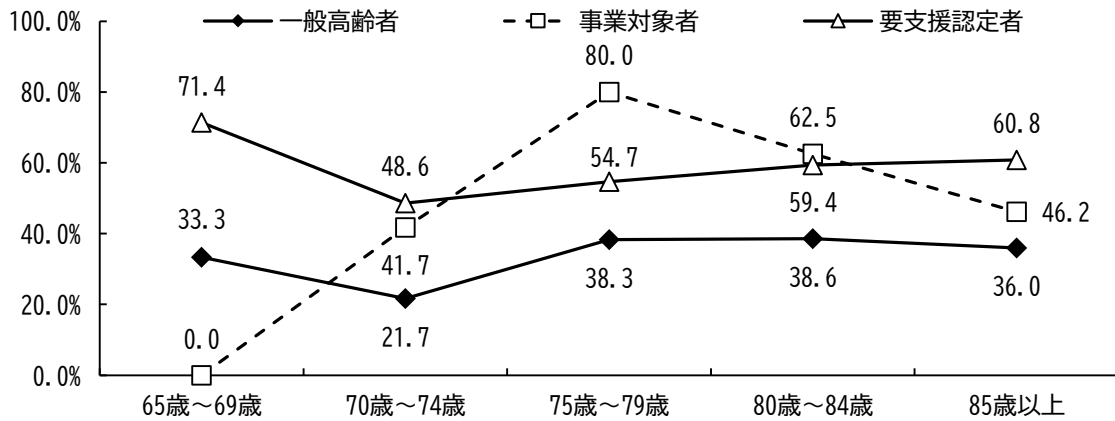
【性別・年齢階級別】



※一般高齢者のみ、()内は有効回答数

認定・該当状況別・年齢階級別にみると、一般高齢者に比べ、事業対象者、要支援認定者では割合が高くなっています。

[認定・該当状況別・年齢階級別]

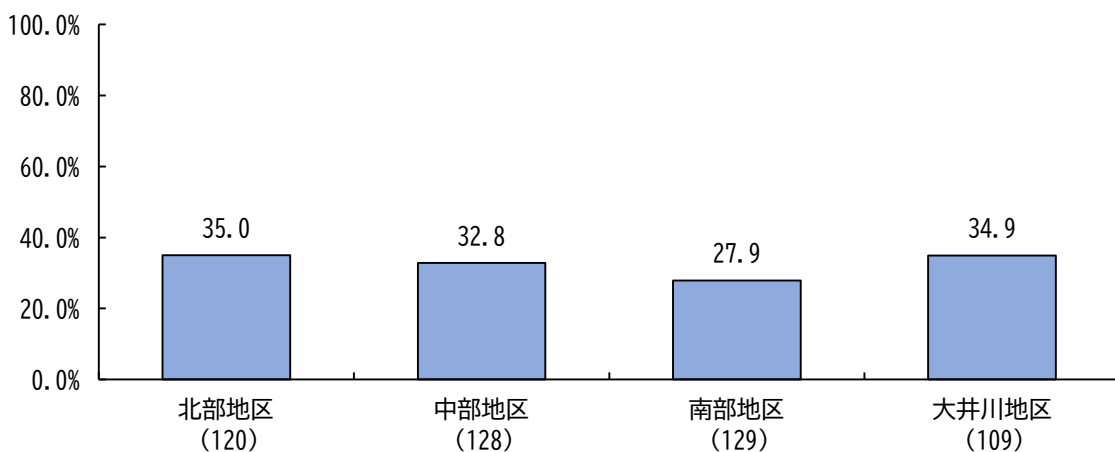


一般高齢者	(126)	(138)	(115)	(83)	(25)
事業対象者	(0)	(12)	(5)	(8)	(13)
要支援認定者	(7)	(35)	(75)	(138)	(232)

圏域別にみると、北部地区、中部地区、大井川地区で該当者割合が全体平均の32.0%を超えています。

また、最も高い圏域は北部地区で35.0%、最も低い圏域は南部地区で27.9%となっており、7.1ポイントの差となっています。

[圏域別]



④ 認知

国の手引きをもとに、調査票の以下の設問を抽出し、以下の項目に該当する人を認知のリスク該当者と判定しました。

【判定設問】

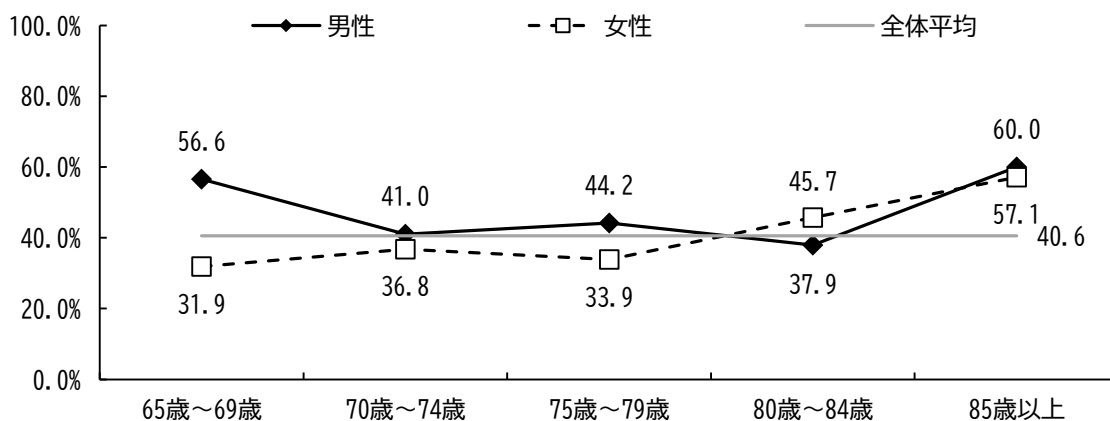
問番号	設問	該当する選択肢
問4（1）	物忘れが多いと感じますか。	1. はい

【リスク該当状況】

国の手引きに基づく認知の評価結果をみると、全体平均で40.6%が該当者となっています。

性別・年齢階級別にみると、男性では、85歳以上で60.0%と、80～84歳に比べ22.1ポイント上昇し、女性では、85歳以上で57.1%と、80～84歳に比べ11.4ポイント上昇しています。

【性別・年齢階級別】

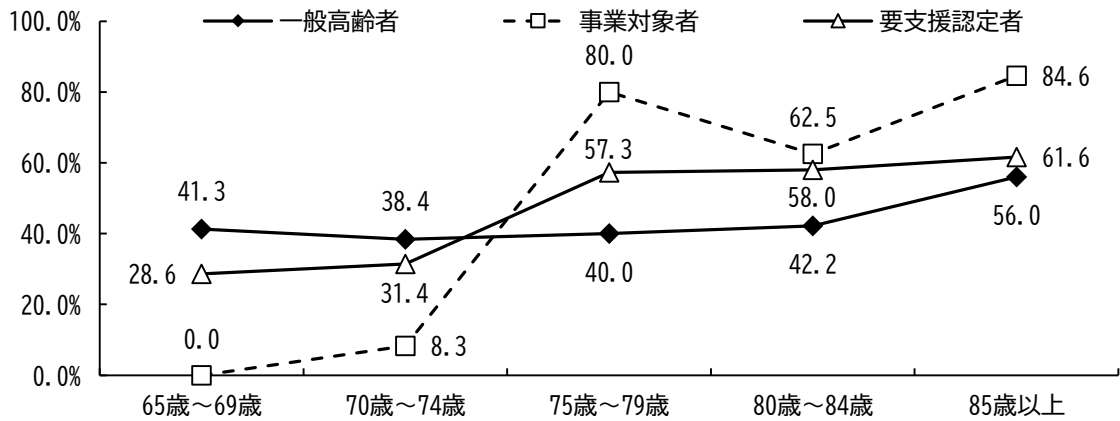


男性	(53)	(61)	(43)	(29)	(10)
女性	(69)	(68)	(62)	(46)	(14)

※一般高齢者のみ、()内は有効回答数

認定・該当状況別・年齢階級別にみると、一般高齢者、事業対象者では年齢階級が上がるにつれて、割合が高くなる傾向がみられます。

[認定・該当状況別・年齢階級別]

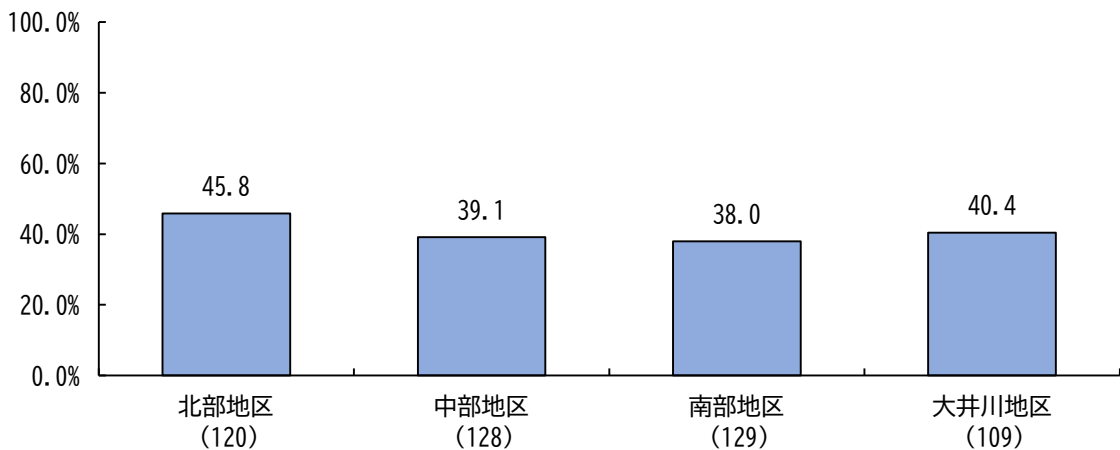


一般高齢者	(126)	(138)	(115)	(83)	(25)
事業対象者	(-)	(12)	(5)	(8)	(13)
要支援認定者	(7)	(35)	(75)	(138)	(232)

圏域別にみると、北部地区で該当者割合が全体平均の40.6%を超えています。

また、最も高い圏域は北部地区で45.8%、最も低い圏域は南部地区で38.0%となっており、7.8ポイントの差となっています。

[圏域別]



⑤ うつ

国の手引きをもとに、調査票の以下の設問を抽出し、2項目のうち1項目以上に該当する人をうつのリスク該当者と判定しました。

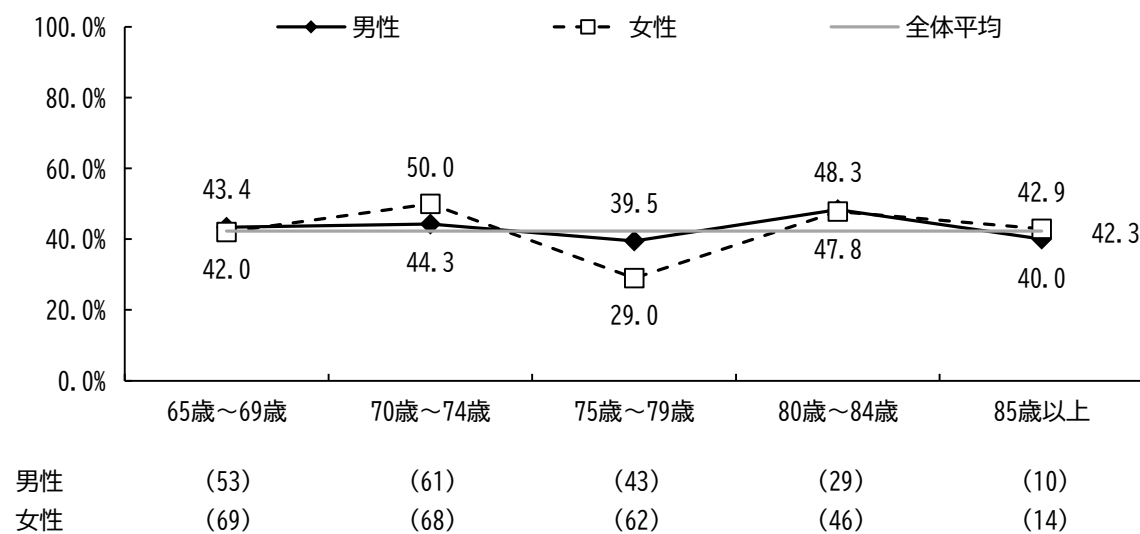
【判定設問】

問番号	設問	該当する選択肢
問7(3)	この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか。	1. はい
問7(4)	この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか。	1. はい

【リスク該当状況】

国の手引きに基づきうつの評価結果をみると、全体平均で42.3%が該当者となっています。性別・年齢階級別にみると、性別・年齢階級別による大きな変化はみられません。

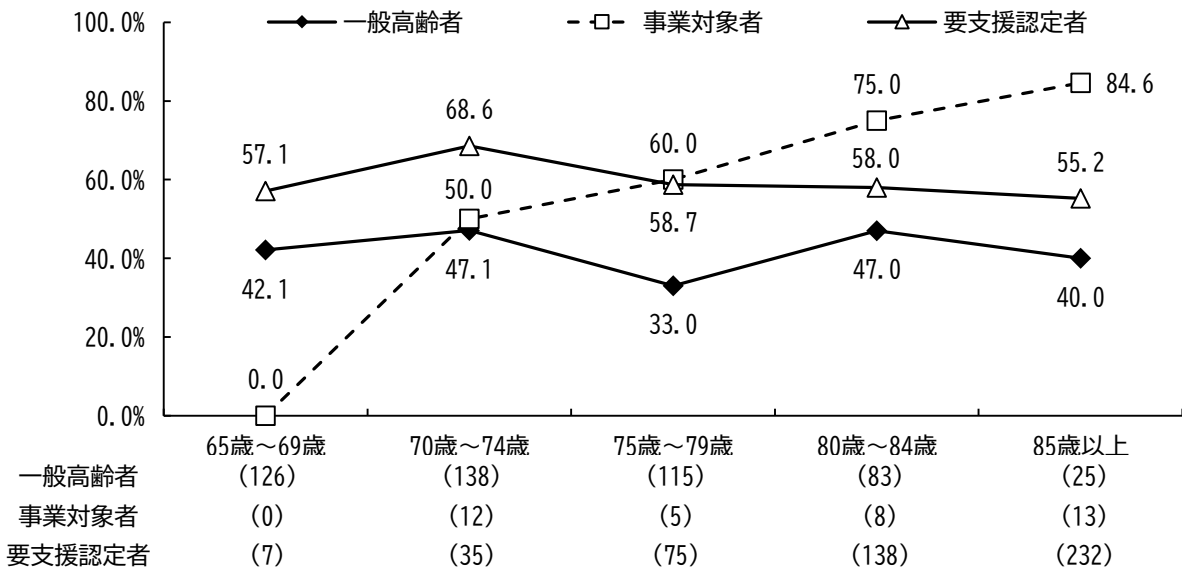
[性別・年齢階級別]



※一般高齢者のみ、()内は有効回答数

認定・該当状況別・年齢階級別にみると、一般高齢者に比べ、事業対象者、要支援認定者で割合が高くなる傾向がみられます。また、事業対象者では、年齢が高くなるにつれて該当者割合が高くなる傾向がみられます。

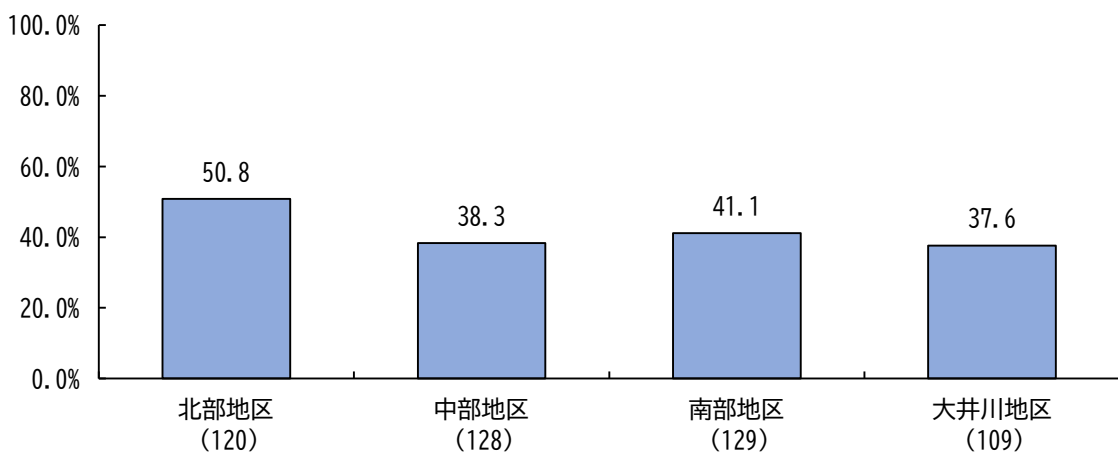
[認定・該当状況別・年齢階級別]



圏域別にみると、北部地区で該当者割合が全体平均の42.3%を超えています。

また、最も高い圏域は北部地区で50.8%、最も低い圏域は大井川地区で37.6%となっており、13.2ポイントの差となっています。

[圏域別]



(2) 日常生活

⑥手段的自立度 (IADL)

高齢者の比較的高次の生活機能を評価することができる老研式活動能力指標には、高齢者の手段的自立度 (IADL) に関する設問が5問あり、「手段的自立度 (IADL)」として尺度化されています。

評価は、各設問に「できるし、している」または「できるけどしていない」と回答した場合を1点として、5点満点で評価し、5点を「高い」、4点を「やや低い」、3点以下を「低い」と評価しています。

また、4点以下を手段的自立度の低下者とし、低下者の割合を示しています。

【判定設問】

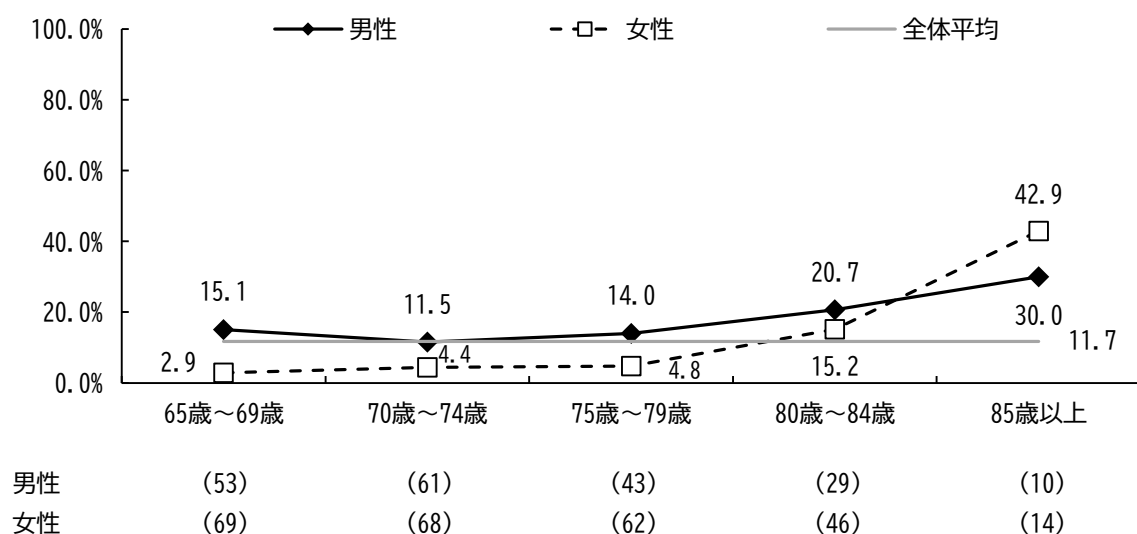
問番号	設問	該当する選択肢
問4 (2)	バスや電車を使って1人で外出していますか。	1. できるし、している : 1点 2. できるけどしていない : 1点
問4 (3)	自分で食品・日用品の買物をしていますか。	1. できるし、している : 1点 2. できるけどしていない : 1点
問4 (4)	自分で食事の用意をしていますか。	1. できるし、している : 1点 2. できるけどしていない : 1点
問4 (5)	自分で請求書の支払いをしていますか。	1. できるし、している : 1点 2. できるけどしていない : 1点
問4 (6)	自分で預貯金の出し入れをしていますか。	1. できるし、している : 1点 2. できるけどしていない : 1点

【該当状況】

全体平均では11.7%が手段的自立度の低下者となっています。

性別・年齢階級別で見ると、男性では、70歳～74歳を除く年齢階級において全体平均より割合が高くなっています。また、女性に比べ、男性で該当者割合が概ね高くなっています。

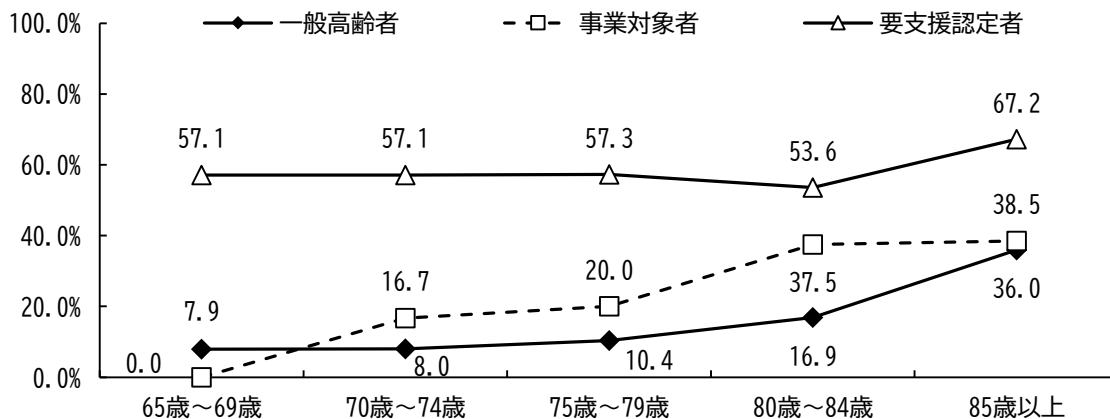
〔性別・年齢階級別〕



※一般高齢者のみ、() 内は有効回答数

認定・該当状況別・年齢階級別で見ると、要支援認定者で割合が高くなっており、85歳以上では67.2%と80～84歳に比べ13.6ポイント上昇しています。

[認定・該当状況別・年齢階級別]

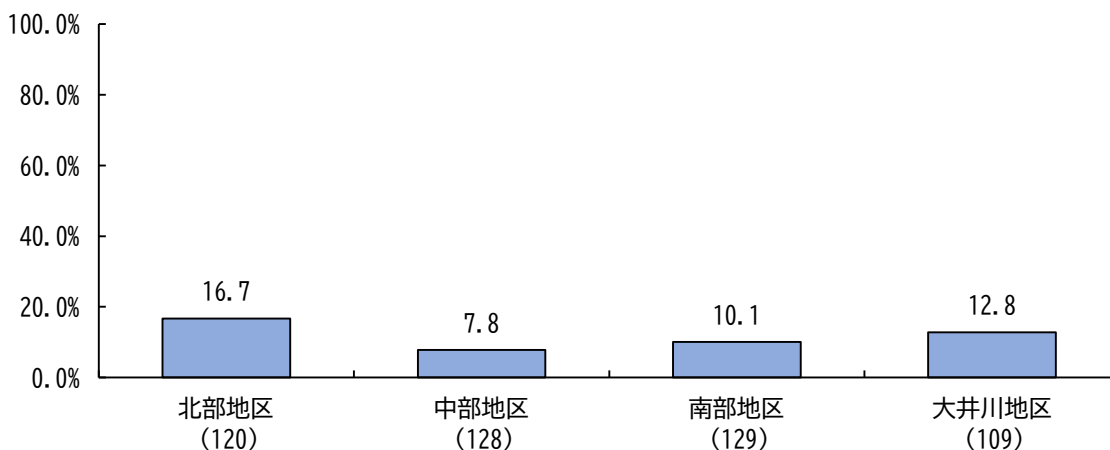


一般高齢者	(126)	(138)	(115)	(83)	(25)
事業対象者	(0)	(12)	(5)	(8)	(13)
要支援認定者	(7)	(35)	(75)	(138)	(232)

圏域別にみると、北部地区と大井川地区で該当者割合が全体平均の11.7%を超えています。

また、最も高い圏域は北部地区で16.7%、最も低い圏域は中部地区で7.8%となっており、8.9ポイントの差となっています。

[圏域別]

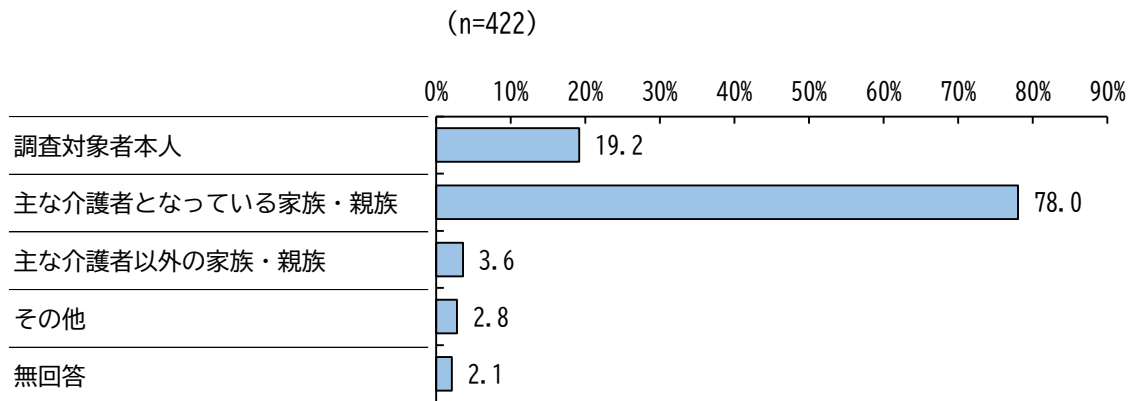


3 在宅介護実態調査

(1) 本人について

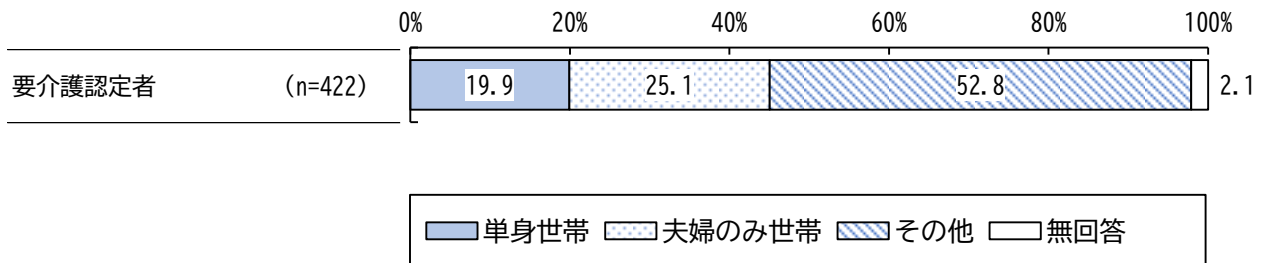
問1 現在、この調査票にご回答を頂いているのは、どなたですか（いくつでも○）

「主な介護者となっている家族・親族」の割合が78.0%と最も高く、次いで「調査対象者本人」の割合が19.2%となっています。



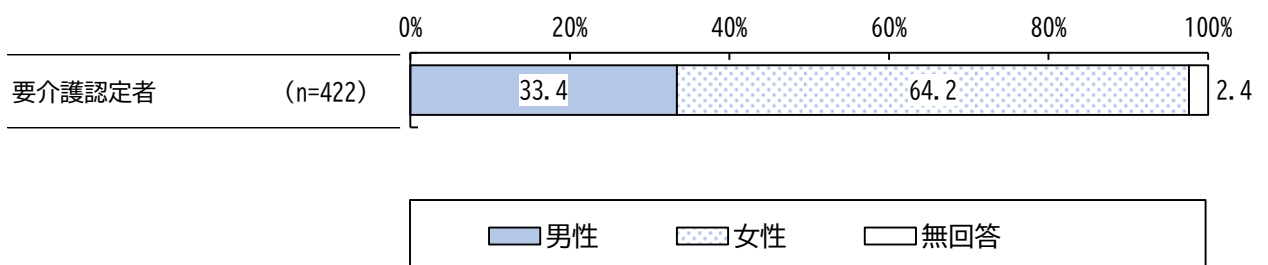
問2 世帯類型について、ご回答ください（1つに○）

「単身世帯」の割合が19.9%、「夫婦のみ世帯」の割合が25.1%となっています。



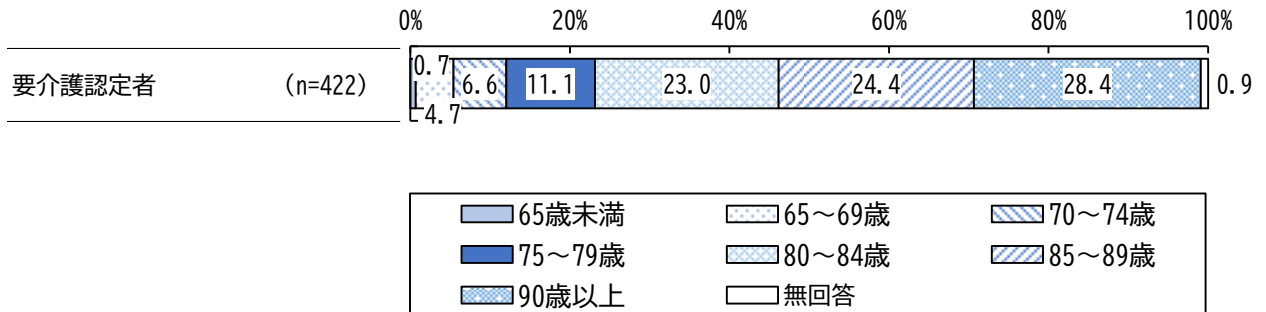
問3 ご本人の性別について、ご回答ください（1つに○）

「男性」の割合が33.4%、「女性」の割合が64.2%となっています。



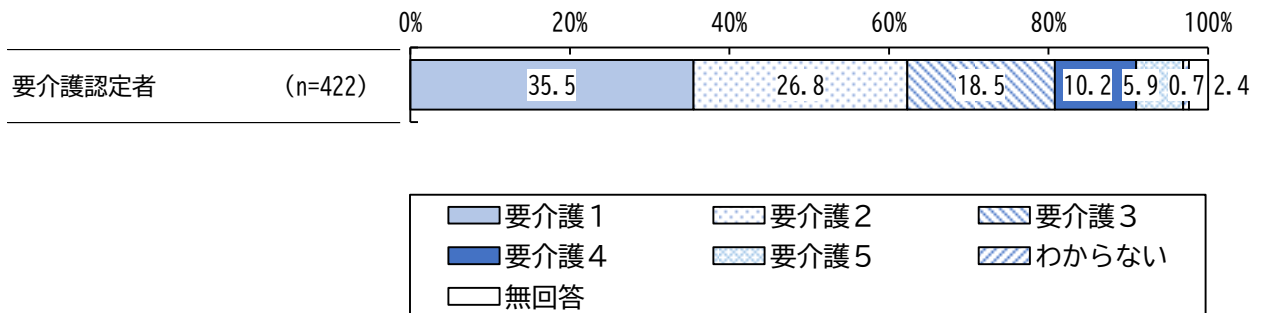
問4 ご本人の年齢（回答日現在）について、ご回答ください（1つに○）

「90歳以上」の割合が28.4%と最も高く、次いで「85～89歳」の割合が24.4%、「80～84歳」の割合が23.0%となっています。



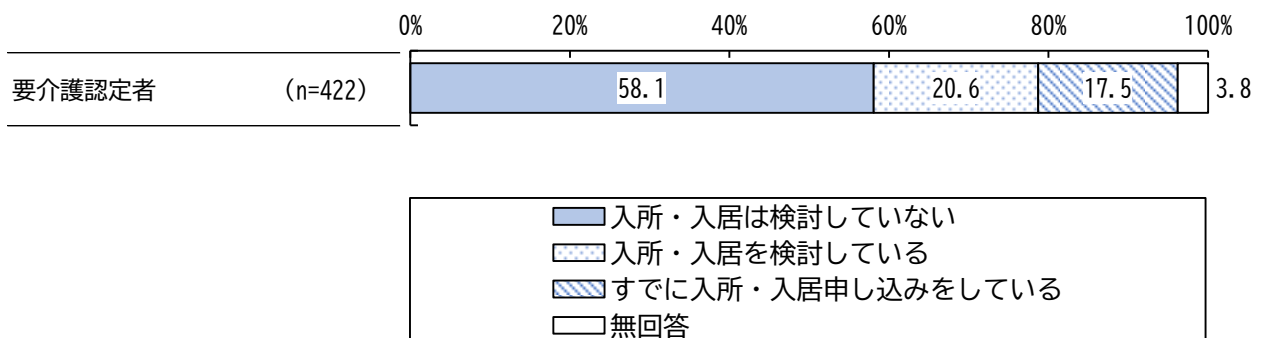
問5 ご本人の要介護度について、ご回答ください（1つに○）

「要介護1」の割合が35.5%と最も高く、次いで「要介護2」の割合が26.8%、「要介護3」の割合が18.5%となっています。



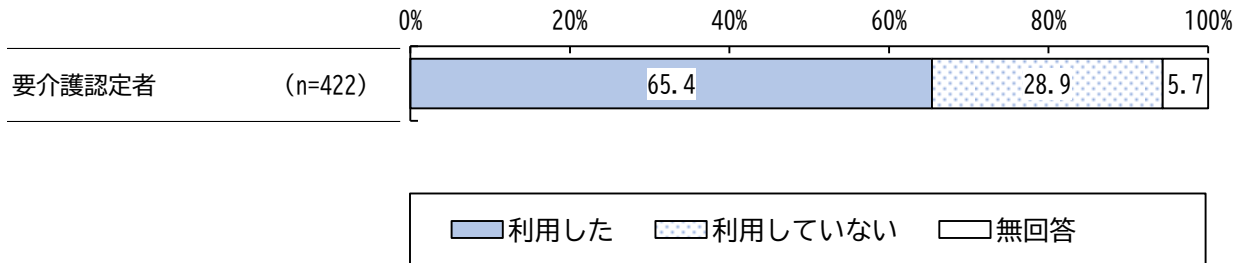
問6 現時点での、施設等への入所・入居の検討状況について、ご回答ください（1つに○）

「入所・入居は検討していない」の割合が58.1%と最も高く、次いで「入所・入居を検討している」の割合が20.6%、「すでに入所・入居申し込みをしている」の割合が17.5%となっています。



問7 令和4年12月の1か月の間に、(住宅改修、福祉用具貸与・購入以外の)介護保険サービスを利用しましたか(1つに○)

「利用した」の割合が65.4%、「利用していない」の割合が28.9%となっています。

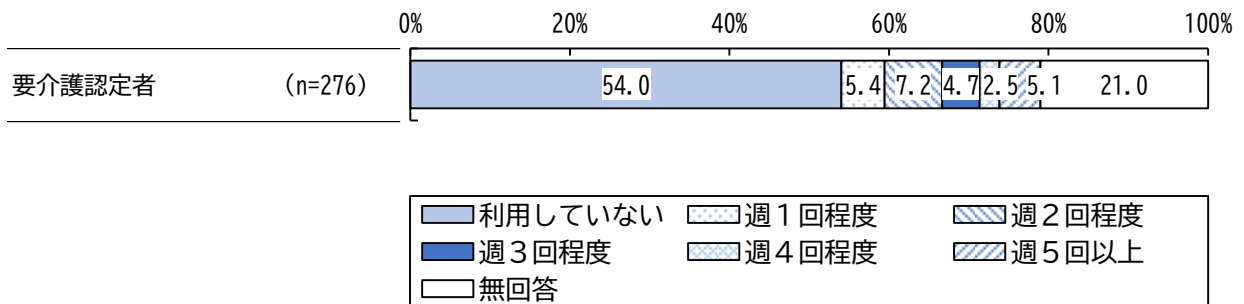


問8 【問7で「1」と回答した方にお伺いします】

以下の介護保険サービスについて、令和4年12月の1か月間の利用状況をご回答ください。対象の介護保険サービスをご利用になっていない場合は、「1. 利用していない」を選択してください(それぞれ1つに○)

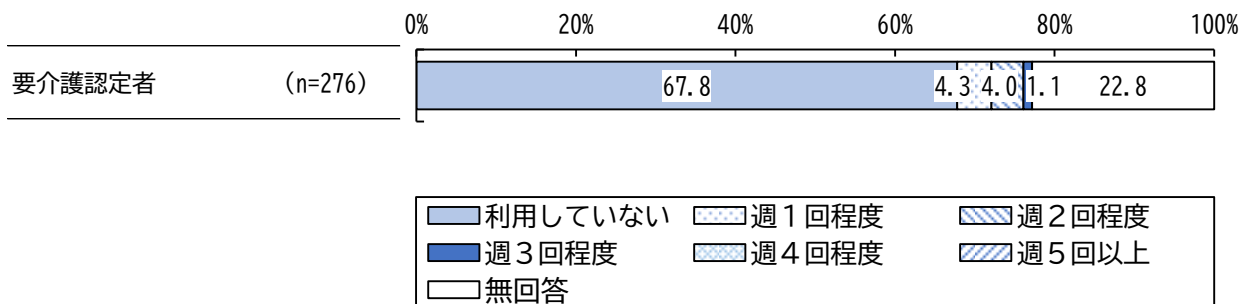
A. 訪問介護 (ホームヘルプサービス)

「利用していない」の割合が54.0%と最も高くなっています。



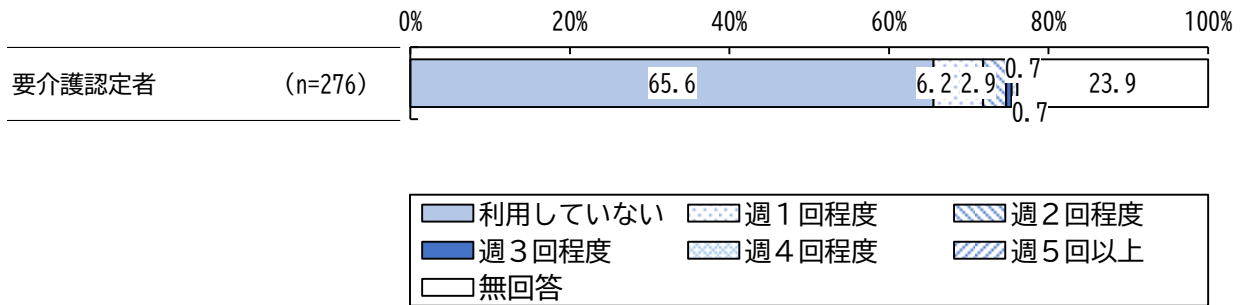
B. 訪問入浴介護

「利用していない」の割合が67.8%と最も高くなっています。



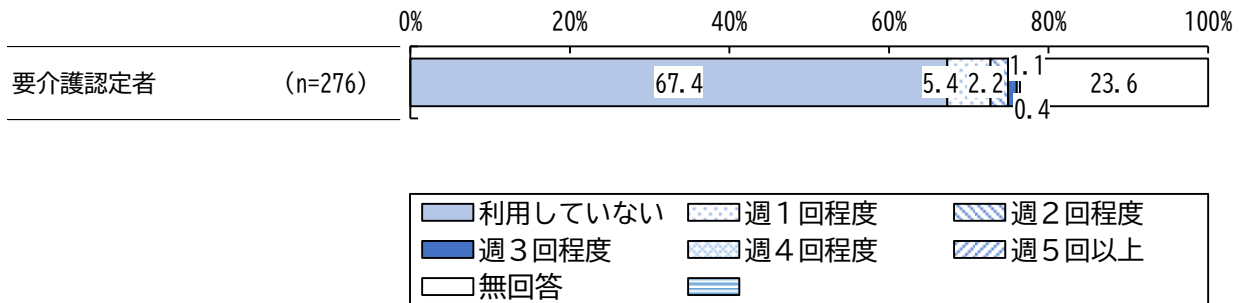
C. 訪問看護

「利用していない」の割合が65.6%と最も高くなっています。



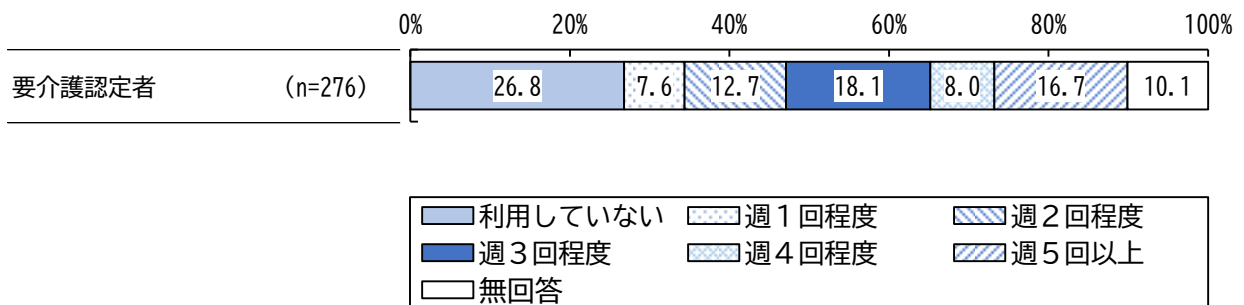
D. 訪問リハビリテーション

「利用していない」の割合が67.4%と最も高くなっています。



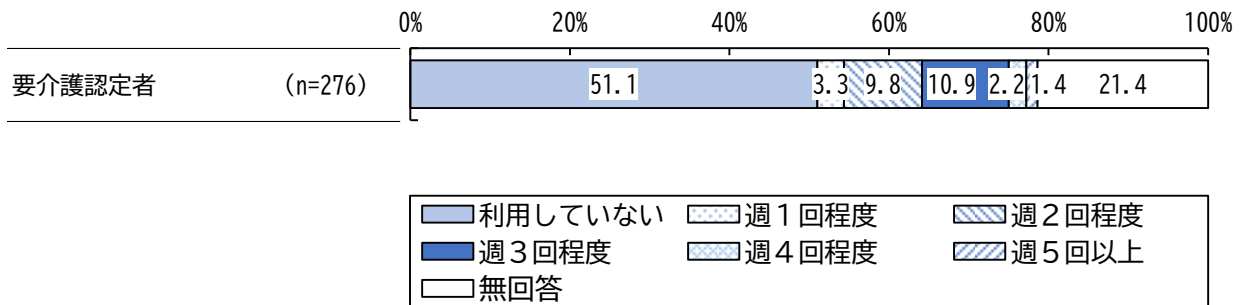
E. 通所介護（デイサービス）

「利用していない」の割合が26.8%と最も高く、次いで「週3回程度」の割合が18.1%、「週5回以上」の割合が16.7%となっています。



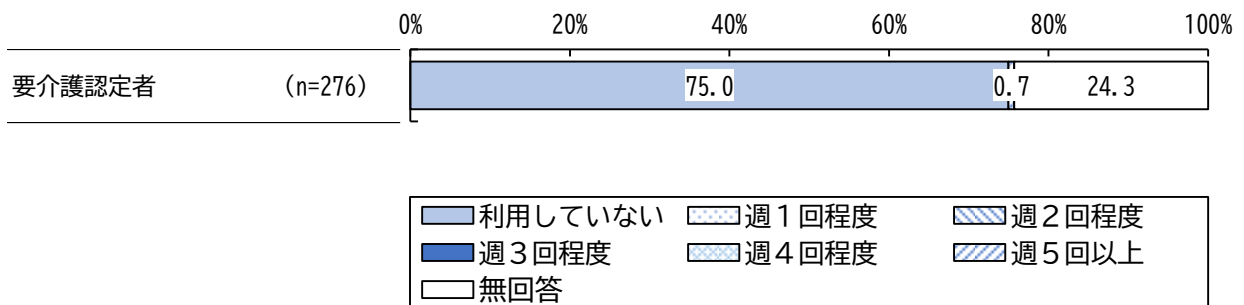
F. 通所リハビリテーション（デイケア）

「利用していない」の割合が51.1%と最も高く、次いで「週3回程度」の割合が10.9%となっています。



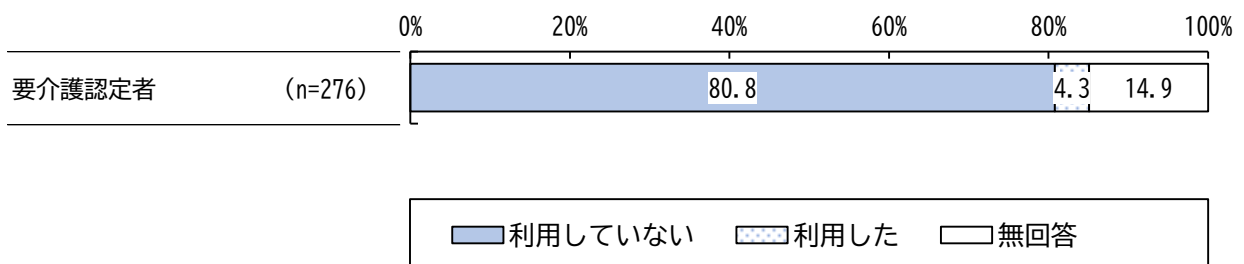
G. 夜間対応型訪問介護（※訪問のあった回数を回答）

「利用していない」の割合が75.0%と最も高くなっています。



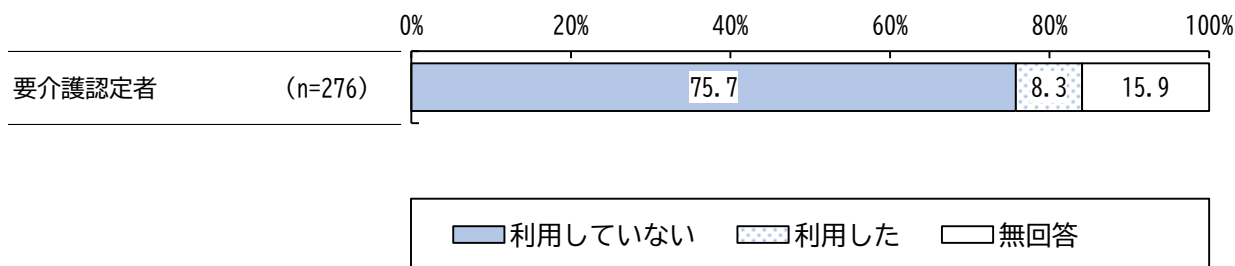
H. 定期巡回・随時対応型訪問介護看護

「利用していない」の割合が80.8%、「利用した」の割合が4.3%となっています。



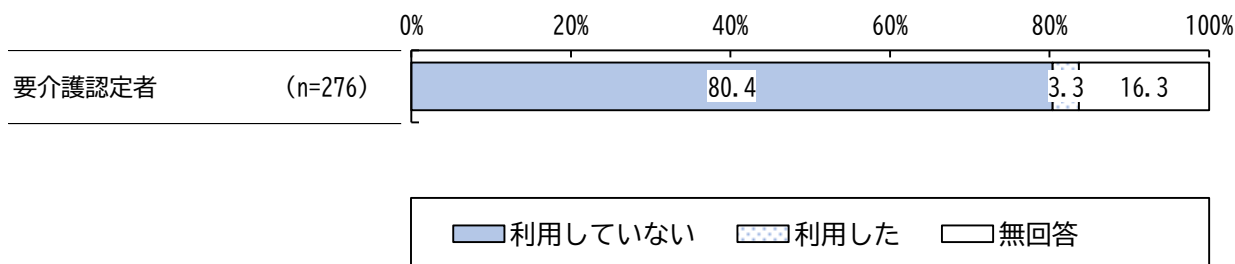
I. 小規模多機能型居宅介護

「利用していない」の割合が75.7%、「利用した」の割合が8.3%となっています。



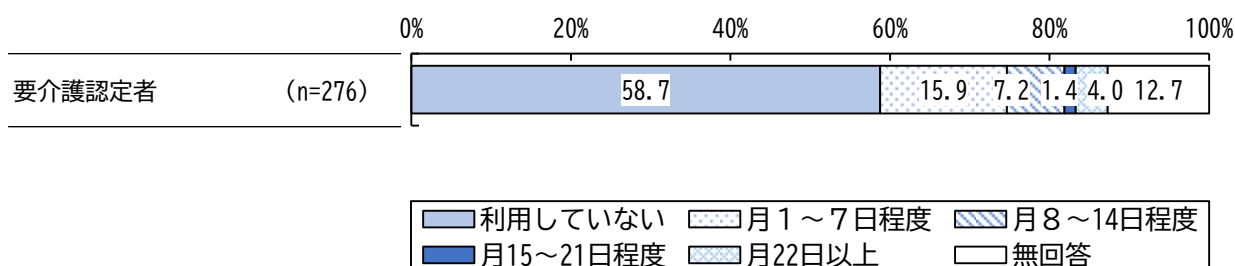
J. 看護小規模多機能型居宅介護

「利用していない」の割合が80.4%、「利用した」の割合が3.3%となっています。



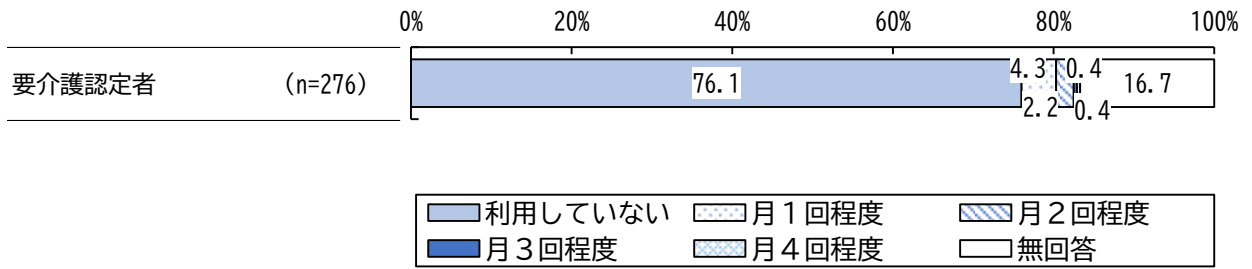
K. ショートステイ

「利用していない」の割合が58.7%と最も高く、次いで「月1～7日程度」の割合が15.9%となっています。



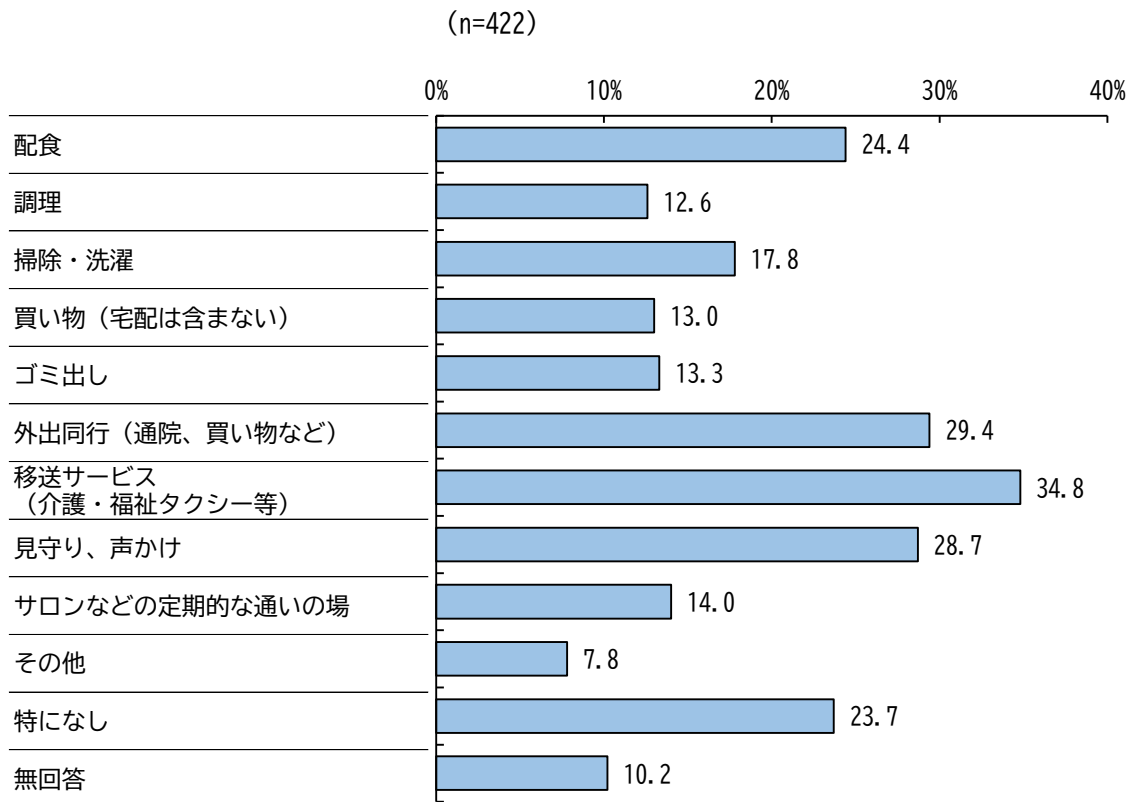
L. 居宅療養管理指導

「利用していない」の割合が76.1%と最も高くなっています。



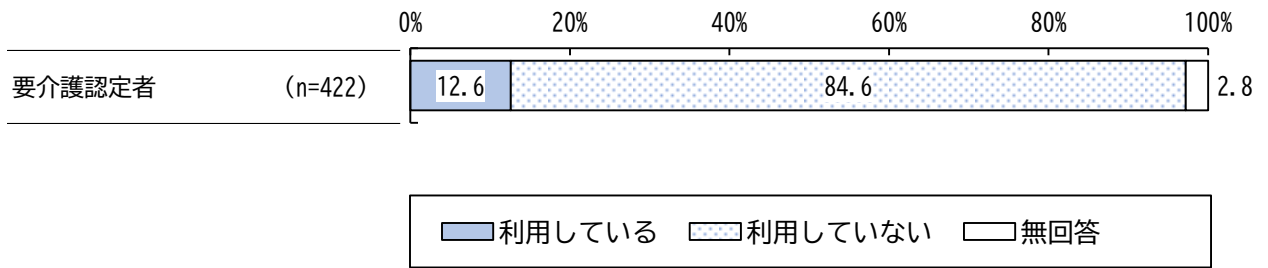
問9 今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス（現在利用している支援・サービスを含む）について、ご回答ください（いくつでも○）

「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」の割合が34.8%と最も高く、次いで「外出同行（通院、買い物など）」の割合が29.4%、「見守り、声かけ」の割合が28.7%となっています。



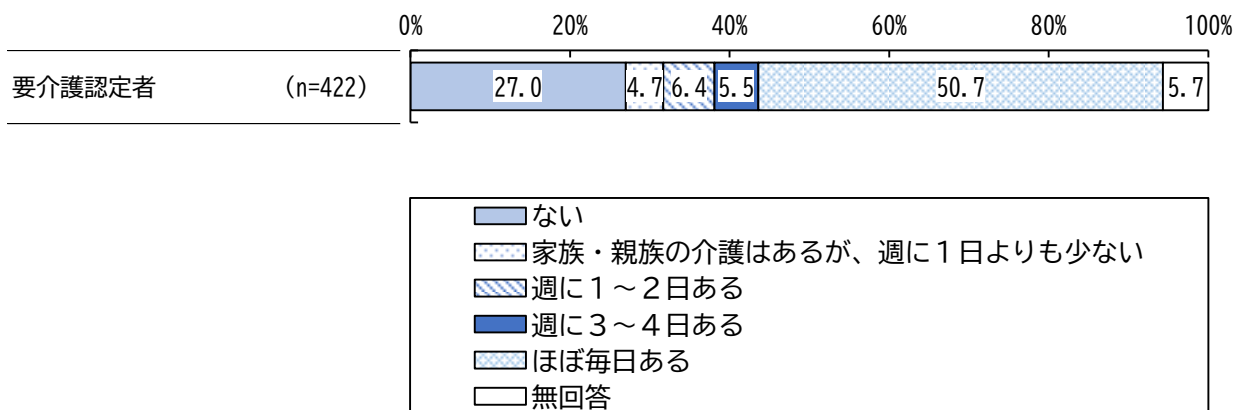
問10 ご本人（認定調査対象者）は、現在、訪問診療を利用していますか（1つに○）

「利用している」の割合が12.6%、「利用していない」の割合が84.6%となっています。



問11 ご家族やご親族の方からの介護は、週にどのくらいありますか
（同居していない子どもや親族等からの介護を含む）（1つに○）

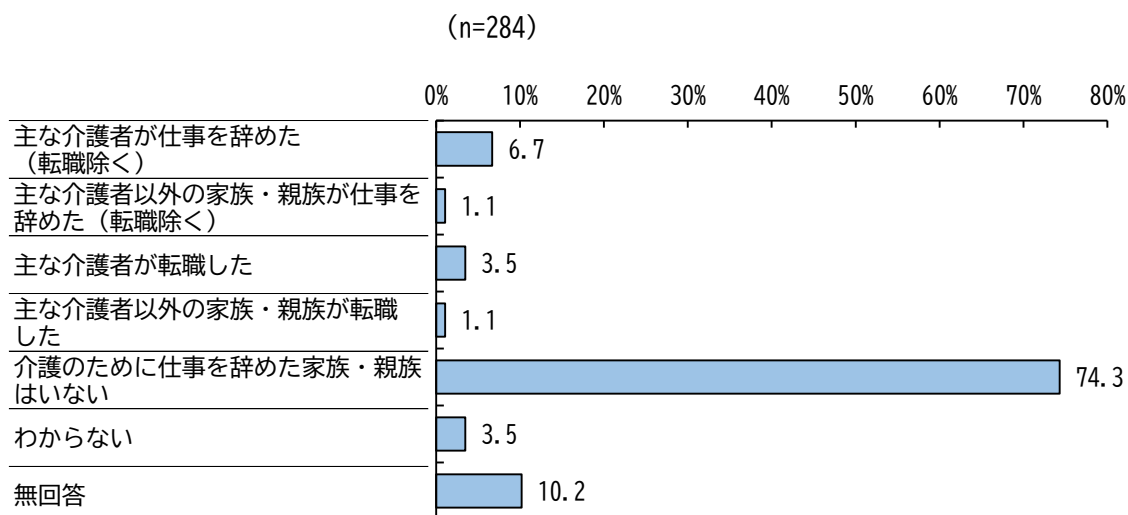
「ほぼ毎日ある」の割合が50.7%と最も高く、次いで「ない」の割合が27.0%となっています。



(2) 主な介護者の方について

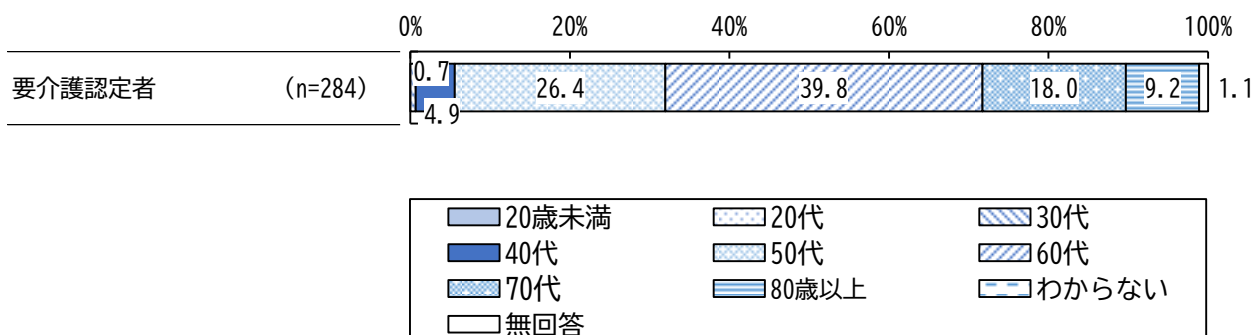
問1 ご家族やご親族の中で、ご本人様（認定調査対象者様）の介護を主な理由として、過去1年の間に仕事を辞めた方はいますか（現在働いているかどうかや、現在の勤務形態は問いません）（いくつでも○）

「介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない」の割合が74.3%と最も高くなっています。



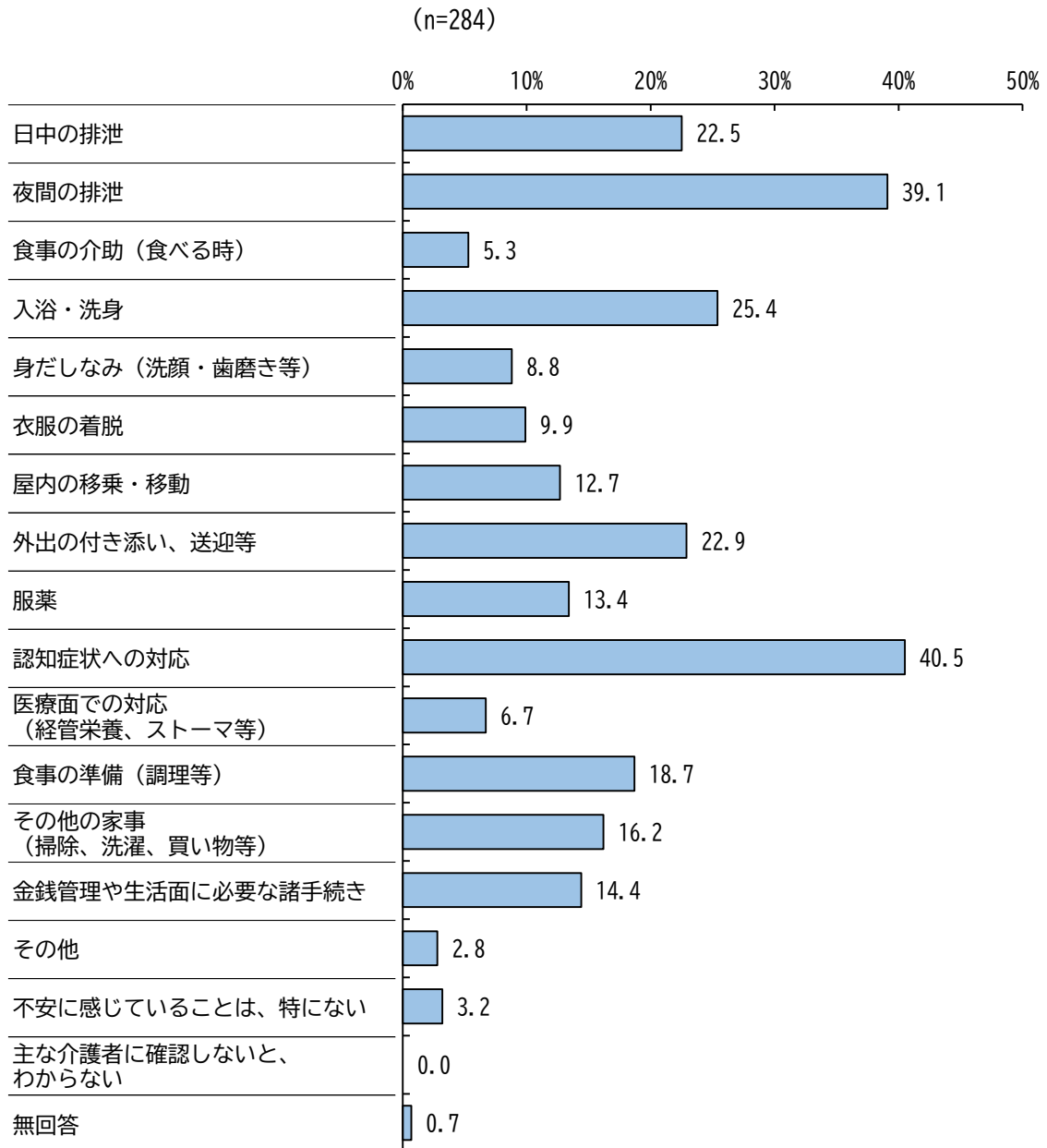
問2 主な介護者の方の年齢について、ご回答ください（1つに○）

「60代」の割合が39.8%と最も高く、次いで「50代」の割合が26.4%、「70代」の割合が18.0%となっています。



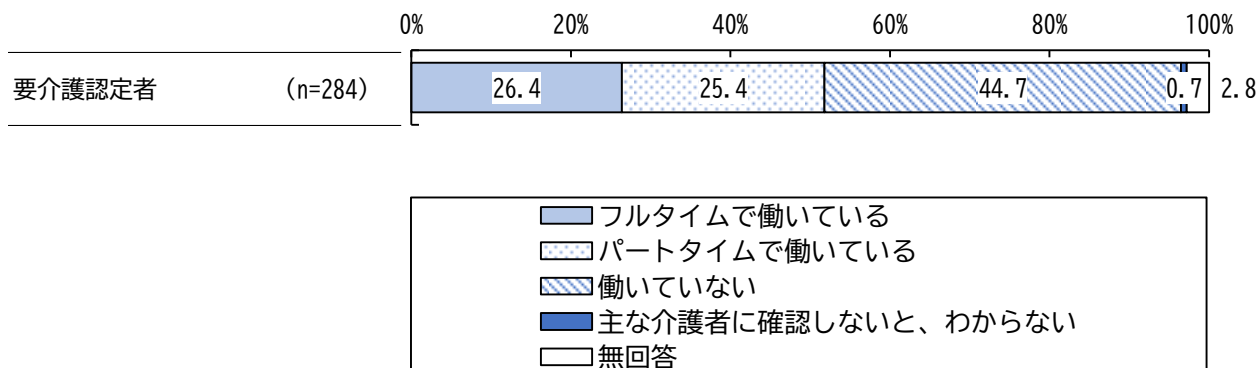
問3 現在の生活を継続していくにあたって、主な介護者の方が不安を感じる介護等について、ご回答ください（現状で行っているか否かは問いません）（3つまで○）

「認知症状への対応」の割合が40.5%と最も高く、次いで「夜間の排泄」の割合が39.1%、「入浴・洗身」の割合が25.4%となっています。



問4 主な介護者の方の現在の勤務形態について、ご回答ください（1つに○）

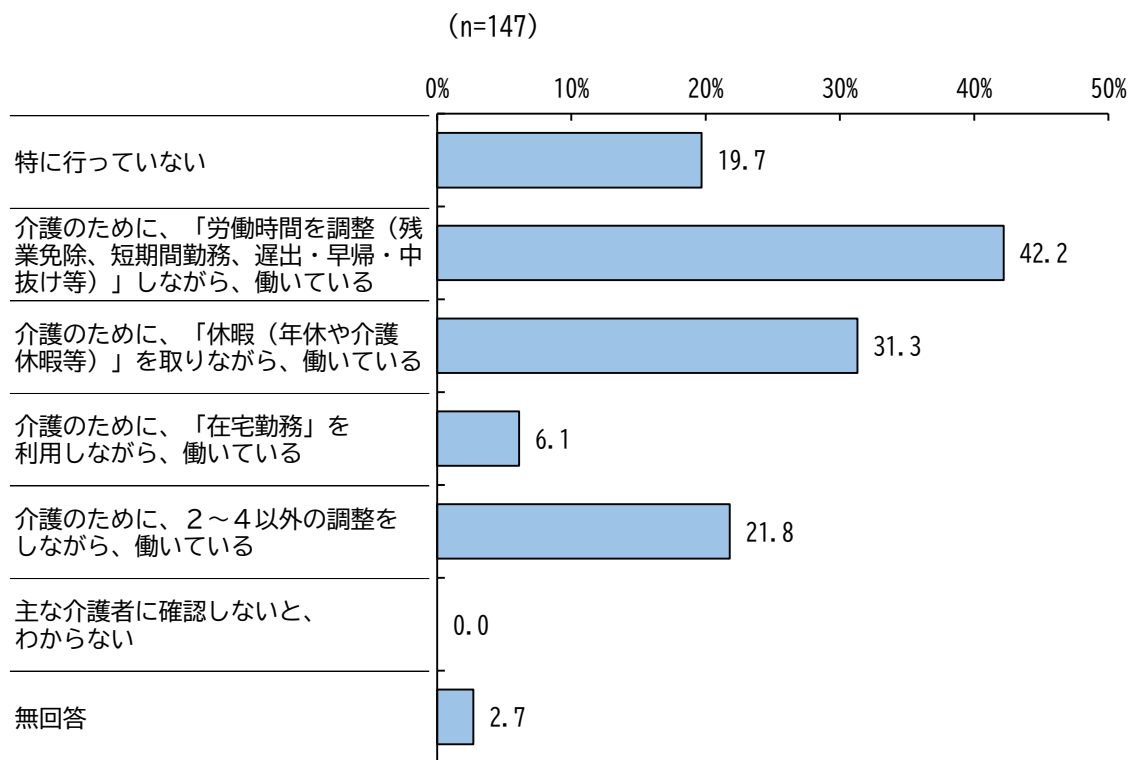
「働いていない」の割合が44.7%と最も高く、次いで「フルタイムで働いている」の割合が26.4%、「パートタイムで働いている」の割合が25.4%となっています。



問5 【問4で「1」「2」と回答した方にお伺いします】

主な介護者の方は、介護をするにあたって、何か働き方についての調整等をしていますか（いくつでも○）

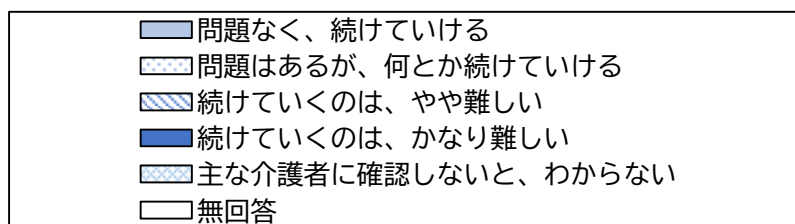
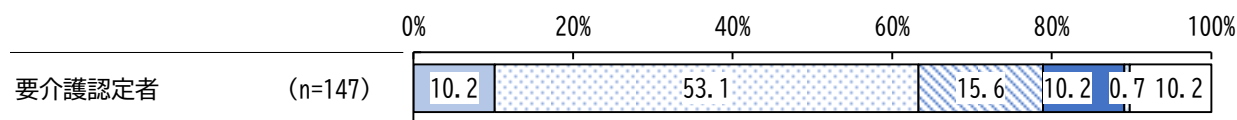
「介護のために、「労働時間を調整（残業免除、短期間勤務、遅出・早帰・中抜け等）」しながら、働いている」の割合が42.2%と最も高く、次いで「介護のために、「休暇（年休や介護休暇等）」を取りながら、働いている」の割合が31.3%、「介護のために、2～4以外の調整をしながら、働いている」の割合が21.8%となっています。



問6 【問4で「1」「2」と回答した方にお伺いします】

主な介護者の方は、今後も働きながら介護を続けていけそうですか（1つに○）

「問題はあるが、何とか続けていける」の割合が53.1%と最も高く、次いで「続けていくのは、やや難しい」の割合が15.6%、「問題なく、続けていける」と「続けていくのは、かなり難しい」の割合が10.2%となっています。



焼津市
介護保険事業計画に関するアンケート調査
調査結果報告書

令和5年3月
焼津市

焼津市 健康福祉部 介護保険課 保険給付担当

静岡県焼津市本町2-16-32
電話 054-626-1159